

---

---

秋川溪谷観光経済統計調査・分析等業務委託  
報告書

---

---

令和5年3月

秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会



## 目 次

<b>第1章 業務の概要</b> .....	<b>1</b>
1 業務の目的 .....	3
2 業務項目 .....	3
3 用語の定義 .....	4
4 実施方針 .....	5
5 業務内容 .....	6
<b>第2章 事業計画及び事業内容の設計</b> .....	<b>9</b>
1 事業概要 .....	11
2 平成30年度から令和4年度までの事業計画及び事業内容の設計 .....	12
<b>第3章 必須調査の実施</b> .....	<b>17</b>
1 観光地点等入込客数調査の実施 .....	19
2 観光地点パラメータ調査の実施 .....	39
<b>第4章 経済波及効果の算出</b> .....	<b>45</b>
1 秋川渓谷の産業構造の整理 .....	47
2 入込客数・観光消費額の推計 .....	52
3 観光産業における経済波及効果の推計 .....	61
4 温泉施設における経済波及効果の推計 .....	76
<b>第5章 調査結果に基づく分析及び提案</b> .....	<b>109</b>
1 令和4年度調査結果のまとめ .....	111
2 5か年の調査結果からみた観光動態の変化と観光特性の分析 .....	116
3 現状課題の整理と地域経済の活性化に向けた取組メニューの検討 .....	128
<b>第6章 KPI の設定</b> .....	<b>136</b>
<b>第7章 事業連絡会・説明会の実施</b> .....	<b>143</b>
1 事業連絡会 .....	145
2 事業説明会 .....	150

### 【巻末資料】

- ・アンケート調査票
- ・観光地点パラメータ調査結果



# 第1章

## 業務の概要



## 第1章 業務の概要

### 1 業務の目的

秋川渓谷（あきる野市・檜原村・日の出町）における観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域への経済波及効果を「見える化」することにより、経済団体や地域住民との連携促進、データに基づく効果的・効率的な観光施策の実施及び観光産業を地域における自立した産業として発展させることで、地域経済の活性化を図ることを事業の目的とする。

### 2 業務項目

本業務の業務項目を表 1-1 に示す。

表 1-1 業務項目一覧

項目	細別	単位	数量
1. 計画準備	業務の実施方針、業務フロー、工程計画、技術提案に関わる計画準備	式	1
2. 事業計画及び事業内容の設計	・過去5か年の調査結果を踏まえ、秋川渓谷における観光振興の実現に向けた取組方針を検討し、域内の関連事業者と共有を図り、業務委託期間終了後の取組につなげる。	式	1
3. 必須調査	・観光地点等入込客数調査	式	1
	・観光消費額等の調査（観光地点パラメータ調査）	回	2
	・経済波及効果の算出及び分析	式	1
4. 調査結果に基づく分析及び提案並びに学識経験者からの意見聴取（改善点等を含む）	・観光による経済波及効果拡大に向けた分析及び提案 ・学識経験者からの意見聴取 ・KPIの選定、基準年からの推移の取りまとめ	式	1
5. 秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会の運営支援	①メンバーへの開催案内の連絡 ②会議準備 ③会議の司会・進行 ④会議資料の印刷・準備 ⑤資料説明 ⑥会議録の取りまとめ	回	1
6. 調査報告書の作成	・3から5までの結果を調査報告書として取りまとめ、年度末に提出	式	1
打合せ	必要に応じて回数を増加	回	必要数

### 3 用語の定義

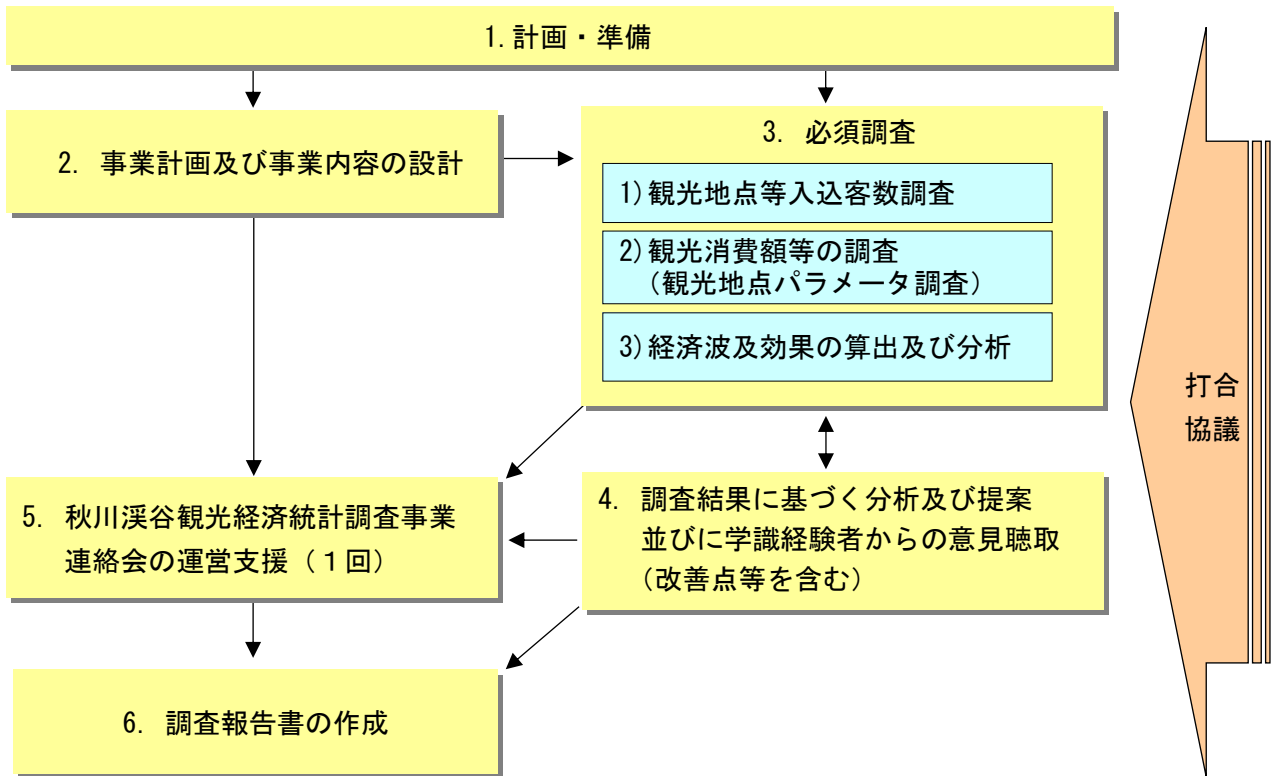
本報告書で用いる用語の定義は以下の通りである。

表 1-2 用語の定義

用語	定義
観光入込客	・日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本報告書では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
観光地点等入込客数	・観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	・対象地域の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該地域内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。
訪問地点数	・観光入込客1人が行う1回の旅行において、当該地域内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	・観光入込客1人が行う1回の旅行における当該地域内での観光消費額
観光消費額	・観光客が消費した金額のこと。観光客にアンケート調査等で地域内にて使った金額を尋ね、1人当たりの消費単価（平均値）を求める。 ・その際、サービス分野ごとに8業種の内訳や日帰り客、宿泊客の内訳も整理する。一般に日帰り客より宿泊客の方が消費単価も大きいため、経済効果推計を行うに当たっては、重要な数値となる。
域内調達率	・事業者が地域内から原材料や雇用者等を調達する率 ・観光客が地域で消費した金額のうち、地元の素材、地元の労働者など、「地域に還元される部分」の購入によって消費された額の割合を意味する。 ※観光による地域活性化は、「観光入込客数」だけが強調されるが、観光客1人当たりの顧客単価や、域内調達率を考えることも極めて重要である。
(観光) 経済波及効果	・地域を訪れた観光客が地域内で観光消費を行い、その消費額のうち、どの程度が地域経済に影響を及ぼしたのかを意味する。



#### 4 実施方針



## 5 業務内容

### (1) 計画準備

本調査の実施方法、調査内容、実施体制、日程等に関する業務計画書を作成し、提出した。

観光産業が地域（経済）へもたらす経済波及効果を測るため、秋川渓谷における経済規模を推計し、年間の域内総生産に占める観光消費による経済波及効果額の割合を算出するため、「①観光客数、②観光消費額等、③域内調達率※」の調査を基本とした。調査から得られたデータを分析し、地域経済の活性化を実現させるために効果的な手法を提案した。

※③域内調達率は、令和3年度調査結果を適用

### (2) 事業計画及び事業内容の設計

2019年ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの大きな国際スポーツイベントの開催前後といった社会情勢の変化における域内の観光産業への影響を測るため、事業の継続的な実施が必要であることから、全体の事業計画は5か年とした。

令和4年度については、これまでの5か年の調査結果をもとに、秋川渓谷における観光振興の実現に向けた取組方針を検討し、域内の関連事業者と共有を図り、業務委託期間終了後の取組につなげた。

### (3) 必須調査

#### ア 観光地点等入込客数調査の実施

##### (ア) 調査概要

主要観光施設、宿泊施設及び行祭事・イベント等における観光入込客数を調査した。

##### (イ) 調査地点

過年度調査対象とした地点を基本に、秋川渓谷内の主要な観光施設の対象地点を選定した。

##### (ウ) 調査方法

各調査地点の管理者（観光施設、宿泊施設、行祭事・イベントの管理者）へ調査票を配付し、回収した（郵送・FAX・メール等）。

##### (エ) 調査周期（四半期ごと）

観光地点等の入込客数は、半期ごとに取りまとめた。令和4年は、四半期（1～3月、4～6月、7～9月及び10～12月）を調査周期とした入込客数を集計し、自治体別で一覧表に整理するとともに、次年度以降との経年変化が分かるよう取りまとめた。

また、調査の際は、新型コロナウイルス感染症による影響についても把握した。

#### イ 観光消費額等の調査（観光地点パラメータ調査）の実施

##### (ア) 調査概要

観光地点を訪れた来訪者の属性、1人当たりの消費額、訪問地点数、満足度等について、計2回（5月、7月）調査した。

##### (イ) 調査地点

あきる野市、檜原村及び日の出町の観光地点とした。

##### (ウ) 調査方法

調査員が調査地点に出向き、調査様式により、観光客に対する聞き取り調査を行った。なお、調査を実施する際には、徹底した新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を講じた。

## (エ) 調査項目

調査項目は、観光客の属性、旅行形態、交通機関、立ち寄り地点、旅行の目的・動機・情報収集方法、来訪回数・滞在時間、観光消費額、観光に対する評価（満足度）等とした。また、新型コロナウイルス感染症の影響等を把握する設問を加えた。

## ウ 経済波及効果の算出及び分析

公益財団法人日本交通公社が公開している「観光経済波及効果簡易推計システム」を用いて、あきる野市、檜原村及び日の出町の各市町村における観光産業が地域へもたらす経済効果を把握した。

## (4) 調査結果に基づく分析及び提案並びに学識経験者からの意見聴取（改善点等を含む）

(3)のアからウの調査結果を活用し、観光による経済波及効果拡大に向けた分析及び提案を行った。また、取りまとめた内容について、学識経験者からの意見を聴取した。

さらに、調査結果や聴取した意見などを踏まえ、目標値（KPI）の選定及び基準年からの推移を取りまとめた。

## (5) 秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会の運営支援

秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会（構成団体：あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、一般社団法人あきる野市観光協会、一般社団法人檜原村観光協会、一般社団法人日の出町観光協会、秋川渓谷旅館組合）を1回開催し、調査報告を行うとともに、構成団体の意見を取りまとめた。

開催に当たり、運営支援として①メンバーへの開催案内の連絡、②会議準備、③会議の司会・進行、④会議資料の印刷・準備、⑤資料説明、⑥会議録の取りまとめを行った。

また、これまでの調査結果を地域関係者と共有するための説明会を1回実施した。説明会では、業務委託期間終了後の取組につなげるため、学識経験者による講演等を企画した。

## ア 秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会

開催概要を以下に示す。

日 時：令和5年3月17日(金)13時～14時
場 所：あきる野市役所五日市出張所2階 第4, 5, 6会議室
次 第
1. 開会
2. 挨拶
3. 説明・協議
(1) 本事業の概要
(2) 令和4年度の調査・分析結果報告
(3) 5か年の調査・検討結果の報告
4. その他
5. 閉会

## イ 秋川渓谷観光経済統計調査に関する説明会

開催概要を以下に示す。

日 時：令和5年3月17日(金) 15時～16時30分
場 所：あきる野市役所五日市出張所3階 まほろばホール
次 第
1. 開会
2. 挨拶
3. 説明
(1) 5か年の調査・検討結果からみた秋川渓谷の観光特性 調査結果を踏まえた今後の秋川渓谷における観光振興の方向性 (株式会社オリエンタルコンサルタンツ 佐藤真理子氏)
(2) 学識者による講演 ～これからの秋川渓谷の観光のあり方～ (東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 古屋秀樹氏)
(3) フロアとの質疑応答
4. まとめ・総評
5. 閉会

### (6) 調査報告書の作成

(2)から(4)までの結果を調査報告書として取りまとめ、提出した。

## **第2章**

# **事業計画及び事業内容の設計**



## 第2章 事業計画及び事業内容の設計

### 1 事業概要

本事業の概要を以下に示す。アンケート及びヒアリング調査の実施時には、これらの事業概要をもとに、対象事業者に趣旨を説明した。

#### 【事業目的】

秋川渓谷観光経済統計調査事業は、東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成金（補助率10/10）」を活用して、あきる野市・檜原村・日の出町における観光産業がもたらす経済効果等を把握するための調査を行い、より効果的な観光施策の実施につなげることを目的とした。

また当事業は、あきる野市・檜原村・日の出町の観光関連団体によって組織した「秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会」（構成団体：あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、あきる野市観光協会、檜原村観光協会、日の出町観光協会、秋川渓谷旅館組合）が主体となっている。

#### 【事業対象地域】



あきる野市・檜原村・日の出町の経済規模

- 域内人口：100,609人（2.39%）
- 面積：206km<sup>2</sup>（17.76%）
- 総生産額：3,638億円（2.12%）
- 事業所数：3,326事業所（2.55%）
- 従業員数：32,148人（2.20%）

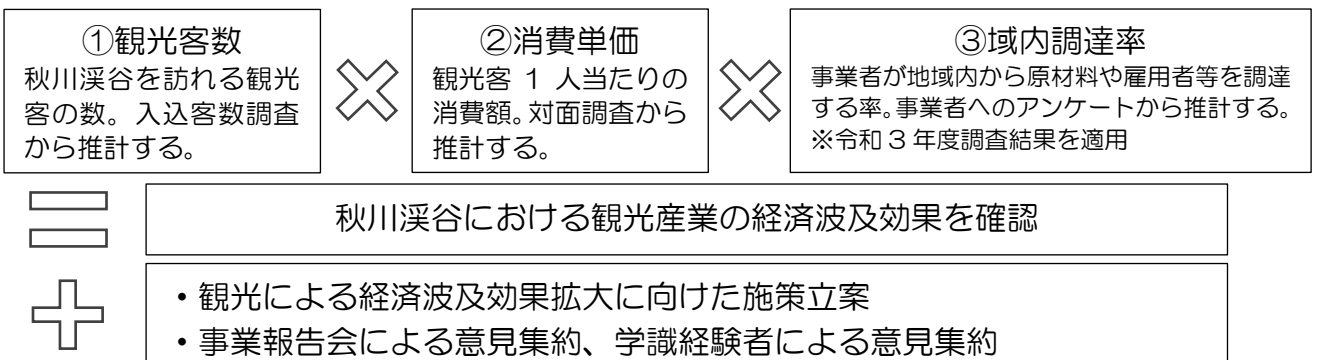
※カッコ内は、多摩地域全体におけるあきる野市・檜原村・日の出町の割合

出典：「多摩けいざい」平成29年10月号

あきる野市・檜原村・日の出町は、観光資源の結びつきが強く、3市町村を横断的に周遊する観光客は非常に多い。あきる野商工会及び秋川渓谷旅館組合は、あきる野市と檜原村にまたがった組織体であり、また、過去の観光地点パラメータ調査や域内調達率調査結果において、3市町村の関連性の高さが示されていることから、3市町村を対象とすることで、より効果的かつ当地域の観光の実情に沿った調査を行うことができると想定した。

※令和3年度から調査範囲を日の出町まで拡大している。

#### 【事業概要（令和4年度）】



秋川渓谷における観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域経済への波及効果を「見える化」することで、経済団体や地域住民との連携促進及びデータに基づく効果的・効率的な観光施策の実施につながると考えられる。

## 2 平成 30 年度から令和 4 年度までの事業計画及び事業内容の設計

本事業は、秋川渓谷（あきる野市・檜原村・日の出町）における観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域への経済波及効果を「見える化」することにより、経済団体や地域住民との連携及びデータに基づく効果的・効率的な観光施策の実施を促進し、地域における観光産業の自立した発展と地域経済の活性化を目的とするものである。

また、2019 年ラグビーワールドカップや東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、社会情勢の変化による域内の観光産業における影響を測るため、事業の継続的な実施が必要であることから、事業計画は 5 か年計画とし、年度ごとの事業計画及び事業内容を設計した。

事業計画及び事業内容の考え方並びに詳細な内容を以下に示す。なお、本内容は、平成 30 年度に実施した調査に基づいて企画・立案したものであることから、事業を進めるに当たり、得られた成果等や行政計画・社会情勢の変化を踏まえ、秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会で協議し、適宜、更新した。

### <本事業の意義・目標>

- ・今まで不明確であった、観光に関する統計データ（観光客数、観光消費額等）を四半期ごとに調査することで、社会情勢の変化に伴う動態を明らかにすることができる。
- ・秋川渓谷における産業構造を整理するとともに、観光客の消費が本地域に及ぼす範囲、域内総生産に占める観光消費による経済波及効果の「見える化」が図れる（どの分野にどの程度波及されているか）。
- ・観光消費は、下図のとおり多くの産業に波及する。経済波及効果の分析結果から、秋川渓谷における多様な部門（環境、林業、農業、商工）の課題を捉えることができ、どの部門がどのような施策を展開すればよいか明らかになる。
- ・総合計画や観光・産業に関する計画など、行政の取組としてまとめた「行政計画」に対し、本調査にて観光・経済的な視点で取りまとめる「事業計画」の両輪を踏まえた施策を展開していくことが好ましい。本事業の結果を行政計画の施策を展開している関係者に適宜フィードバックするとともに、計画の更新時期に調査結果等を反映していくことが望ましい。

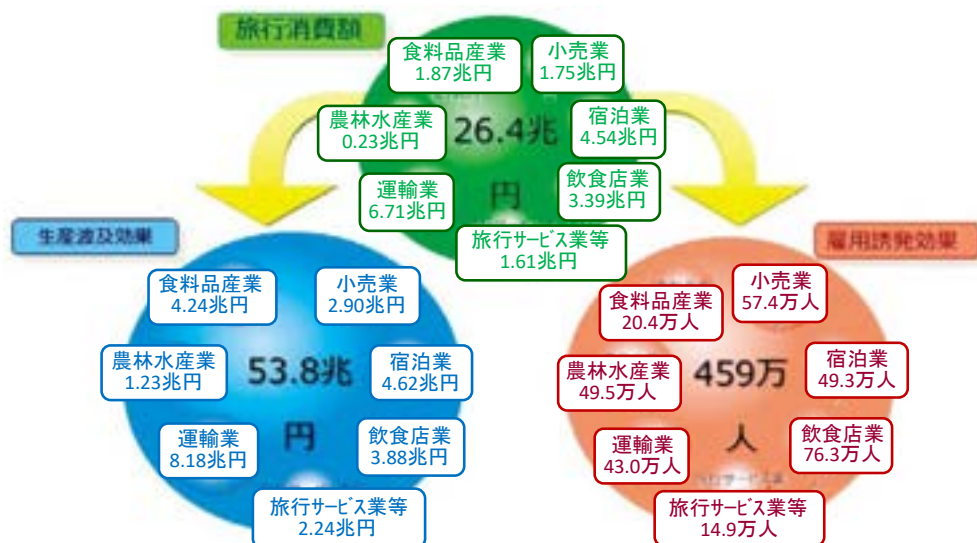


図 2-1：旅行消費が日本国内にもたらす産業別経済効果（2016 年）

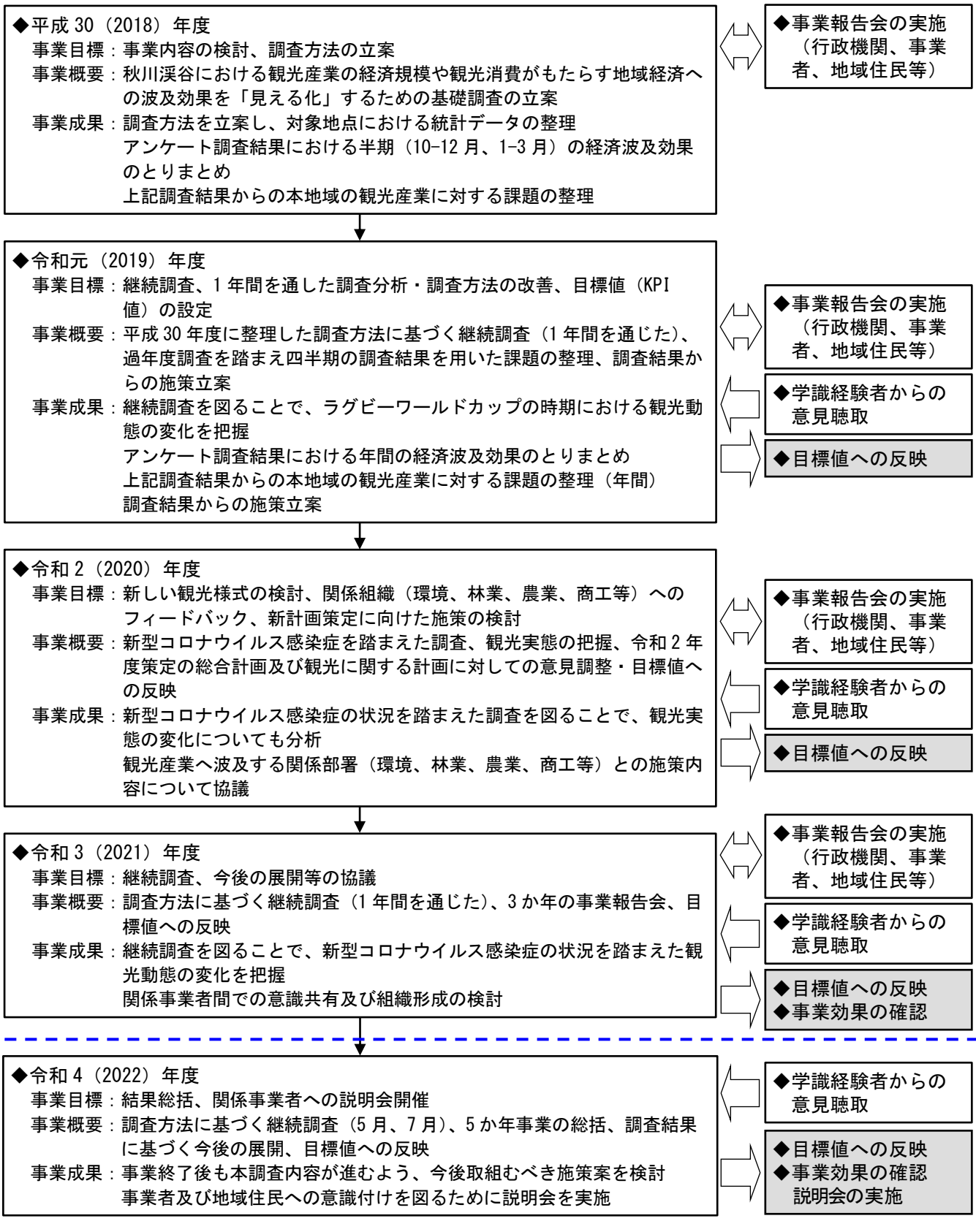
出典：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に一部加筆



<事業計画>

※目標値については、1年間の継続調査を実施した後に算出（観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額、域内調達率、経済波及効果など）

※事業計画は5か年とする



◆平成 30（2018）年度（初年度）※事業内容の検討、調査方法の立案

事業概要：秋川渓谷における観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域経済への波及効果を「見える化」するための基礎調査の立案

事業内容：・観光客数を把握する施設、イベント、宿泊施設の抽出・調査方法の立案・取りまとめ  
・観光パラメータ調査の地点の整理、調査方法の立案、取りまとめ  
・経済波及効果算出を目的とした、アンケート調査の企画・立案・取りまとめ  
（対象範囲：あきる野市（五日市地区）、檜原村）  
・事業者ヒアリング（主な観光産業を対象）  
・調査結果の分析、考察及び今回の調査から得られた課題の整理  
・事業報告会の実施（行政機関、事業者、一般等）

事業成果：・調査方法を立案し、対象地点における統計データの整理  
・アンケート調査結果における半期（10-12月、1-3月）の経済波及効果の取りまとめ  
・上記調査結果からの本地域の観光産業に対する課題の整理

◆令和元（2019）年度（2か年目）※継続調査、1年間を通じた調査分析・調査方法の改善、目標値（KPI 値）の設定

事業概要：平成 30 年度に整理した調査方法に基づく継続調査（1年間を通じた）、過年度調査を踏まえ四半期の調査結果を用いた課題の整理、調査結果からの施策立案

事業内容：・観光客数、イベント、宿泊施設の入込客数の整理（継続調査）  
・観光パラメータ調査（継続調査）  
・経済波及効果算出を目的とした、アンケート調査  
（継続調査・対象範囲の見直し検討（あきる野市(秋川地区)の追加の有無)）  
・事業者ヒアリング（主な観光産業に関する小売り・卸売業を対象）  
・四半期の調査結果を用いた課題の整理、調査結果からの施策立案  
・事業報告会の実施（行政機関、事業者、一般等）、学識経験者からの意見聴取

事業成果：・継続調査を図ることで、ラグビーワールドカップの時期における観光動態の変化を把握  
・アンケート調査結果における年間の経済波及効果の取りまとめ  
・上記調査結果からの本地域の観光産業に対する課題の整理（年間）  
・調査結果からの施策立案  
・目標値（KPI 値）の設定

◆令和 2（2020）年度（3か年目）※新しい観光様式の検討、関係組織（環境、林業、農業、商工等）へのフィードバック、新計画策定に向けた施策の検討

事業概要：新型コロナウイルス感染症を踏まえた調査、観光実態の把握、令和 2 年度策定の総合計画及び観光に関する計画に対しての意見調整・目標値への反映

事業内容：・観光客数、イベント、宿泊施設の入込客数の整理  
（継続調査・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の効果の有無等）  
・観光パラメータ調査（新型コロナウイルス感染症を踏まえた調査）  
※感染状況や緊急事態宣言を鑑みて春期・夏期調査を中止、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会延期  
・経済波及効果算出を目的とした、アンケート調査及び事業者ヒアリング

(あきる野市(秋川地区)まで広げた対応)

- ・四半期(本年7-9月調査まで)の結果を踏まえた、課題及び施策の検討、観光産業へ波及する関係部署(環境、林業、農業、商工等)との施策内容についての協議
- ・事業報告会の実施(行政機関、事業者、一般等)、学識経験者からの意見聴取

事業成果：  
・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた調査を図ることで、観光実態の変化についても分析  
・観光産業へ波及する関係部署(環境、林業、農業、商工等)との施策内容について協議、総合計画への目標値(KPI等)の反映

#### ◆令和3(2021)年度(4か年目)※継続調査、今後の展開等の協議

事業概要：調査方法に基づく継続調査(1年間を通じた)、3か年の事業報告会、目標値への反映

事業内容：  
・観光客数、イベント、宿泊施設の入込客数の整理(継続調査・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の時期における観光動態の変化を把握 ※無観客開催)、調査スキームの構築

- ・観光パラメータ調査(継続調査・新型コロナウイルス感染症を踏まえた調査)

※感染状況や緊急事態宣言を鑑みて春期調査を中止

(代替としてWEBアンケート調査を実施)

- ・経済波及効果算出を目的とした、アンケート調査及び事業者ヒアリング

(日の出町まで広げた対応)

- ・四半期(本年7-9月調査まで)の結果を踏まえた、総合計画及び観光に関する計画に対しての事業者向け行動計画の立案
- ・事業報告会の実施(行政機関、事業者、一般等)、学識経験者からの意見聴取

事業成果：  
・継続調査を図ることで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた観光動態の変化を把握

- ・今後の観光振興に向けた実効性のある施策の立案を検討

・関係事業者間での意識共有及びDMOなどの組織形成の検討、総合計画への目標値(KPI等)の反映

#### ◆令和4(2022)年度(5か年目)※結果総括、関係事業者への説明会開催

事業概要：調査方法に基づく継続調査(5月、7月)、5か年事業の総括、調査結果に基づく今後の展開、目標値への反映

事業内容：  
・観光客数、イベント、宿泊施設の入込客数の整理

- ・観光パラメータ調査(継続調査・新型コロナウイルス感染症を踏まえた調査)

- ・5か年事業の総括、学識経験者からの意見聴取、説明会の開催

(成果報告、今後の秋川溪谷の観光振興に向けた取組の共有)

事業成果：  
・事業終了後も本調査内容が進むよう、今後取組むべき施策案を検討

- ・事業者及び地域住民への意識付けを図るために説明会を実施



## **第3章**

### **必須調査の実施**



### 第3章 必須調査の実施

#### 1 観光地点等入込客数調査の実施

##### (1) 調査目的

観光が地域経済に与える効果を計量的に把握するため、秋川渓谷を訪問した国内外の旅行者にアンケート調査を実施し、入込客数等を推計する。

##### (2) 調査方法及び調査結果

入込客数を把握するため、主要観光施設調査、行祭事・イベント数調査及び宿泊施設調査を実施した。調査は、上半期（1月～6月）と下半期（7月～12月）に分けて実施した。

#### ア 主要観光施設調査

##### (ア) 対象地点の抽出（リストと位置図）

東京都観光客数等実態調査及び西多摩地域観光入込客数調査の調査箇所を参考に、秋川渓谷内の主要な観光施設の対象地点を26か所選定した。令和4年度から「檜原森のおもちゃ美術館」を追加した。

表 3-1 主要観光施設調査 対象地点一覧

市町村	観光施設
あきる野市 (14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋川ふれあいランド</li> <li>・リバーサイドパークの谷</li> <li>・秋川橋河川公園バーベキューランド</li> <li>・秋川渓谷 瀬音の湯</li> <li>・秋川国際マス釣場</li> <li>・都立小峰公園</li> <li>・立川国際カントリー倶楽部</li> <li>・東京五日市カントリー倶楽部</li> <li>・東京サマーランド</li> <li>・秋川ファーマーズセンター</li> <li>・秋川キララホール</li> <li>・五日市ファーマーズセンター</li> <li>・秋川渓谷戸倉体験研修センター（戸倉しろやまテラス）</li> <li>・あきる野ふるさと工房</li> </ul>
檜原村 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜原温泉センター数馬の湯</li> <li>・檜原都民の森</li> <li>・特産物直売所 やまぶき屋</li> <li>・神戸国際マス釣場</li> <li>・檜原森のおもちゃ美術館</li> </ul>
日の出町 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つるつる温泉</li> <li>・自然休養村さかな園</li> <li>・ひので肝要の里</li> <li>・日の出山荘</li> <li>・ふれあい農産物直売所</li> <li>・鹿野大佛</li> <li>・日の出太陽の家／武家屋敷</li> </ul>

※網掛けは、令和4年度から追加

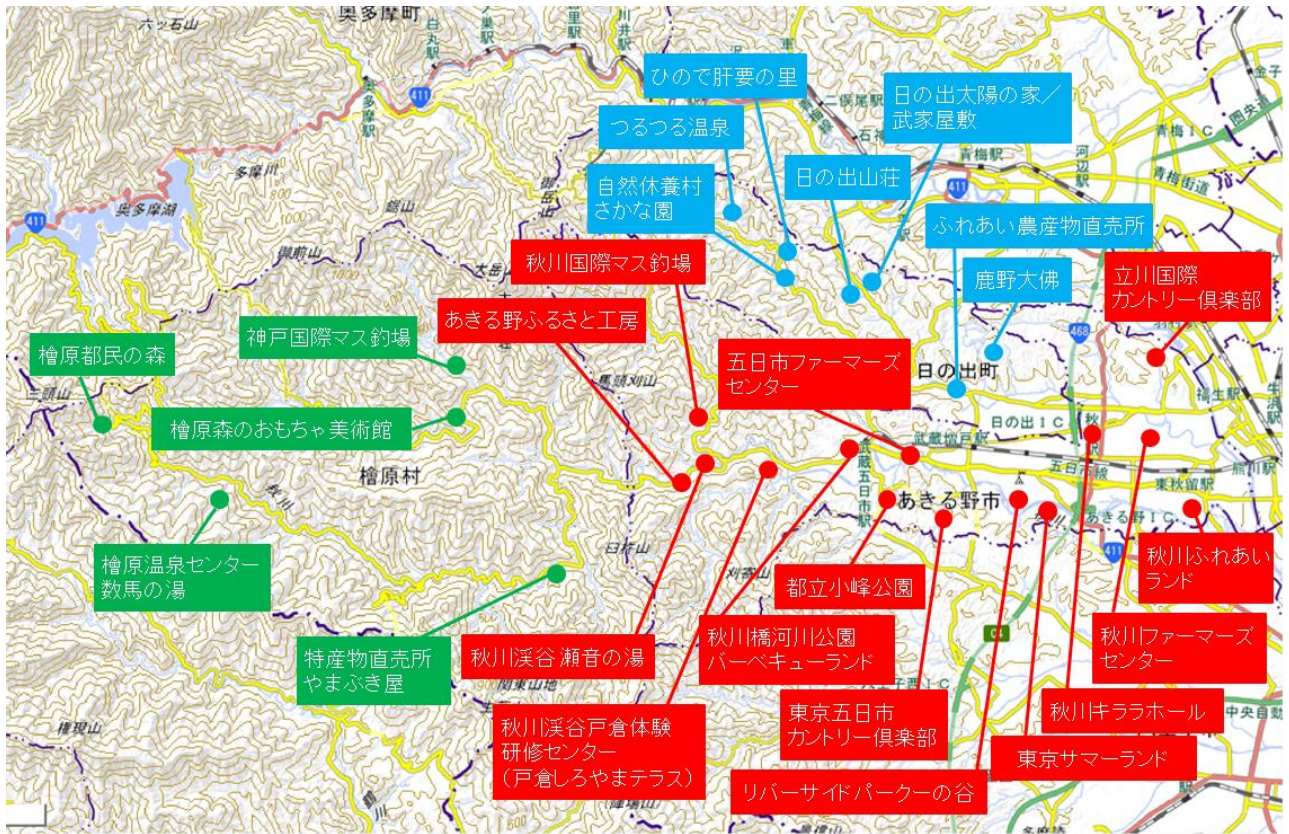


図 3-1 主要観光施設調査 対象地点マップ



(イ) 調査票の設計・調査方法（郵送）

調査票は、東京都観光客数等実態調査を参考に作成し、観光施設事業者へ郵送した。なお、期限までに回答が得られなかった施設については電話連絡を行った。

なお、調査票は新型コロナウイルス感染症の影響による傾向の変化について設問を追加した。調査票の内容を以下に示し、原本は巻末資料に示す。

(FAX:03-6311-8032) 秋川溪谷観光経済統計調査連絡会事務局 行

**～秋川溪谷観光客数等実態調査（施設利用者数等）調査票～**

裏面の「ご記入にあたってのお願い」をご確認の上、ご回答下さい。

調査主体: 秋川溪谷観光経済統計調査連絡会事務局  
 調査実施機関: 株式会社オリエンタルコンサルタンツ(担当: 段・三石)  
 TEL: 03-6311-7867 FAX: 03-6311-8032  
 E-mail: r3akikawa\_toukei@oriconsul.com

**Q1. 入込客数(施設利用者数)をお伺いします。月別にご記入下さい。推計値、概数でも結構ですので、お答え下さい。(単位:人)**

2022年 上半期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期 計
入込客総数							
うち 外国人客数							
2022年 下半期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期 計
入込客総数	※1月に調査票をお送りいたします。						
うち 外国人客数							

**Q2. 入込客についてお聞きします。**

1	Q1. の入込客数は実数値ですか、それとも推計値(概数)ですか。 いずれかに○を付けて下さい。 <b>推計値(概数)とお答えの方に確認します。</b> 具体的な推計方法について教えてください。 (例: 入国税からの推計、交通機関利用者からの推計 など) また、その入込客数の把握期間はどうなっていますか、 いずれかに○を付けて下さい。	①実数値	②推計値(概数)
2	月1回以上の頻度で訪問する人数の割合はどの位ですか。 いずれかに○を付けて下さい。	①全期間 ③その他	②代表期間 ④50%未満 ⑤50%以上 ⑥不明

**Q3. 2022年(上半期)において、新型コロナウイルス感染症の影響から施設利用の傾向や特記事項がありましたらご記入願います(※外国人観光客の減少、緊急事態宣言の内容に伴う入込客増減の傾向など)。**

**Q4. 2022年(上半期)において、施設利用における上記以外の傾向や特記事項がありましたらご記入願います。**

**Q5. 貴施設に関してお伺いします。**

(施設名)	(ご担当者名)	(ご担当者)
(TEL)	(FAX)	(E-mail)

\*\*\*ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒、もしくはFAX、E-mailでご返信下さい\*\*\*

図 3-2 主要観光施設調査 調査票（上半期）

### (ウ) 調査結果

回答は、調査依頼した全 26 か所から得ることができた。

以下に集計結果を示す。令和 4 年の主要観光施設の入込客数は、あきる野市、檜原村、日の出町の合計で、2,276,013 人（前年比、419,891 人（22.6%）増）であった。

過去の調査結果と月別の入込客数を比較したグラフを以下に示す。令和 4 年の 2 月と 11 月の月別合計は、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が実施された影響で、令和 3 年の同月合計より減少しているものの、他の月では増加している。

新型コロナウイルス感染拡大前の平成 30 年と比較すると、令和 4 年は 8 月、9 月及び 11 月を除いたすべての月で新型コロナウイルス感染拡大前の入込客数を上回る結果となった。

また、あきる野市、檜原村の入込客数を令和 3 年の調査結果と比較すると、年間の入込客数合計は、あきる野市で 330,177 人、檜原村で 53,982 人増加している。

#### 【月別の傾向】

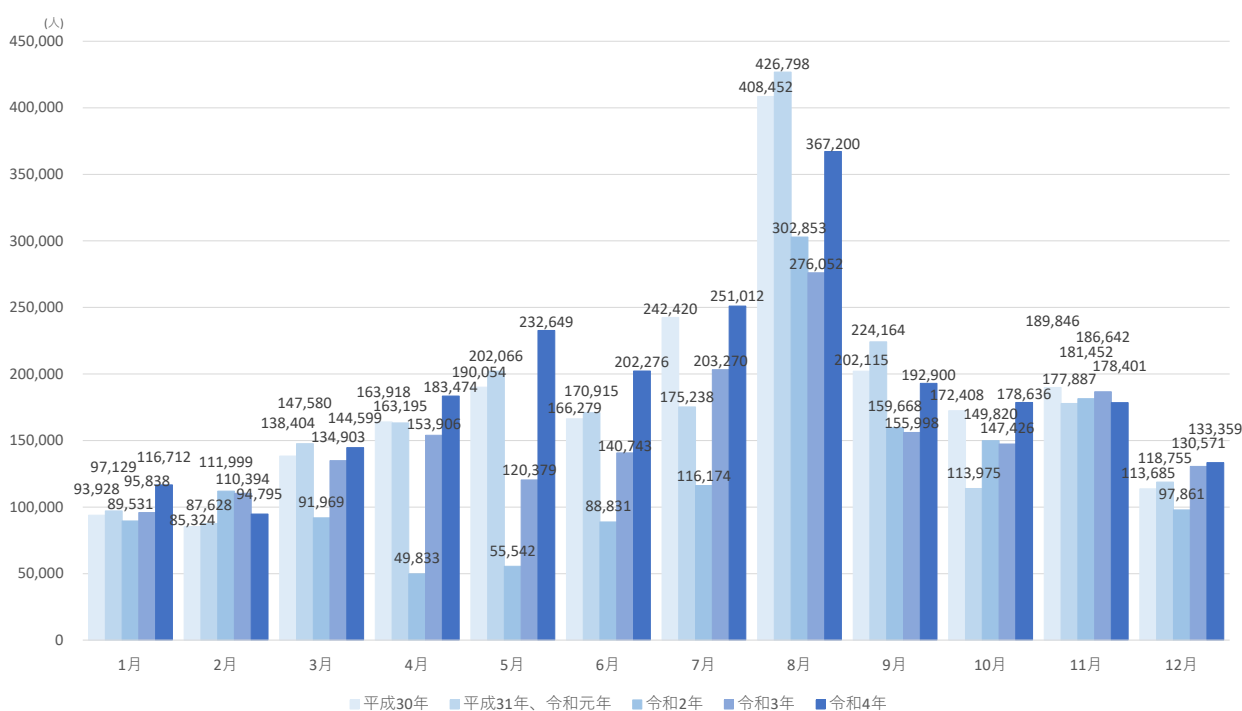
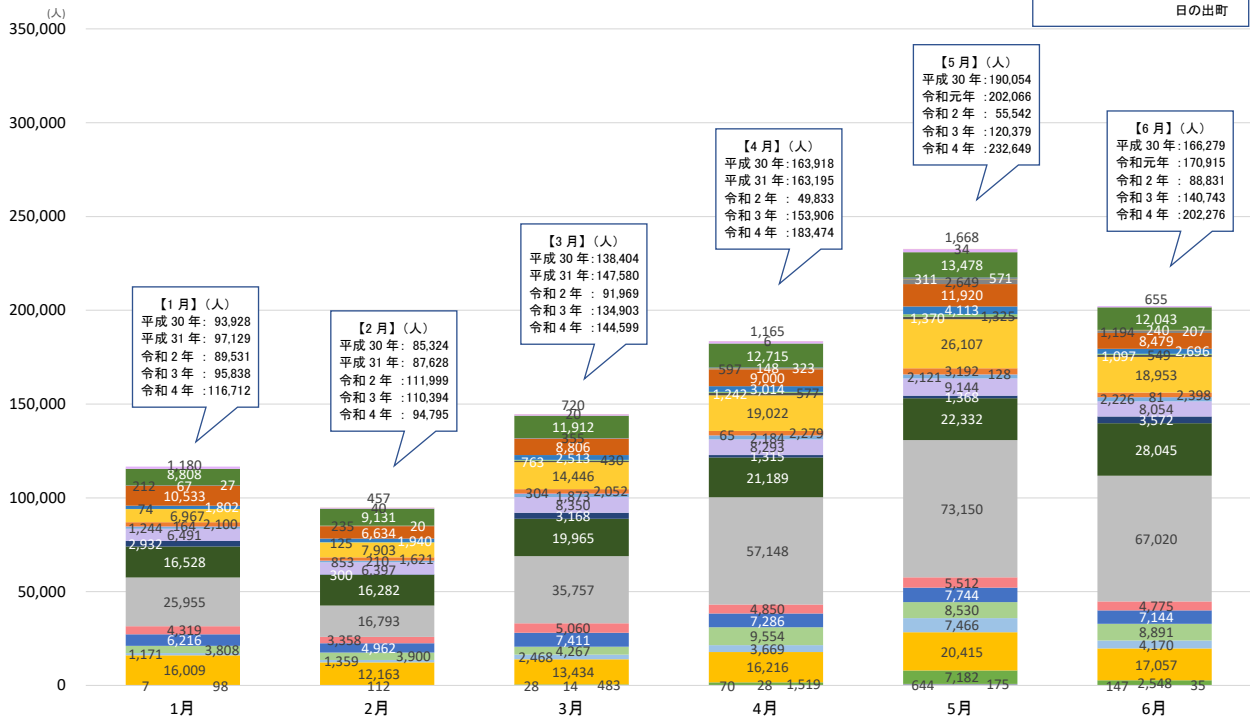
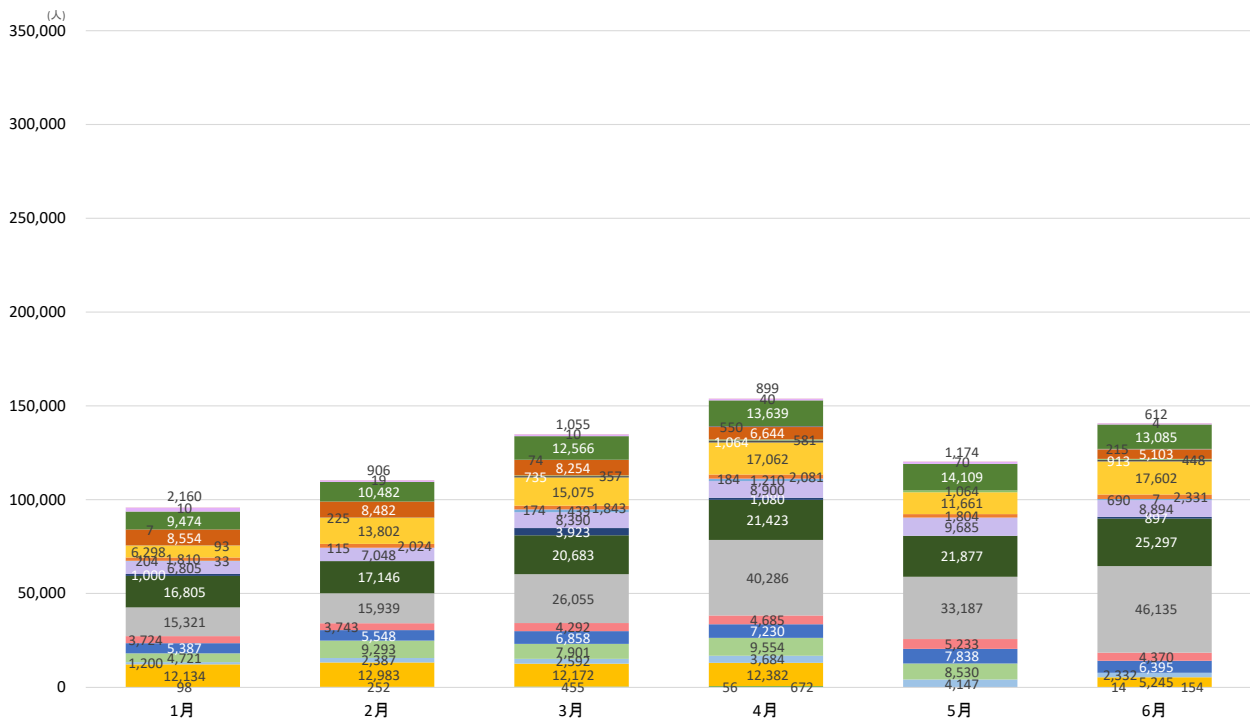


図 3-3 主要観光施設調査 月別の調査結果

[令和4年(上半期)]



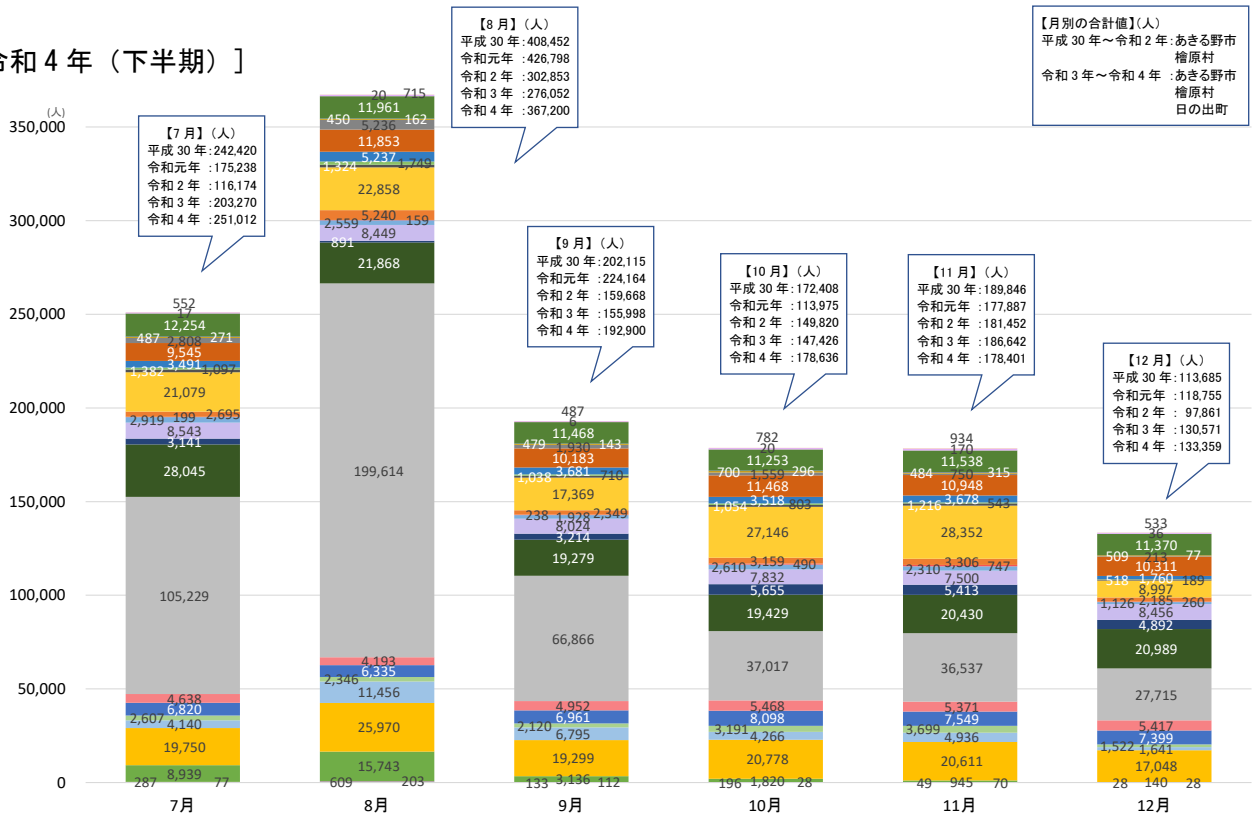
[令和3年(上半期)]



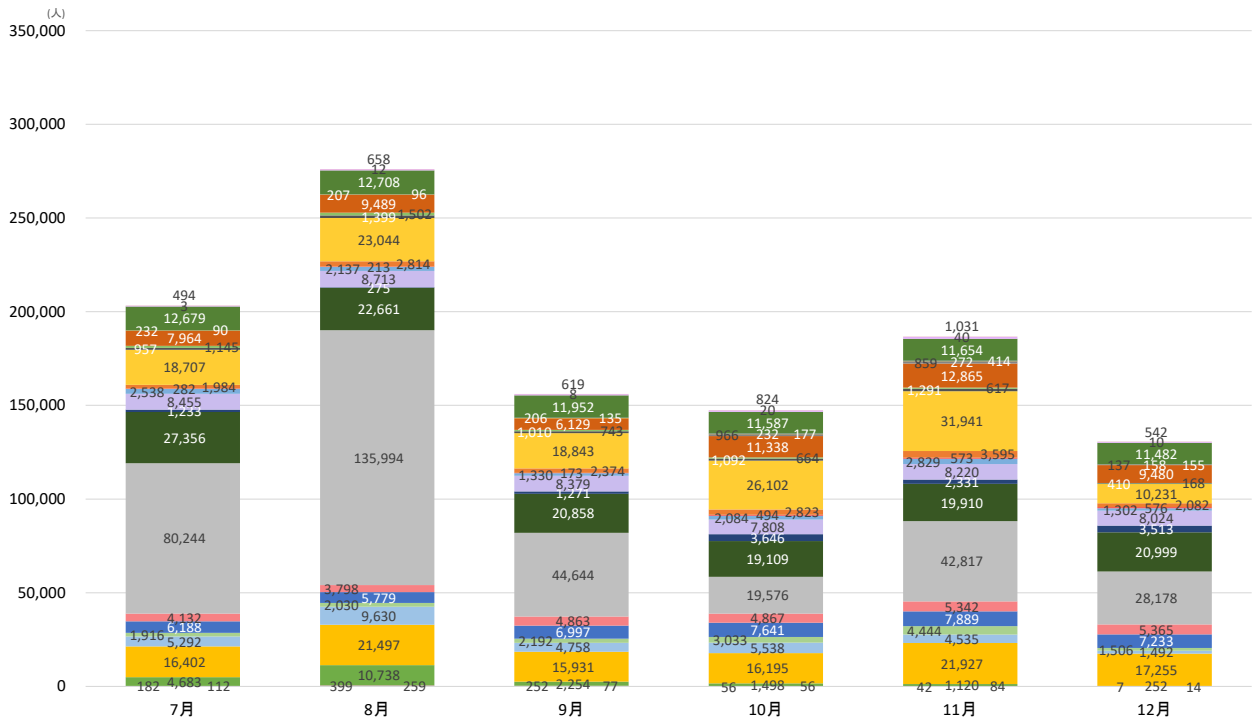
- 秋川ふれあいランド
- リバーサイドパークの谷
- 秋川橋河川公園バーベキューランド
- 秋川渓谷瀧の湯
- 秋川国際マス釣場
- 都立小峰公園
- 立川国際カントリー倶楽部
- 東京五日市カントリー倶楽部
- 東京サマーランド
- 秋川ファーマーズセンター
- 秋川キララホール
- 五日市ファーマーズセンター
- 秋川渓谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)
- あきる野ふるさと工房
- 檜原温泉センター数馬の湯
- 檜原都民の森
- 特産物直売所 やまぶき屋
- 神戸国際マス釣場
- 檜原森のおもちゃ美術館
- つるつる温泉
- 自然休養村さかな園
- ひので肝要の里
- 日の出山荘
- ふれあい農産物直売所
- 鹿野大佛
- 日の出太陽の家/武家屋敷

図 3-4 主要観光施設調査 月別の調査結果(上半期)

[令和4年(下半期)]



[令和3年(下半期)]



- 秋川ふれあいランド
- リバーサイドパークの谷
- 秋川橋河川公園バーベキューランド
- 秋川渓谷瀬音の湯
- 秋川国際マス釣場
- 都立小峰公園
- 立川国際カントリー倶楽部
- 東京五日市カントリー倶楽部
- 東京サマーランド
- 秋川ファーマーズセンター
- 秋川キララホール
- 五日市ファーマーズセンター
- 秋川渓谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)
- あきる野ふるさと工房
- 檜原都民の森
- 特産物直売所 やまぶき屋
- 檜原温泉センター数馬の湯
- 檜原森のおもちゃ美術館
- つるつる温泉
- 神戸国際マス釣場
- ひので肝要の里
- 自然休養村さかな園
- 鹿野大佛
- 日の出山荘
- ふれあい農産物直売所
- 日の出太陽の家/武家屋敷

図 3-5 主要観光施設調査 月別の調査結果(下半期)

表 3-2 主要観光施設調査 合計人数（平成 30 年から令和 4 年）（人）

平成30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	85,882	78,135	122,430	134,717	158,006	145,985	218,491	374,266	181,233	142,158	152,361	100,875	1,894,539
檜原村	8,046	7,189	15,974	29,201	32,048	20,294	23,929	34,186	20,882	30,250	37,485	12,810	272,294
月別 合計	93,928	85,324	138,404	163,918	190,054	166,279	242,420	408,452	202,115	172,408	189,846	113,685	2,166,833
四半期 合計	317,656			520,251			852,987			475,939			

平成31年、令和元年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	86,833	79,442	128,622	137,252	168,860	151,529	158,069	394,982	198,833	99,715	148,342	107,606	1,860,085
檜原村	10,296	8,186	18,958	25,943	33,206	19,386	17,169	31,816	25,331	14,260	29,545	11,149	245,245
月別 合計	97,129	87,628	147,580	163,195	202,066	170,915	175,238	426,798	224,164	113,975	177,887	118,755	2,105,330
四半期 合計	332,337			536,176			826,200			410,617			

令和2年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	83,110	99,530	74,672	43,760	51,285	67,432	97,284	250,009	137,078	122,242	140,910	85,021	1,252,333
檜原村	6,421	12,469	17,297	6,073	4,257	21,399	18,890	52,844	22,590	27,578	40,542	12,840	243,200
月別 合計	89,531	111,999	91,969	49,833	55,542	88,831	116,174	302,853	159,668	149,820	181,452	97,861	1,495,533
四半期 合計	293,499			194,206			578,695			429,133			

令和3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	67,432	74,454	94,934	111,346	90,497	100,430	159,015	224,123	113,979	91,601	122,063	95,716	1,345,590
檜原村	8,201	16,051	18,010	20,788	14,529	21,294	22,793	28,759	22,970	30,681	37,444	12,891	254,411
日の出町	20,205	19,889	21,959	21,772	15,353	19,019	21,462	23,170	19,049	25,144	27,135	21,964	256,121
月別 合計	95,838	110,394	134,903	153,906	120,379	140,743	203,270	276,052	155,998	147,426	186,642	130,571	1,856,122
四半期 合計	341,135			415,028			635,320			464,639			

令和4年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	84,942	66,689	102,582	133,386	165,911	153,765	195,334	300,395	143,057	116,878	116,167	96,661	1,675,767
檜原村	10,943	11,589	20,204	26,134	36,107	25,693	29,744	36,408	25,147	35,680	37,095	13,649	308,393
日の出町	20,827	16,517	21,813	23,954	30,631	22,818	25,934	30,397	24,696	26,078	25,139	23,049	291,853
月別 合計	116,712	94,795	144,599	183,474	232,649	202,276	251,012	367,200	192,900	178,636	178,401	133,359	2,276,013
四半期 合計	356,106			618,399			811,112			490,396			

【新型コロナウイルス感染症による影響】

- 令和 4 年は緊急事態宣言が発令されることはなかったものの、まん延防止等重点措置の影響で、臨時休業、営業時間短縮、人数制限を実施した観光施設も複数見受けられた。
- 2月、11月は、令和 3 年の調査時と比べてやや減少している（2月：-15,599人、11月：-8,241人）。特にまん延防止等重点措置が発令していた2月は減少幅がやや大きい。その他の月は、令和 3 年の調査時と比べて増加傾向にあった。
- 施設別では、「東京サマーランド」「秋川橋河川公園バーベキューランド」「秋川溪谷 瀬音の湯」「秋川キララホール」「つるつる温泉」「自然休養村さかな園」の入込客数が増加傾向であり、屋外施設に加え、温泉などの屋内施設の入込客数も増加している。
- また、「五日市ファーマーズセンター」「ふれあい農産物直売所」「鹿野大佛」の入込客数はやや減少傾向であった。いずれも観光バスや団体客の減少などが影響しているものとみられる。

### 【自治体別の5か年の入込客数の推移】

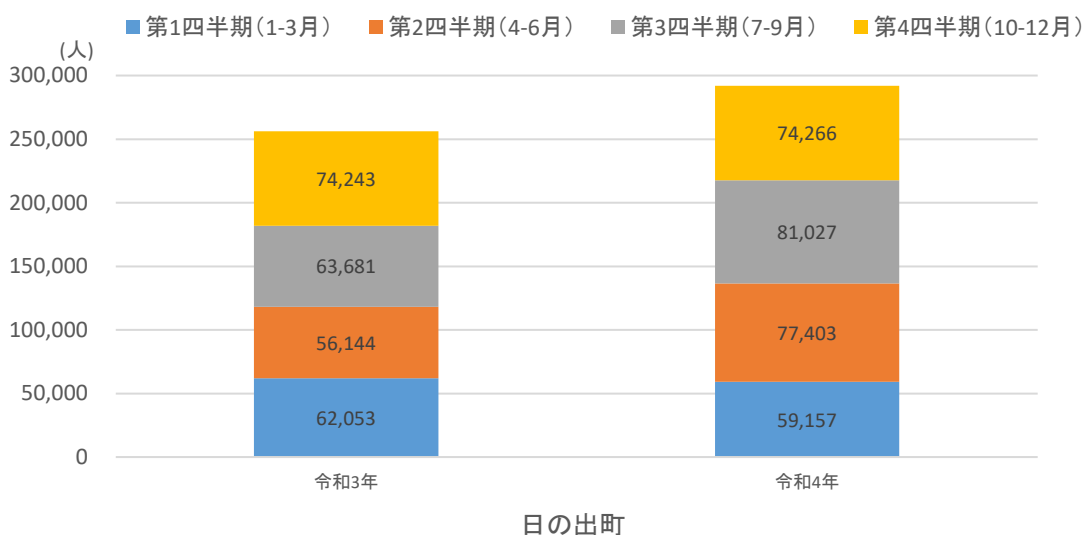
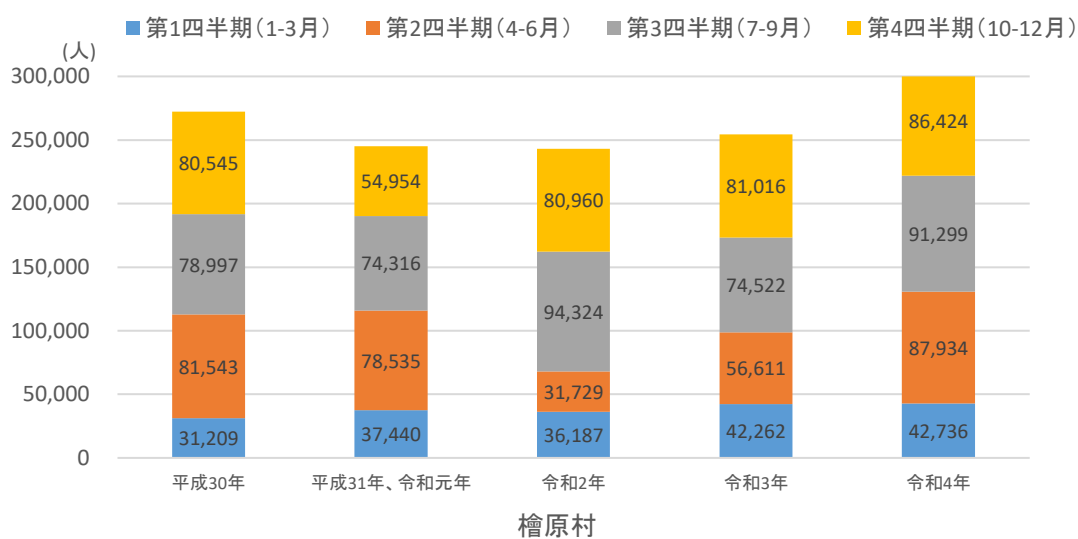
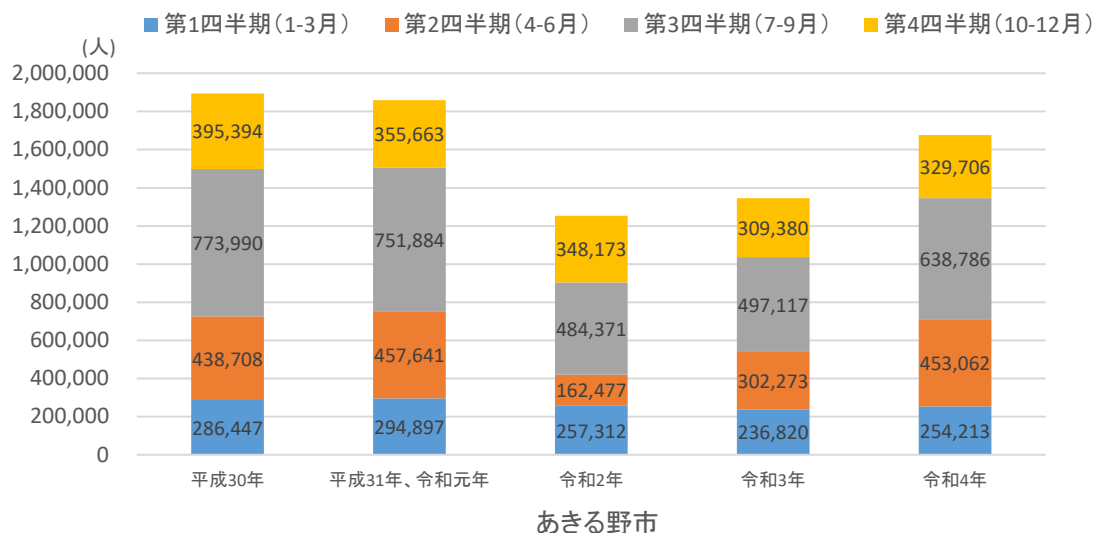


図 3-6 主要観光施設調査 過年度比較

## イ 行祭事・イベント調査

### (ア)対象地点の抽出（リストと位置図）

令和3年度における行祭事・イベント調査の対象地点をもとに、令和4年度の対象地点を13か所選定した。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響から令和4年に開催を予定していたイベントの多くが中止・延期・規模縮小等となっており、誘客が見込まれた行祭事・イベントは6行事のみであった。

表 3-3 行祭事・イベント調査 対象地点一覧

市町村	行祭事・イベント
あきる野市 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿伎留神社 (例大祭)</li> <li>・二宮神社 (例大祭)</li> <li>・正一位岩走神社 (例大祭)</li> <li>・あきる野夏まつり</li> <li>・あきる野市産業祭</li> <li>・ヨルイチ</li> <li>・あきる野の奏で</li> <li>・五市マルシェ</li> </ul>
檜原村 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘沢の滝ふるさと夏まつり</li> <li>・弘沢の滝冬まつり (ほっこり市)</li> </ul>
日の出町 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひので桜まつり ※代替事業として桜のライトアップ (誘客事業) を実施</li> <li>・ひので夏まつり</li> <li>・日の出産業まつり</li> </ul>

※網掛けは、令和4年に開催された誘客が見込まれる行祭事・イベント

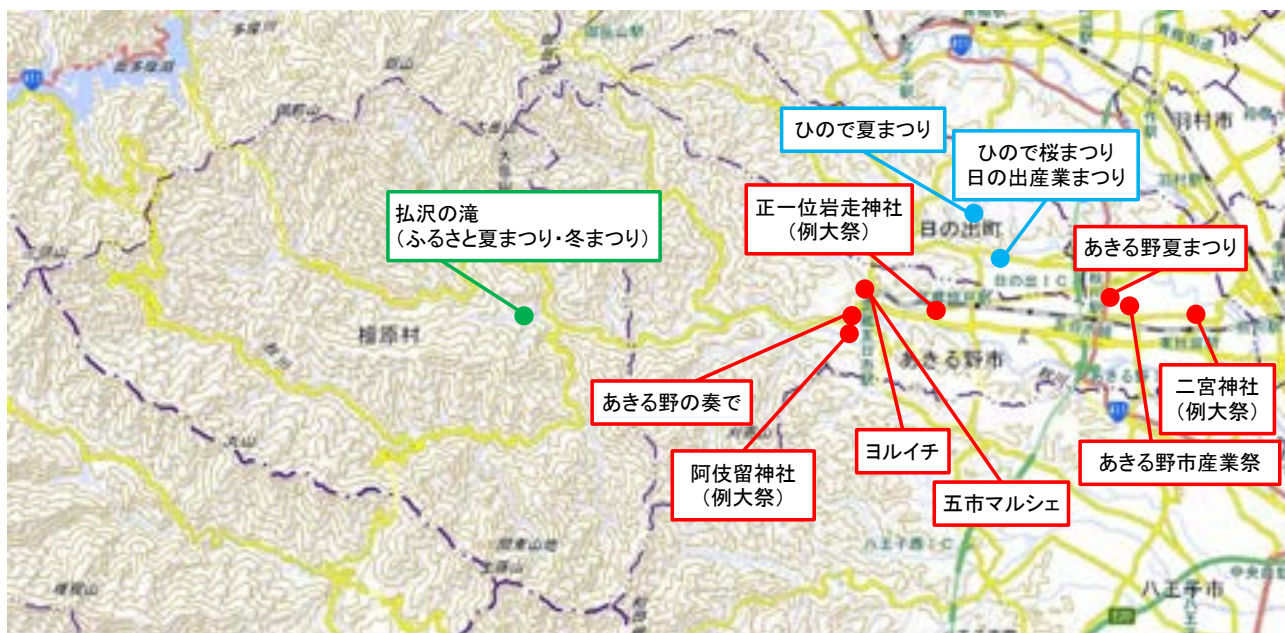


図 3-7 行祭事・イベント調査 対象地点マップ





(ウ) 調査結果

対象地点の中で、イベントを開催した5団体から回答が得られた。以下に結果を示す。

令和3年と比べ、イベントを開催した団体数が3団体増加している。また、「ヨルイチ」では、新型コロナウイルス感染拡大前を上回る入込客数となっている。

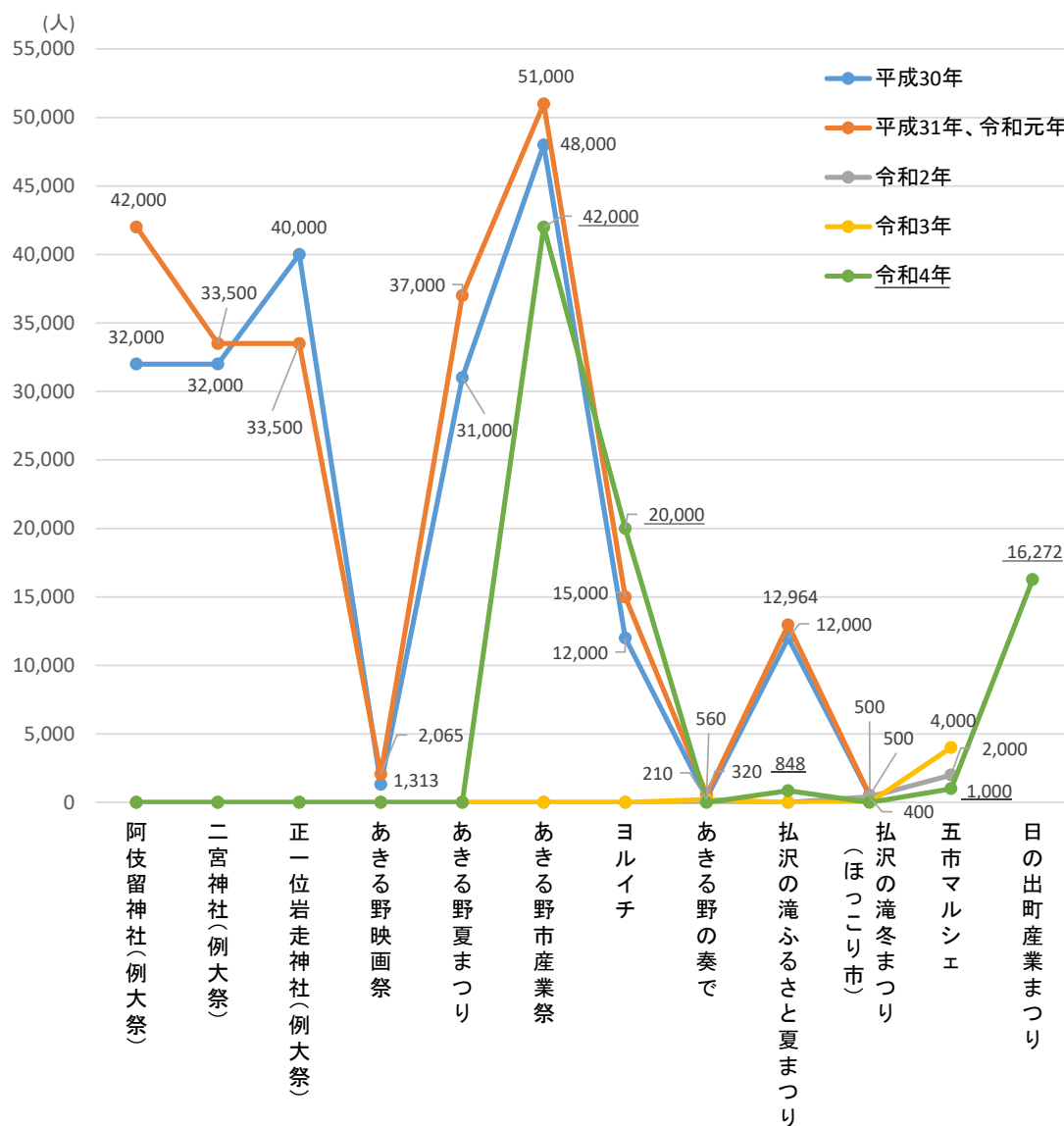


図 3-9 行祭事・イベント調査 調査結果

ウ 宿泊施設調査

(ア)対象地点の抽出（リストと位置図）

令和3年度に調査を行った宿泊施設をもとに、40か所を対象地点とした。

表 3-4 宿泊施設調査 対象地点一覧

市町村	観光施設
あきる野市 (20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WOODLAND BOTHY</li> <li>・ 旅館 錦江閣</li> <li>・ 旅館 油屋旅館</li> <li>・ 旅館 本陣</li> <li>・ 秋川渓谷 瀬音の湯 (コテージ)</li> <li>・ 自然休養村 山溪</li> <li>・ 民宿 秋朋</li> <li>・ 秋川渓谷戸倉体験研修センター (戸倉しろやまテラス)</li> <li>・ くつろぎの星降る宿 Otsu Nature Garden</li> <li>・ あきる野キャンプ場 ウラルビレッジ(旧:あきる野キャンプ場 麦の郷)</li> <li>・ 秋川渓谷リバーティオ</li> <li>・ 深沢溪自然人村 キャンプ場</li> <li>・ キャンピングコテージ「伊奈キャンプ村」</li> <li>・ コテージ 森林村</li> <li>・ 自然休養村 養沢センター&amp;クラインガルテン野良坊</li> <li>・ 大岳キャンプ場</li> <li>・ 山田大橋キャンプ場</li> <li>・ 五日市協同村ひだまりファーム</li> <li>・ 野外活動の家 陽谷院</li> <li>・ 東横イン東京秋川駅北口</li> </ul>
檜原村 (16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋本旅館</li> <li>・ 兜家旅館</li> <li>・ 三頭山荘</li> <li>・ 浅間坂</li> <li>・ 民宿かんづくり荘</li> <li>・ 清水苑キャンプ場</li> <li>・ 神戸園キャンプ場</li> <li>・ ロッジ神戸岩</li> <li>・ キャンピングガーデン [モク]</li> <li>・ 奥秋川ビレッジ</li> <li>・ キャンベルヒルズ</li> <li>・ ふれあい広場</li> <li>・ 北秋川自然休暇村</li> <li>・ たなごころビレッジ</li> <li>・ 東京里山シェアリング</li> <li>・ THEATER1</li> </ul>
日の出町 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおぼキャンプ村</li> <li>・ CHILL OUT BASE WEST TAMA</li> <li>・ 東雲山荘</li> <li>・ 東京日の出 武家屋敷</li> </ul>



図 3-10 宿泊施設調査 対象地点マップ

(イ) 調査票の設計・調査方法（郵送）

調査票は、東京都観光客数等実態調査を参考に作成し、郵送した。なお、期限までに回答が得られなかった施設については、電話連絡を行った。

調査票の内容を以下に示し、原本は巻末資料に示す。

FAX:03-6311-9032 秋川渓谷観光経済統計調査連絡会事務局 様

**～秋川渓谷観光客数等実態調査(宿泊施設の利用状況)調査票～**

問1 貴宿泊施設の基本情報について(複数の施設を有している場合は調査票をコピーして回答下さい)

① 宿泊施設名		② 所在地(町村)		TEL	
		③ 宿泊者種別名		FAX	

④ 宿泊施設のタイプ  
 1. 旅館 2. 民宿 3. キャンプ場 4. ビジネスホテル 5. 簡易宿泊所 6. 会社・団体の宿泊所  
 7. その他: \_\_\_\_\_

⑤ 客室数及び収容人数 (2022年7月1日現在)  
 客室数 \_\_\_\_\_ 収容人数 \_\_\_\_\_

⑥ 宿泊者数 (2022年7月1日現在) \_\_\_\_\_

問2 2022年上半期における貴宿泊施設の利用状況について

2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
⑦ 宿泊者数	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊	人・泊
⑧ 宿泊者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
⑨ 利用者数 (または営業稼働率)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

※1月～6月の宿泊者数……各月の全宿泊者数を月間で差し合わせた数を記入して下さい。季節や施設等も記入しておくと便利です。  
 ※7月～12月の宿泊者数……各月の全宿泊者数を月間で差し合わせた数を記入して下さい。季節や施設等も記入しておくと便利です。  
 ※利用者数(または営業稼働率)……各月の宿泊者数から利用した客室数を月間で差し合わせた数への客室数を記入して下さい。宿泊しない利用は含まれません。なお、利用者数の記入が難しい場合は、おおよその営業稼働率%を記入して下さい。

※2022年上半期における貴宿泊施設の利用状況における傾向や特記事項がありましたらご記入願います。

\*\*\*ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒、もしくはFAX、E-mailでご返信下さい\*\*\*

図 3-11 宿泊施設調査 調査票

(ウ) 調査結果

対象地点 40 か所のうち、28 か所から回答があった。その他の宿泊施設は推計にて算出した。推計方法は以下のとおりである。

<宿泊者数の推計方法>

総宿泊施設の利用者数の確定に当たり、有効回答が得られた宿泊施設については利用実績をそのまま用いることとする。

一方、有効回答が得られなかった宿泊施設については、回答が得られた対象の施設を下表のとおり分類して、推計を実施した。

また、延べ人数しか得られていない施設のうち、同様の分類がある施設に対しては、延べ人数と実人数が回答されている施設の比率を用いて実人数を算出した。

<有効回答が得られなかった宿泊施設の推計方法>

①令和3年度調査の回答がある場合

未回答施設の推定利用者数

= 同分類の施設のうち、有効回答がある施設の過年度比率 (令和4年度実績値 ÷ 令和3年度実績値) × 未回答施設の令和3年度実績値

②令和3年度調査の回答がない場合

未回答施設の推定利用者数

= 同分類の施設のうち、有効回答がある施設の稼働率 (実績値 ÷ 収容人数) × 未回答施設の収容人数

表 3-5(1) 施設種類別総実宿泊利用者数 (人)  
(令和4年)

分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	合計	4,291	4,194	6,632	6,331	7,863	6,047	8,810	12,609	7,681	8,227	8,579	7,360	88,625
	比率	4.8%	4.7%	7.5%	7.1%	8.9%	6.8%	9.9%	14.2%	8.7%	9.3%	9.7%	8.3%	100.0%
	A旅館・ホテル	3,150	3,531	4,254	3,632	4,139	3,578	4,194	5,433	3,474	4,337	4,797	4,847	49,365
	B民宿・コテージ	337	229	419	422	435	397	591	678	527	561	561	476	5,633
	C簡易宿所	185	0	386	473	108	340	1,655	1,934	1,647	1,603	1,802	1,433	11,564
Dバンガロー・キャンプ場	619	434	1,574	1,805	3,181	1,733	2,371	4,565	2,033	1,726	1,419	605	22,062	
檜原村	合計	255	105	717	1,646	1,741	1,328	2,246	4,234	1,709	1,427	1,358	761	17,528
	比率	1.5%	0.6%	4.1%	9.4%	9.9%	7.6%	12.8%	24.2%	9.7%	8.1%	7.7%	4.3%	100.0%
	A旅館・ホテル	240	97	208	274	464	237	410	963	325	282	559	426	4,485
	B民宿・コテージ	0	0	63	61	136	45	141	144	89	79	79	52	889
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	15	8	446	1,311	1,141	1,045	1,695	3,127	1,295	1,066	720	283	12,153	
日の出町	合計	6	8	162	189	242	127	92	149	74	65	90	76	1,280
	比率	0.5%	0.6%	12.7%	14.8%	18.9%	9.9%	7.2%	11.6%	5.8%	5.1%	7.0%	5.9%	100.0%
	A旅館・ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B民宿・コテージ	0	4	2	8	31	5	13	21	0	15	43	25	167
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	6	4	160	181	211	122	79	128	74	50	47	50	1,113	
合計	合計	4,552	4,307	7,512	8,166	9,846	7,502	11,149	16,993	9,464	9,719	10,026	8,197	107,433
	比率	4.2%	4.0%	7.0%	7.6%	9.2%	7.0%	10.4%	15.8%	8.8%	9.0%	9.3%	7.6%	100.0%
	A旅館・ホテル	3,390	3,628	4,463	3,906	4,603	3,815	4,603	6,396	3,799	4,619	5,356	5,273	53,850
	B民宿・コテージ	337	233	484	491	602	447	745	843	616	655	683	553	6,689
	C簡易宿所	185	0	386	473	108	340	1,655	1,934	1,647	1,603	1,802	1,433	11,564
Dバンガロー・キャンプ場	640	446	2,180	3,297	4,534	2,900	4,145	7,820	3,402	2,842	2,186	938	35,329	

表 3-5(2) 施設種類別総実宿泊利用者数 (人)  
 (上段：令和3年、中段：令和2年、下段：平成31年、令和元年)

令和3年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
分類														
あきる野市	合計	671	556	2,089	2,720	1,636	1,671	2,624	3,611	2,051	1,647	1,732	1,160	22,167
	比率	3.0%	2.5%	9.4%	12.3%	7.4%	7.5%	11.8%	16.3%	9.3%	7.4%	7.8%	5.2%	100.0%
	A旅館・ホテル	93	56	112	201	120	96	441	246	160	117	305	134	2,080
	B民宿・コテージ	160	0	128	318	0	131	451	668	456	460	583	455	3,810
	C簡易宿所	96	2	149	580	10	69	173	299	90	93	161	28	1,750
Dバンガロー・キャンプ場	322	498	1,700	1,620	1,507	1,375	1,559	2,398	1,344	978	682	544	14,527	
檜原村	合計	99	83	435	1,167	2,034	1,218	2,720	5,188	2,275	2,367	1,367	379	19,332
	比率	0.5%	0.4%	2.3%	6.0%	10.5%	6.3%	14.1%	26.8%	11.8%	12.2%	7.1%	2.0%	100.0%
	A旅館・ホテル	65	42	94	193	231	140	265	164	202	169	153	87	1,804
	B民宿・コテージ	0	0	15	78	81	22	78	228	51	51	82	37	723
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	35	42	326	896	1,721	1,056	2,377	4,795	2,023	2,147	1,132	255	16,806	
日の出町	合計	15	17	81	64	207	92	115	182	60	60	116	63	1,072
	比率	1.4%	1.6%	7.6%	5.9%	19.3%	8.6%	10.7%	17.0%	5.6%	5.6%	10.8%	5.9%	100.0%
	A旅館・ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B民宿・コテージ	2	4	6	2	0	4	3	16	8	37	81	41	204
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	13	13	75	62	207	88	112	166	52	23	35	22	868	
合計	合計	785	657	2,605	3,950	3,877	2,981	5,459	8,981	4,386	4,074	3,214	1,602	42,572
	比率	1.8%	1.5%	6.1%	9.3%	9.1%	7.0%	12.8%	21.1%	10.3%	9.6%	7.6%	3.8%	100.0%
	A旅館・ホテル	158	97	205	394	351	235	706	410	362	286	458	221	3,884
	B民宿・コテージ	162	4	149	398	81	157	532	912	515	548	746	533	4,737
	C簡易宿所	96	2	149	580	10	69	173	299	90	93	161	28	1,750
Dバンガロー・キャンプ場	370	553	2,101	2,578	3,435	2,520	4,048	7,360	3,419	3,148	1,849	821	32,201	

令和2年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
分類														
あきる野市	合計	892	952	3,082	212	210	1,262	3,755	12,307	4,282	2,135	3,131	668	32,886
	比率	2.7%	2.9%	9.4%	0.6%	0.6%	3.8%	11.4%	37.4%	13.0%	6.5%	9.5%	2.0%	100.0%
	A旅館・ホテル	223	288	211	100	54	133	289	844	586	276	356	228	3,587
	B民宿・コテージ	429	466	39	0	0	0	368	705	592	431	463	377	3,870
	C簡易宿所	187	93	17	0	9	15	423	1,688	447	356	294	32	3,560
Dバンガロー・キャンプ場	53	105	2,816	112	147	1,113	2,675	9,071	2,656	1,072	2,018	30	21,869	
檜原村	合計	250	360	506	74	206	769	2,208	6,758	3,039	2,049	1,743	458	18,420
	比率	1.4%	2.0%	2.7%	0.4%	1.1%	4.2%	12.0%	36.7%	16.5%	11.1%	9.5%	2.5%	100.0%
	A旅館・ホテル	199	264	232	0	102	197	284	591	556	287	369	180	3,261
	B民宿・コテージ	33	46	86	0	39	65	103	209	197	107	118	68	1,070
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	18	50	188	74	65	507	1,821	5,958	2,286	1,655	1,256	210	14,089	
合計	合計	1,141	1,312	3,588	286	416	2,030	5,964	19,065	7,321	4,183	4,874	1,126	51,306
	比率	2.2%	2.6%	7.0%	0.6%	0.8%	4.0%	11.6%	37.2%	14.3%	8.2%	9.5%	2.2%	100.0%
	A旅館・ホテル	422	552	443	100	156	330	573	1,435	1,142	563	724	409	6,848
	B民宿・コテージ	462	512	125	0	39	65	471	914	789	538	581	445	4,940
	C簡易宿所	187	93	17	0	9	15	423	1,688	447	356	294	32	3,560
Dバンガロー・キャンプ場	71	155	3,004	186	212	1,620	4,496	15,029	4,942	2,727	3,275	240	35,957	

平成31年、令和元年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
分類														
あきる野市	合計	1,244	1,451	2,900	3,801	6,712	3,869	9,065	14,664	6,357	2,384	3,626	2,673	58,746
	比率	2.1%	2.5%	4.9%	6.5%	11.4%	6.6%	15.4%	25.0%	10.8%	4.1%	6.2%	4.6%	100.0%
	A旅館・ホテル	295	315	464	374	604	170	1,688	1,802	572	411	416	410	7,519
	B民宿・コテージ	459	399	549	551	565	523	653	726	573	465	614	525	6,602
	C簡易宿所	259	248	571	538	1,184	734	2,429	3,146	1,012	477	569	517	11,684
Dバンガロー・キャンプ場	231	489	1,316	2,338	4,359	2,442	4,295	8,991	4,200	1,031	2,026	1,221	32,940	
檜原村	合計	301	404	700	2,144	3,034	1,738	3,535	7,355	3,175	1,553	1,756	703	26,398
	比率	1.1%	1.5%	2.7%	8.1%	11.5%	6.6%	13.4%	27.9%	12.0%	5.9%	6.7%	2.7%	100.0%
	A旅館・ホテル	254	283	360	472	400	331	602	751	664	386	592	313	5,408
	B民宿・コテージ	35	39	106	130	110	95	176	215	191	115	156	95	1,463
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dバンガロー・キャンプ場	12	82	234	1,542	2,524	1,312	2,757	6,389	2,320	1,052	1,008	295	19,527	
合計	合計	1,545	1,855	3,600	5,945	9,746	5,607	12,600	22,019	9,532	3,937	5,382	3,376	85,144
	比率	1.8%	2.2%	4.2%	7.0%	11.4%	6.6%	14.8%	25.9%	11.2%	4.6%	6.3%	4.0%	100.0%
	A旅館・ホテル	549	598	824	846	1,004	501	2,290	2,553	1,236	797	1,008	723	12,927
	B民宿・コテージ	494	438	655	681	675	618	829	941	764	580	770	620	8,065
	C簡易宿所	259	248	571	538	1,184	734	2,429	3,146	1,012	477	569	517	11,684
Dバンガロー・キャンプ場	243	571	1,550	3,880	6,883	3,754	7,052	15,380	6,520	2,083	3,034	1,516	52,467	

表 3-5(3) 施設種類別総実宿泊利用者数（人）  
（平成 30 年）

平成30年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
分類														
あきる野市	合計	1,205	1,563	2,956	2,709	5,541	4,457	7,939	9,624	4,949	2,902	2,371	2,479	48,693
	比率	2.5%	3.2%	6.1%	5.6%	11.4%	9.2%	16.3%	19.8%	10.2%	6.0%	4.9%	5.1%	100.0%
	A旅館・ホテル	432	604	628	550	740	417	1,925	2,157	694	838	606	675	10,264
	B民宿・コテージ	438	398	508	560	572	1,148	754	633	577	558	607	537	7,290
	C簡易宿所	247	232	512	513	872	613	2,769	2,884	1,269	572	532	664	11,679
Dバンガロー・キャンプ場	88	329	1,308	1,086	3,357	2,279	2,491	3,950	2,409	934	626	603	19,460	
檜原村	合計	385	468	822	1,712	2,349	1,602	2,888	7,093	4,264	1,851	2,231	917	26,582
	比率	1.4%	1.8%	3.1%	6.4%	8.8%	6.0%	10.9%	26.7%	16.0%	7.0%	8.4%	3.4%	100.0%
	A旅館・ホテル	251	280	346	434	374	316	588	730	640	393	533	323	5,208
	B民宿・コテージ	122	136	226	277	234	202	376	459	408	245	333	150	3,168
	C簡易宿所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
Dバンガロー・キャンプ場	12	52	250	1,001	1,741	1,084	1,924	5,904	3,216	1,213	1,365	444	18,206	
合計	合計	1,590	2,031	3,778	4,421	7,890	6,059	10,827	16,717	9,213	4,753	4,602	3,396	75,275
	比率	2.1%	2.7%	5.0%	5.9%	10.5%	8.0%	14.4%	22.2%	12.2%	6.3%	6.1%	4.5%	100.0%
	A旅館・ホテル	683	884	974	984	1,114	733	2,513	2,887	1,334	1,231	1,139	998	15,472
	B民宿・コテージ	560	534	734	837	806	1,350	1,130	1,092	985	803	940	687	10,458
	C簡易宿所	247	232	512	513	872	613	2,769	2,884	1,269	572	532	664	11,679
Dバンガロー・キャンプ場	100	381	1,558	2,087	5,098	3,363	4,415	9,854	5,625	2,147	1,991	1,047	37,666	

あきる野市と檜原村は8月、日の出町は5月が最も宿泊利用者数が多く、3市町村を合わせると8月（16,992人）、7月（11,148人）の順に多い。

令和3年と比較すると、年間合計で約65,000人増加しており、宿泊を伴う旅行需要の回復がみられる。

### 【月別の傾向】

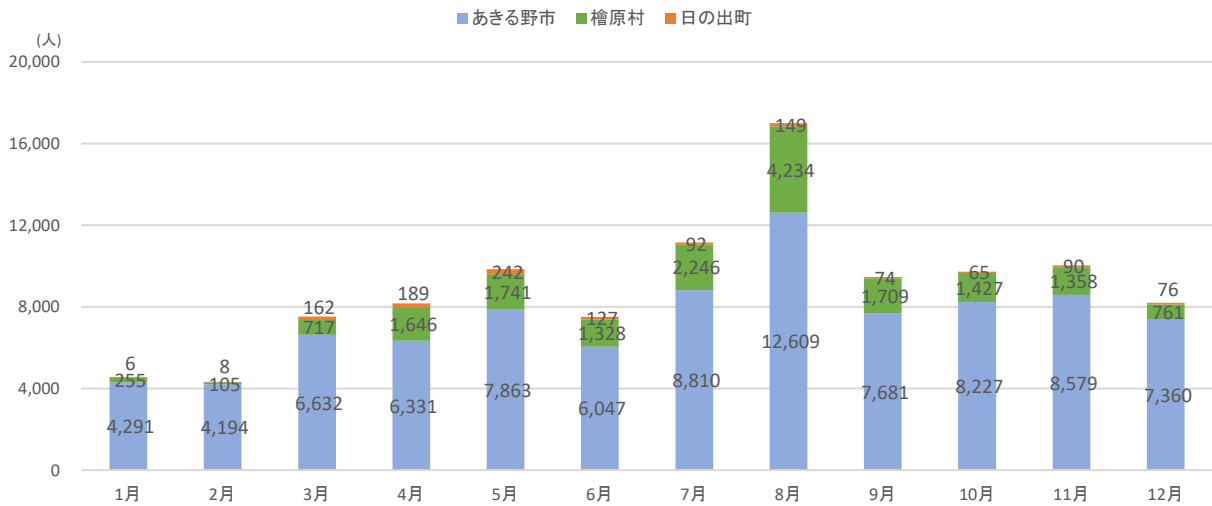


図 3-12 宿泊施設調査 月別の実宿泊利用者数

### 【経年推移】

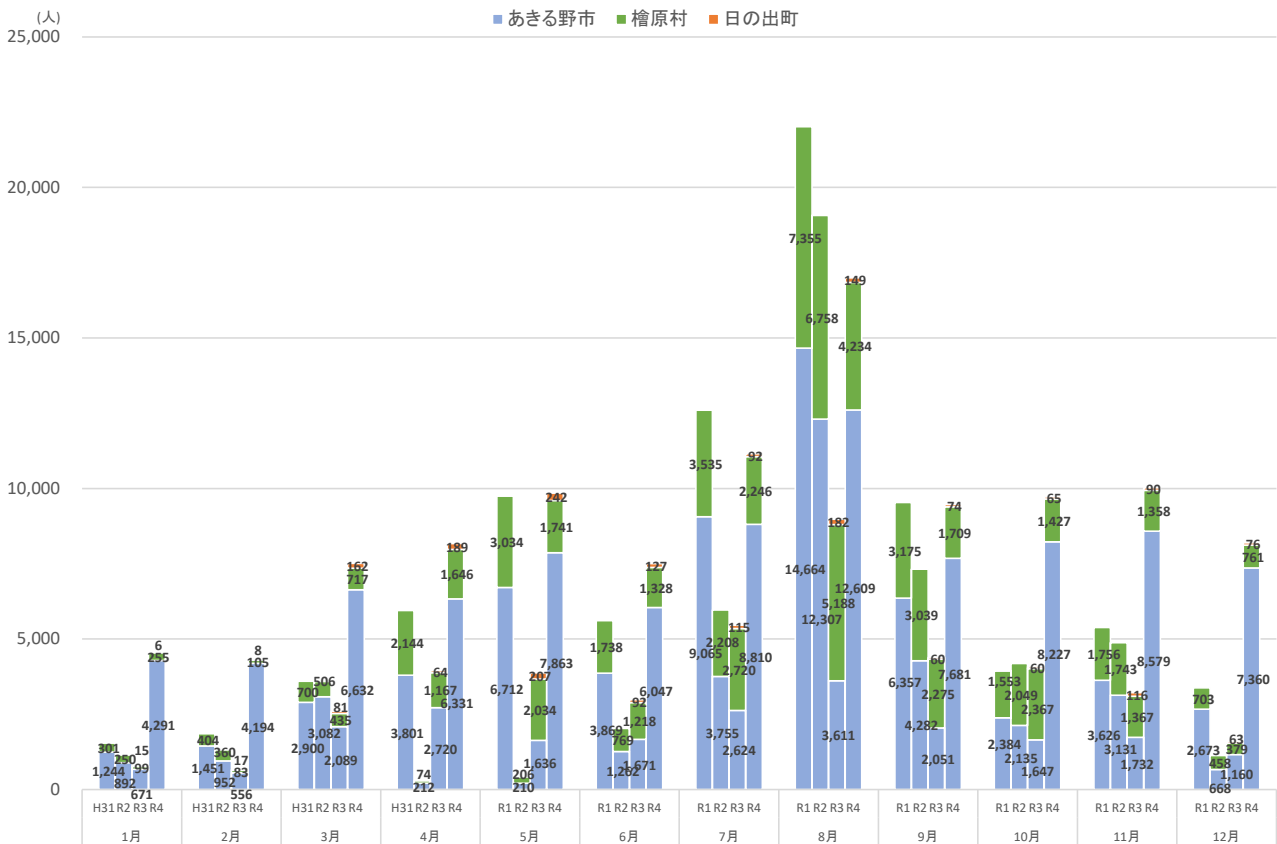


図 3-13 宿泊施設調査 月別の実宿泊利用者数 過年度比較



## エ 観光施設・イベント・宿泊数合算

年間の観光施設・イベント・宿泊者数を合算（表 3-6 参照）すると、令和 4 年の実績は約 246 万人となり、入込客数は、令和元年の状況にまで回復しつつあることが分かる。一方、月別合計で見ると、8 月、9 月は、令和元年の実績値より大幅に低い数値となっている。

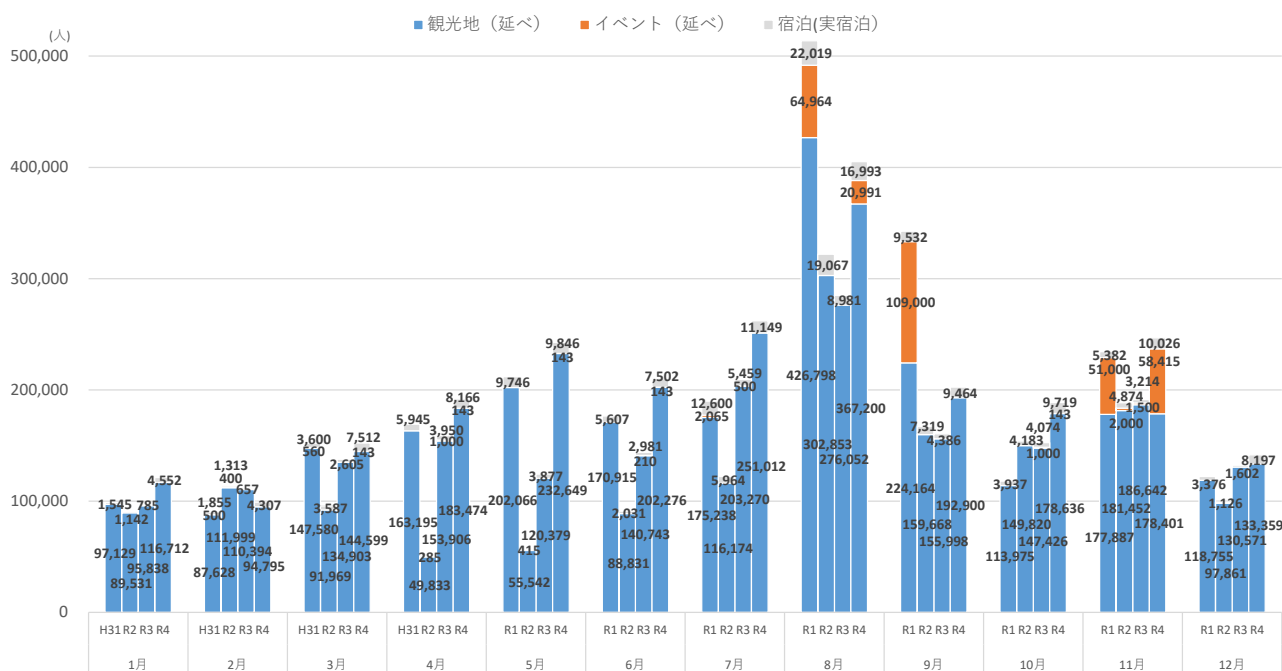


図 3-14 月別の観光施設・イベント・宿泊者数合算

表 3-6 月別の観光施設・イベント・宿泊者数合算（人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光地(延べ)	116,712	94,795	144,599	183,474	232,649	202,276
イベント(延べ)	0	0	143	143	143	143
宿泊(実宿泊)	4,552	4,307	7,512	8,166	9,846	7,502
月別 合計	121,264	99,102	152,254	191,783	242,638	209,921
四半期 合計	372,619			644,342		

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
観光地(延べ)	251,012	367,200	192,900	178,636	178,401	133,359	2,276,013
イベント(延べ)	0	20,991	0	143	58,415	0	80,121
宿泊(実宿泊)	11,149	16,993	9,464	9,719	10,026	8,197	107,433
月別 合計	262,161	405,184	202,364	188,498	246,842	141,556	2,463,567
四半期 合計	869,709			576,897			

## オ 調査結果のまとめ

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言は発令されなかったことから、入込客数は全体的に増加傾向にあった。

### ◆ 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置（令和4年1月21日～3月21日）

#### 【観光地点】

- ・令和4年は、まん延防止等重点措置の影響で、臨時休業、営業時間短縮、人数制限を実施した観光施設も複数見受けられた。
- ・令和3年と比較すると、まん延防止等重点措置が実施された2月と11月は減少しているものの、他の月では増加している。
- ・平成30年と比較すると、新型コロナウイルス感染拡大前の入込客数を上回る月もあった。

#### 【イベント】

- ・令和3年と比べ、イベントを開催した団体数が3団体増加した。また、一部のイベントでは、新型コロナウイルス感染拡大前を上回る入込客数となり、イベントの実施や参加も回復しつつあることが分かる。

#### 【宿泊】

- ・令和3年と比較すると年間で約65,000人増加しており、宿泊を伴う旅行需要の回復の兆しがみられる。

## 2 観光地点パラメータ調査の実施

### (1) 調査目的

観光地点を訪れた来訪者の属性、1人当たりの消費額、訪問地点数及び満足度について把握するため、対面式のアンケート調査を計2回実施した。

### (2) 調査方法及び調査結果

#### ア 対象地点の抽出（リストと位置図）

表 3-7 観光地点パラメータ調査 対象地点一覧

市町村	観光施設
あきる野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武蔵五日市駅</li> <li>・ 東京サマーランド</li> <li>・ 秋川橋河川公園バーベキューランド</li> <li>・ 秋川渓谷 瀬音の湯</li> <li>・ 秋川国際マス釣場</li> </ul>
檜原村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檜原都民の森</li> <li>・ 檜原温泉センター数馬の湯</li> </ul>
日の出町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つるつる温泉</li> <li>・ ふれあい農作物直売所</li> </ul>



図 3-15 観光地点パラメータ調査 調査地点 位置図





武蔵五日市駅



秋川橋河川公園バーベキューランド



檜原都民の森



つるつる温泉

図 3-17 観光地点パラメータ調査 調査風景



図 3-18 観光地点パラメータ調査で使ったマップ

ウ 作業計画書の作成

調査の実施に際し、調査地点の管理者に調査依頼と説明を行うために用いる、調査時期・調査場所・連絡先等をまとめた作業計画書を作成した。作業計画書の抜粋を以下に示す。



図 3-19 作業計画書の抜粋

## エ 調査時期・調査票獲得数

観光パラメータ調査の獲得数として、1期合計400票程度の取得を目指し、令和4年度では、合計927票を獲得した。獲得した票数は以下のとおりである。

表 3-8 各期の獲得票数及びサンプル数

調査地点 (令和3年回答数)	令和4年度			
	春調査		夏調査	
	調査日	獲得票数	調査日	獲得票数
武蔵五日市駅 (104票)	5/ 28・29	48	7/ 23・24	56
東京サマーランド (96票)	5/28	27	7/23	69
秋川橋河川公園バーベ キューランド(80票)	5/ 28・29	40	7/ 23・24	40
秋川渓谷 瀬音の湯 (153票)	5/29	81	7/24	72
秋川国際マス釣場 (69票)	5/ 28・29	37	7/ 23・24	32
檜原都民の森 (116票)	5/ 28・29	50	7/ 23・24	66
檜原温泉センター数馬 の湯(78票)	5/ 28・29	48	7/ 23・24	30
つるつる温泉 (116票)	5/28	71	7/23	45
ふれあい農産物直売所 (115票)	5/29	49	7/24	66
合計	—	451	—	476





## 第4章

# 経済波及効果の算出



## 第4章 経済波及効果の算出

観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査の結果を踏まえ、観光消費による経済波及効果を示す指標（波及効果額、域内総生産（GRP）に占める割合等）を算出し、観光による経済波及効果拡大に向けた分析及び提案を行った。

### 1 秋川渓谷の産業構造の整理 ※令和4年3月版 秋川渓谷観光経済統計調査・分析等業務委託報告書 第4章再掲

#### (1) アンケート結果からみた産業別にみる産業構造

ここでは、令和3年度に実施した事業者に対する「秋川渓谷観光による経済波及効果に関するアンケート調査」の結果をもとに、秋川渓谷全産業の売上高に占める下記科目毎の経費構造について整理した。なお、調査対象事業者は、令和3年度に回収した70件を対象とする。

#### ア 産業別にみる経費構造

表4-1 産業別にみる産業構造の概要

科目	備考
①原材料費 (売上原価)	○製造や料理などの原材料費や販売用商品の仕入れなどの費用 ○農林漁業の場合は、肥料・種苗・薬剤・餌代、製造業の場合は、加工外注費も含む ○運輸・交通業の場合は、燃料費も含む
②営業経費	○旅費や通信費、水道光熱費、広告宣伝費、消耗品費、修繕費など、製品やサービスを提供するに当たって必要となる費用 ○農林漁業の場合は、農機具・漁船・漁具費・油費も含む。
③人件費	○従業員の人件費（パートなどを含む） ○役員給与や賞与、直接労務費や福利厚生費なども含む ○個人事業主・家族経営の方は、本人や家族の人件費は0とし、所得は全て営業利益に含む
④その他経費	○減価償却費や固定資産税などの租税公課、支払利息など
⑤営業利益	○売上高から上記の原材料費、営業経費、人件費、その他経費を除いた額

秋川渓谷全体の産業についてみると、「人件費」が最も高く、45.7%を占めていることが大きな特徴といえる。次いで「営業利益」が43.1%、「原材料費（売上原価）」が14.2%となっている。

これを産業別にみると、次のような特徴が挙げられる。

- ◆「売上原価」が高い業種
  - ・その他小売業（回答4件）
  - ・飲食料品製造業（回答2件）
  - ・博物館・資料館・植物園等（回答3件）
- ◆「営業経費」が高い業種
  - ・その他サービス業（回答3件）
  - ・観光・レクリエーション施設（回答9件）
  - ・その他業種（回答3件）
- ◆「人件費」が高い業種
  - ・観光・レクリエーション施設（回答9件）
  - ・飲食店業（回答26件）
  - ・土産品小売業（回答2件）
- ◆営業利益が多い施設
  - ・その他の業種、宿泊業、農業と続く

表 4-2(1) 産業別にみる産業構造 秋川渓谷全体の分類別

分類	回答 件数	①原材料費 (売上原価)	②営業経費	③人件費	④その他 経費	⑤営業利益
農業	2	20.5%	25.8%	27.9%	6.3%	19.5%
飲食料品製造業	2	56.0%	23.6%	18.3%	5.2%	-3.1%
工芸品製造業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土産品小売業	2	19.1%	36.0%	36.7%	7.7%	0.5%
飲食料品小売業	7	35.9%	16.6%	28.7%	6.6%	12.3%
その他小売業	4	78.0%	4.0%	17.0%	3.0%	-2.0%
飲食店業	26	30.9%	12.6%	38.0%	9.2%	9.4%
宿泊業(旅館・民宿等)	7	5.2%	22.5%	30.7%	15.0%	26.6%
博物館・資料館・植物園等	3	36.4%	27.2%	27.0%	0.5%	9.0%
観光・レクリエーション施設 (観光体験・遊漁含む)	9	8.6%	53.3%	50.4%	10.0%	-22.4%
その他サービス業	3	0.0%	73.9%	27.5%	1.7%	-3.1%
その他の業種	3	17.0%	40.0%	0.0%	4.0%	39.0%
全産業	70	14.2%	43.1%	45.7%	9.7%	-12.7%

※算出方法：各事業者の年間売上に対し、売上高に対する各項目の割合から、事業者毎の項目別売上額を算出した。事業分類別で累計し、その総額の割合を算出した。

地区別にみると、「売上原価」では檜原村が最も高く、34.7%を占めており、「営業経費」ではあきる野市（秋川地区）が58.3%、「人件費」ではあきる野市（秋川地区）が53.7%となっている。

表 4-2(2) 産業別にみる産業構造 秋川渓谷全体の地区別

分類	回答 件数	①原材料費 (売上原価)	②営業経費	③人件費	④その他 経費	⑤営業利益
あきる野市(秋川地区)	18	5.4%	58.3%	53.7%	10.9%	-28.3%
あきる野市(五日市地区)	26	25.6%	17.0%	35.2%	8.4%	13.8%
檜原村	16	34.7%	20.2%	28.4%	6.2%	10.5%
日の出町	10	27.0%	24.6%	22.4%	5.5%	20.4%
全体	70	14.2%	43.1%	45.7%	9.7%	-12.7%

## イ 産業別にみる域内調達率

経費科目毎の域内調達率は、秋川渓谷内の全産業で見ると「売上原価」が31.6%、「営業経費」が13.2%、「人件費」が87.6%となっている。

これを産業別にみると、次のような特徴が挙げられる。

- ◆売上原価の域内調達率が高い業種
  - ・宿泊業（旅館・民宿等）
  - ・飲食店業
- ◆「営業経費」の域内調達率が高い業種
  - ・その他の業種
  - ・飲食料品小売業
  - ・飲食店業
  - ・宿泊業（旅館・民宿等）
- ◆「人件費」の域内調達率が高い業種
  - ・工芸品製造業、卸売業、その他サービス業、その他業種を除き、50%を上回っている。

表 4-3(1) 各経費の支払先（購入先）の比率 秋川渓谷全体の分類別

分類	回答件数	①原材料費(売上原価)			②営業経費			③人件費		
		A:秋川渓谷内	B:東京都内(Aを除く)	C:東京都外	A:秋川渓谷内	B:東京都内(Aを除く)	C:東京都外	A:秋川渓谷内	B:東京都内(Aを除く)	C:東京都外
農業	2	37.8%	20.7%	41.5%	20.0%	70.0%	10.0%	84.2%	15.8%	0.0%
飲食料品製造業	2	6.9%	36.3%	56.7%	23.2%	60.0%	16.8%	76.4%	23.6%	0.0%
工芸品製造業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土産品小売業	2	4.4%	95.4%	0.2%	21.0%	79.0%	0.0%	94.9%	5.1%	0.0%
飲食料品小売業	7	29.7%	52.4%	17.9%	70.3%	23.5%	6.2%	78.1%	15.0%	6.8%
その他小売業	4	10.0%	70.0%	20.0%	5.0%	95.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
飲食店業	26	46.3%	36.6%	17.0%	50.3%	42.3%	7.4%	88.5%	11.3%	0.1%
宿泊業(旅館・民宿等)	7	54.7%	18.7%	26.6%	49.6%	50.4%	0.0%	98.3%	1.7%	0.0%
博物館・資料館・植物園等	3	25.9%	7.4%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%
観光・レクリエーション施設 (観光体験・遊漁含む)	9	21.2%	65.3%	13.5%	9.7%	75.8%	14.5%	87.2%	11.0%	1.8%
その他サービス業	3	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	45.0%	52.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の業種	3	10.0%	10.0%	80.0%	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全産業	70	31.6%	52.3%	16.1%	13.2%	72.0%	14.7%	87.6%	10.9%	1.5%

※算出方法：各事業者の年間売上に対し、売上高に対する各項目の割合から、事業者別の項目別売上額を算出した。また、事業分類別で累計し、その総額の割合を算出した。

地区別の域内調達率について、「原材料費（売上原価）」は日の出町が最も高く 47.9%を占めている。また、「営業経費」は檜原村が最も高く 52.9%を占め、「人件費」は全ての地区で75%を超えている。

表 4-3 (2) 各経費の支払先（購入先）の比率 秋川渓谷全体の地区別

分類	回答 件数	①原材料費(売上原価)			②営業経費			③人件費		
		A: 秋川 渓谷内	B: 東京 都内(A を除く)	C: 東京 都外	A: 秋川 渓谷内	B: 東京 都内(A を除く)	C: 東京 都外	A: 秋川 渓谷内	B: 東京 都内(A を除く)	C: 東京 都外
あきる野市(秋川地区)	18	10.5%	74.5%	15.0%	8.3%	76.7%	14.9%	87.6%	10.4%	2.0%
あきる野市(五日市地区)	26	42.7%	35.9%	21.4%	33.1%	47.4%	19.6%	86.2%	13.8%	0.0%
檜原村	16	30.6%	61.8%	7.6%	52.9%	44.8%	2.3%	91.3%	5.9%	2.7%
日の出町	10	47.9%	13.0%	39.1%	46.3%	43.9%	9.8%	78.3%	21.7%	0.0%
全体	70	31.6%	52.3%	16.1%	13.2%	72.0%	14.7%	87.6%	10.9%	1.5%

#### ウ 原材料費（売上原価）の内訳

観光関連業種の「宿泊サービス」「飲食サービス」「小売」に該当する事業者のみに回答をお願いした。

本調査で実施した、「秋川渓谷観光による経済波及効果に関するアンケート調査」の集計結果では、原材料費（売上原価）の内訳は、秋川渓谷の全産業で見ると、「小売・卸売業からの仕入れ」が78.0%と一番高く、次いで「製造業者から直接仕入れ」が11.5%、「農林漁業者から直接仕入れ」が6.8%となっている。

これを産業別にみると、次のような特徴が挙げられる。

- ◆ 農林漁業者から直接仕入れが高い業種
  - ・ 飲食料品小売業
- ◆ 製造業者から直接仕入れが高い業種
  - ・ 飲食料品小売業
- ◆ 小売・卸売業から仕入れが高い業種
  - ・ 土産品小売業
  - ・ 宿泊業（旅館・民宿等）
  - ・ 飲食店業

表 4-4(1) 原材料費（売上原価）の内訳比率 秋川渓谷全体の分類別

分類	回答 件数	a. 農林漁業者 から直接仕入れ	b. 製造業者か ら直接仕入れ	c. 小売・卸売業 から仕入れ	d. その他 (上記以外) から仕入れ
土産品小売業	2	0.2%	1.4%	94.2%	4.1%
飲食料品小売業	7	14.3%	28.5%	54.5%	2.6%
飲食店業	26	5.3%	8.0%	82.7%	4.0%
宿泊業(旅館・民宿等)	7	7.1%	7.1%	84.6%	1.2%
全体	42	6.8%	11.5%	78.0%	3.7%

地区別にみると、「小売・卸売業から仕入れ」は、日の出町が 100.0%、あきる野市（五日市地区）が 81.4%。「製造業者から直接仕入れ」は、檜原村が 20.1%と最も高い。「農林業者から直接仕入れ」は全体で 6.8%と低く、日の出町は「農林業者から直接仕入れ」がなかった。

表 4-4(2) 原材料費（売上原価）の内訳比率 秋川渓谷全体の地区別

分類	回答 件数	a. 農林漁業者 から直接仕入れ	b. 製造業者か ら直接仕入れ	c. 小売・卸売業 から仕入れ	d. その他 (上記以外) から仕入れ
あきる野市(秋川地区)	10	18.4%	1.1%	60.4%	20.2%
あきる野市(五日市地区)	19	5.2%	9.2%	81.4%	4.2%
檜原村	10	10.1%	20.1%	69.0%	0.8%
日の出町	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
全体	42	6.8%	11.5%	78.0%	3.7%

## 2 入込客数・観光消費額の推計

第3章で整理した調査結果を踏まえ、入込客数・観光消費額を推計した。

推計に際しては、観光庁が平成21年12月に策定した「観光入込客統計に関する共通基準※」に基づき同様の方法で推計を行った。推計の詳細については、観光庁HP「共通基準による観光入込客統計」で公表されている。

ただし、共通基準は都道府県を単位とした推計方法であることから、推計の範囲を秋川渓谷で対応できるように適応させて推計する。

※：「観光入込客統計に関する共通基準」（以下「共通基準」と言う。）は、各都道府県の「観光入込客数」「観光消費額単価」「観光消費額」等を把握するための調査手法や集計方法を示した調査基準で、有識者会議における検討や、2年間の試験調査（14道府県）、都道府県観光統計検討委員会（3回）を経て、平成21年12月に策定・公表されている（平成25年3月に一部運用改定）。

共通基準の推計方法のフローは、以下のとおりである。

市町村が集計する延入込客数から、パラメータ調査で取得した構成比を掛け合わせて実入込客数を算出する。そして、実際に宿泊している宿泊者数・ビジネス目的入込客数に差し替えて実入込客数を算出した後に、それぞれの観光消費額単価を掛け合わせて観光消費額を算出する方法である。本方法を用いることで、入込客の種別に応じた消費額単価の算出が可能となる。

推計フローの項目①～⑨についての考え方を次頁以降に示す。

なお、推計に用いる対象データは、以下のとおりである。令和4年は、1-3月、10-12月のパラメータ調査を実施しなかったため、推計に際しては、令和3年および令和2年の同時期のパラメータ調査結果を用いて推計した（観光入込客数・宿泊者数は令和4年の調査結果を用いた）。

■対象年：令和4年（1-3月、4-6月、7-9月、10-12月）

■観光入込客数・宿泊者数：令和4年（1-3月、4-6月、7-9月、10-12月）

■推計に用いるパラメータ値：

令和4年度調査結果（令和4年4-6月、7-9月）、令和3年度調査結果（令和3年10-12月）、令和元年度調査結果（令和2年1-3月）

<p>①</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光入込客数(延人数)</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>③</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光入込客数(延人数)</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>⑤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光入込客数(実人数)</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>⑦</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光入込客数(実人数)</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>⑨</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光消費額</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	観光入込客数(延人数)		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			観光入込客数(延人数)		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			観光入込客数(実人数)		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			観光入込客数(実人数)		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			観光消費額		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			<p>②</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">構成比</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>④</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">訪問地点数</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>⑥</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">宿泊者数</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>⑧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観光消費額単価</th> <th colspan="4">宿泊客</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">日帰り客</th> <th colspan="2">宿泊客</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th>観光等</th> <th>ビジネス</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>秋川渓谷内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都内</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>都外</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	構成比		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			訪問地点数		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-			宿泊者数		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	0	0			都内		-	-	0	0			都外		-	-	0	0			合計		-	-	0	0			観光消費額単価		宿泊客				合計				日帰り客		宿泊客						観光等	ビジネス	観光等	ビジネス			秋川渓谷内		-	-	-	-			都内		-	-	-	-			都外		-	-	-	-			合計		-	-	-	-		
観光入込客数(延人数)		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
観光入込客数(延人数)		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
観光入込客数(実人数)		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
観光入込客数(実人数)		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
観光消費額		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
構成比		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
訪問地点数		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
宿泊者数		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
観光消費額単価		宿泊客				合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		日帰り客		宿泊客																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		観光等	ビジネス	観光等	ビジネス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
秋川渓谷内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都内		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
都外		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計		-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				



### (1) 観光入込客数の推計

秋川渓谷に訪れる観光客数の合計として、前述した合計人数に加え、「西多摩地域観光入込客数実態調査」の結果を用いて、「武蔵五日市駅」と「払沢の滝」の入込客数を推計した。

各対象地点の入込客数は、以下のとおりである。

表 4-5 対象地点の入込客数（人）

施設名	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
秋川ふれあいランド	35	861	1,029	273
リバーサイドパークーの谷	14	238	392	126
秋川橋河川公園バーベキューランド	693	11,249	27,818	2,905
秋川渓谷 瀬音の湯	41,606	53,688	65,019	58,437
秋川国際マス釣場	4,998	15,305	22,391	10,843
都立小峰公園	11,975	26,975	7,073	8,412
立川国際カントリー倶楽部	18,589	22,174	20,116	23,046
東京五日市カントリー倶楽部	12,737	15,137	13,783	16,256
東京サマーランド	78,505	197,318	371,709	101,269
秋川ファーマーズセンター	52,775	71,566	69,192	60,848
秋川キララホール	6,400	6,255	7,246	15,960
五日市ファーマーズセンター	21,238	25,491	25,016	23,788
秋川渓谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)	3,970	6,531	7,406	6,046
あきる野ふるさと工房	678	274	596	1,497
檜原温泉センター数馬の湯	5,773	7,869	10,284	8,650
檜原都民の森	29,316	64,082	61,306	64,495
特産物直売所 やまぶき屋	763	3,709	3,744	2,788
神戸国際マス釣場	629	2,451	3,556	1,535
檜原森のおもちゃ美術館※1	6,255	9,823	12,409	8,956
つるつる温泉	25,973	29,399	31,581	32,727
自然休養村さかな園	802	4,440	9,974	2,522
ひので肝要の里	87	666	1,416	1,693
日の出山荘	27	1,134	576	688
ふれあい農産物直売所	29,851	38,236	35,683	34,161
鹿野大佛	2,357	3,488	1,754	2,249
日の出太陽の家/武家屋敷	60	40	43	226
推計:武蔵五日市駅※2	112,586	187,476	215,201	206,308
推計:払沢の滝※2	7,722	11,064	17,505	11,128
合計	476,414	816,939	1,043,818	707,832

※1：令和4年から追加

※2：「平成29年度西多摩地域入込観光客数調査報告書 日帰り利用客数（延べ人数）」に対する「令和4年観光地点等入込客数調査結果（本事業で実施）」の増減率を使用し推計。武蔵五日市駅は秋川渓谷 瀬音の湯、払沢の滝は檜原都民の森の増減率を乗じて算出

## (2) 構成比

本調査は秋川渓谷を対象としていることから、秋川渓谷に宿泊する観光客を「宿泊客」とする。区分を「秋川渓谷内」「都内（秋川渓谷を除く）」「都外」の3区分とし、パラメータ調査結果の比率から算出する。また、構成比は上記の入込客数に回答者数を乗じて算出した。

ここでは、10-12月の算出方法について説明する（下表は10-12月の算出結果）。

	日帰り客 94.82		宿泊客 5.18		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	12.29	0.00	0.00	0.00	12.29
都内(秋川渓谷を除く)	53.63	0.28	4.11	0.00	58.03*
都外	28.55	0.06	1.06	0.00	29.67
合計	94.48*	0.34	5.18*	0.00	100.00*

## (3) 観光入込客数（延人数・属性別）

「(1)観光客入込客数の算出 × (2)構成比」により、観光入込客数（延人数・属性別）を算出した（下表は10-12月の算出結果）。

	日帰り客 671.2		宿泊客 36.6		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	87.0	0.0	0.0	0.0	87.0
都内(秋川渓谷を除く)	379.6	2.0	29.1	0.0	410.8*
都外	202.1	0.4	7.5	0.0	210.0
合計	668.8*	2.4	36.6	0.0	707.8

## (4) 訪問地点数

パラメータ調査結果から属性別の平均訪問地点数を算出した（下表は10-12月の算出結果）。

	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.3	-	-	-	-
都内(秋川渓谷を除く)	1.6	1.7	1.7	-	-
都外	1.4	1.0	2.4	-	-
合計	-	-	-	-	-

## (5) 観光入込客数（実人数）

「(3)観光入込客数（延人数・属性別） ÷ (4)訪問地点数」により、観光入込客数（実人数）を推計した（下表は10-12月の算出結果）。

	日帰り客 455.7		宿泊客 19.9		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	69.6	-	-	-	69.6
都内(秋川渓谷を除く)	236.8	1.2	16.8	-	254.8
都外	147.8	0.4	3.1	-	151.3
合計	454.1*	1.6	19.9	0.0	475.7*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(6) 宿泊者数

本事業で行った入込客数宿泊施設調査結果をもとに、属性別実宿泊数を集計した。これらの宿泊者数を、本アンケート調査で得られた宿泊者の構成比を用いて、区分別に宿泊者を按分した（下表は10-12月の算出結果）。

	宿泊者数 (実人数(千人))		合計
	宿泊客	28.1	
	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	0.0	0.0	0.0
都内(秋川渓谷を除く)	22.4	0.0	22.4
都外	5.7	0.0	5.7
合計	28.1	0.0	28.1

(7) 観光入込客数 (実人数・宿泊数差替)

(5)で求めた観光入込客数(実人数)から、宿泊者を差替えて算出した。差替データはパラメータ調査にて実家への宿泊者数を補正して追加している。

<1-3月>

	観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))		宿泊客		合計
	日帰り客	374.4	19.8		
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	20.1	-	0.5	0.0	20.6
都内(秋川渓谷を除く)	235.0	-	13.8	0.0	248.8
都外	119.3	-	5.4	0.0	124.8*
合計	374.4	0.0	19.8*	0.0	394.1*

<4-6月>

	観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))		宿泊客		合計
	日帰り客	657.9	26.8		
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	42.8	-	1.7	0.0	44.5
都内(秋川渓谷を除く)	368.3	2.9	14.6	0.0	385.8
都外	242.2	1.7	10.6	0.0	254.5
合計	653.3	4.6	26.8*	0.0	684.8*

<7-9月>

	観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))		宿泊客		合計
	日帰り客	782.1	50.1		
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	18.3	0.6	0.0	0.0	18.9
都内(秋川渓谷を除く)	445.5	5.0	11.4	0.0	461.9
都外	312.5	0.2	38.7	0.0	351.4
合計	776.3	5.8	50.1	0.0	832.1*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

<10-12月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 455.7		宿泊客 28.1		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川溪谷内	69.6	-	0.0	0.0	69.6
都内(秋川溪谷を除く)	236.8	1.2	22.4	0.0	260.4
都外	147.8	0.4	5.7	0.0	153.9
合計	454.1*	1.6	28.1	0.0	483.9*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(8) 観光消費額単価（基本的な考え方）

パラメータ調査で得られた目的・観光形態別の消費額単価（合計）を経済波及効果の算出に用いる。

消費額単価は、アンケートで得られた1人当たりの消費額に対する総人数の加重平均として算出した。

<1-3月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	228	26	142	38	434
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	9,000	2,000	0	0	0	11,000
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都内 (秋川渓谷を除く)	観光・日帰り	0	337	145	372	125	979
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	4,079	2,153	466	609	381	7,688
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都外	観光・日帰り	0	430	140	354	119	1,043
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	6,143	1,786	359	0	679	8,966*
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-

<4-6月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	890	261	550	648	2,348*
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	9,000	3,000	0	667	167	12,833*
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都内 (秋川渓谷を除く)	観光・日帰り	0	627	370	974	161	2,131*
	ビジネス観光・日帰り	0	1,500	1,300	0	0	2,800
	観光・宿泊	5,196	1,714	836	2,840	629	11,215
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都外	観光・日帰り	0	520	240	821	194	1,775
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	3,917	1,563	177	1,018	500	7,176*
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-

<7-9月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	183	96	368	348	996*
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都内 (秋川渓谷を除く)	観光・日帰り	0	849	332	1,165	220	2,566
	ビジネス観光・日帰り	0	667	0	0	0	667
	観光・宿泊	2,821	859	184	750	77	4,691
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都外	観光・日帰り	0	1,042	347	1,517	232	3,138
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	6,125	3,438	1,219	6,231	469	17,481*
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

<10-12月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	626	164	306	187	1,282※
	ビジネス観光・日帰り	-	-	-	-	-	-
	観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	931	346	1,067	270	2,614
	ビジネス観光・日帰り	0	100	945	440	250	1,735
	観光・宿泊	2,538	3,846	134	892	667	8,077
	ビジネス観光・宿泊	0	2,500	0	0	1,500	4,000
東京都外	観光・日帰り	0	947	502	919	296	2,663※
	ビジネス観光・日帰り	0	0	1,110	860	0	1,970
	観光・宿泊	3,310	777	1,113	688	993	6,881
	ビジネス観光・宿泊	-	-	-	-	-	-

※端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(9) 観光消費額

「(7)観光入込客数(実人数・宿泊数差替)×(8)観光消費額単価」から算出した。

<1-3月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 363,263		宿泊客 160,518		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	8,704	0	5,794	0	14,498
都内(秋川渓谷を除く)	230,063	0	106,139	0	336,202
都外	124,497	0	48,585	0	173,082
合計	363,263*	0	160,518	0	523,781

<4-6月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 1,323,460		宿泊客 260,872		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	100,487	0	21,401	0	121,888
都内(秋川渓谷を除く)	784,859	8,173	163,385	0	956,417
都外	429,941	0	76,086	0	506,027
合計	1,315,287	8,173	260,872	0	1,584,332

<7-9月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 2,145,085		宿泊客 729,380		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	18,271	0	0	0	18,271
都内(秋川渓谷を除く)	1,143,066	3,306	53,560	0	1,199,932
都外	980,442	0	675,820	0	1,656,261*
合計	2,141,779	3,306	729,380	0	2,874,465*

<10-12月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 1,104,671		宿泊客 220,185		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	89,232	-	0	0	89,232
都内(秋川渓谷を除く)	619,068	2,080	180,684	0	801,832
都外	393,507	784	39,501	0	433,792
合計	1,101,807	2,864	220,185	0	1,324,857*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(10) 経済波及効果簡易推計システムへの反映

経済波及効果簡易推計システムへ反映させる指標を整理した。

＜観光客数＞ (実人数(千人))

	日帰り客	宿泊客	合計
1-3月	374	20	394
4-6月	658	27	685
7-9月	782	50	832
10-12月	456	28	484
合計	2,270	125	2,395

＜観光消費額単価 令和4年＞ (円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り	0	726	303	935	210	2,175※
宿泊	4,579	2,566	649	2,685	507	10,987※
平均	239	822	321	1,027	225	2,634

＜参考：過年度成果(令和3年)＞ (円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り	0	645	312	1,030	261	2,248
宿泊	4,226	1,496	533	1,336	449	8,040
平均	110	667	318	1,037	266	2,398

＜参考：過年度成果(令和2年)＞ (円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り	0	608	268	849	151	1,876
宿泊	5,515	1,360	301	1,607	511	9,295※
平均	225	638	269	880	166	2,179※

※端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。



### 3 観光産業における経済波及効果の推計

#### (1) 経済波及効果の推計の考え方

秋川渓谷の観光業者から地域の商工業者・サービス業者のサプライチェーンを分析し、観光産業と地域経済全体の産業連関を明らかにすることを目的に実施した。

推計に際しては、「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリーづくりに関する調査（平成 27 年 3 月 公益財団法人 日本交通公社）（以下：経済波及効果分析手法調査と称す）」にて公開されている、「観光経済波及効果簡易推計システム」を用いて推計した。

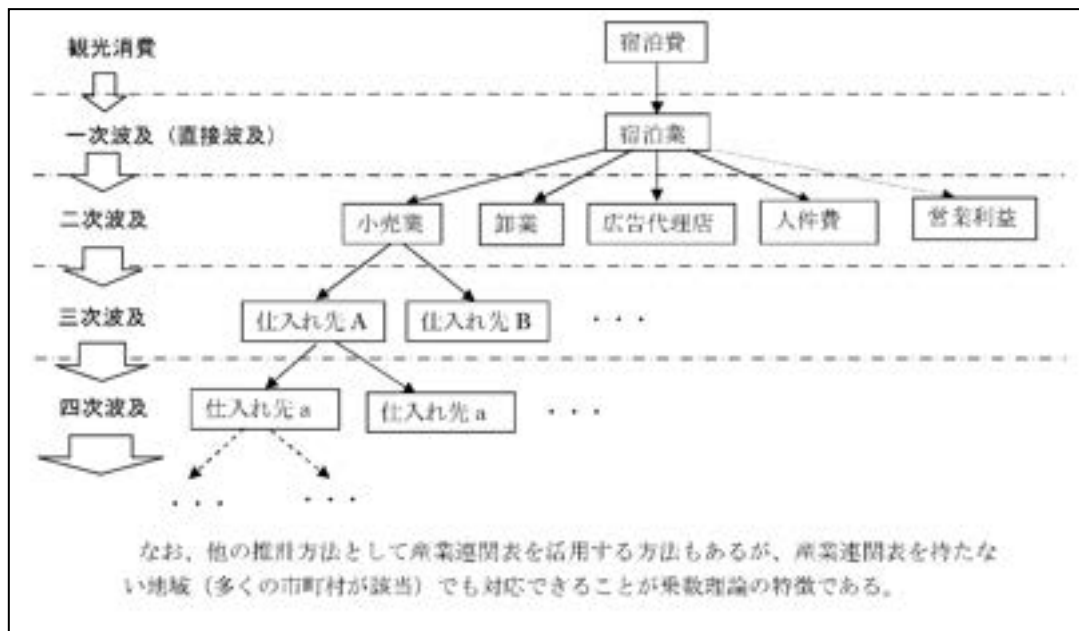
[http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/chiiki/chiiki\\_story/report\\_01.html](http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/chiiki/chiiki_story/report_01.html)

推計に際しては、乗数理論を用いることとする。これは、秋川渓谷内の産業連関表が作成されていないことから、産業連関表を持たない地域（多くの市町村が該当）でも対応できるためである。

#### <乗数理論（経済波及効果分析手法調査報告書 P-3 参照）>

この方法は、観光客の消費額を起点として、その消費が施設や箇所等に及ぼす効果を乗数の形で推計するというものである。

例えば、観光客が宿泊施設に宿泊する場合、その代金が宿泊施設に入ることとなる（これを「一次波及」と呼ぶ）。その代金（消費額）は、原材料調達費（例えば、各部屋の備品・調度品、レストランにおける飲食材料費や什器、売店における土産品など）、人件費（例えば、フロント係、客室係、宴会場係、ドアマン、経営者など）、営業経費（例えば、広告宣伝費、旅費、通信費、水道光熱費、消耗品費、修繕費など）、減価償却費、固定資産税支払い等に費やされることとなる。各々の費用は、調達先に配分されることとなる（これを「二次波及」と呼ぶ）。その調達先が得た代金は、さらに仕入れ先に配分される。このように三次、四次、…と繰り返していくことで、理論的には、地域全体に及ぼす波及効果が網羅されることとなる（これを「n 次波及」と呼ぶ）。



## (2) 推計に必要なデータの取得

「観光経済波及効果簡易推計システム」に必要なデータの算出及び取得を行った。

### ア 観光客数及び観光消費額

前述した算出結果を踏まえ、以下のとおり整理した。

#### 1 調査エリア名を入力してください。

調査エリア名	秋川溪谷(あきる野市・檜原村・日の出町)
--------	----------------------

#### 2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	2,270 千人	125 千人	2,395 千人

#### 3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	0 円	4,579 円	239 円
(2)飲食サービス	726 円	2,566 円	822 円
(3)旅客運送サービス	303 円	649 円	321 円
(4)運送設備レンタルサービス	0 円	0 円	0 円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	0 円	0 円	0 円
(6)文化サービス	0 円	0 円	0 円
(7)スポーツ・娯楽サービス	935 円	2,685 円	1,027 円
(8)小売	210 円	507 円	225 円
合計	2,175 円	10,987 円	2,634 円

\*平均は日帰り客と宿泊客の人数で加重平均を算出

### イ その他のデータの取得

以下の手法にて数値を取得した。

#### 4 その他の指標を入力してください

(1)限界消費性向	51%	総務省「家計調査」から算出
(2)域内消費率	80%	自地域の「購買動向調査」等から推計
(3)年間給与所得平均(全国)	¥4,433,000	国税庁「民間給与実態統計調査」から入力
(4)給与地域補正值	91%	JPS「個人所得指標」から自地域の値を入力
(5)調査対象期間	12 ヶ月	
(6)域内人口	100,173 人	

**(ア) 限界消費性向（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・所得の増加分に対する消費の増加分の割合。所得が1万円増加し、そのうち7千円を消費に回す場合、限界消費性向は0.7（7千円／1万円）となる。
- ・総務省の「家計調査年報家計収支編」から算出する（「総世帯のうち勤労者世帯」における実収入に対する消費支出の比率）。同調査の令和4年平均は実収入「535,177円」、消費支出「273,417円」であることから、限界消費性向は「0.51」と設定した。

**(イ) 域内消費率（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・消費を行う際に、地域内で使う割合。地域において「購買動向調査」を行っていればそこから推計するが、行っていない地域の場合、近年は概ね「80～90%」前後となる傾向がみられるため、これをもとに地域特性や地理的条件を考慮した上で設定する。
- ・ここでは、秋川溪谷内で買い物を十分に行うことは難しく、近隣の八王子市や立川市までの距離は短いため、「80%」とした。

**(ウ) 年間給与所得平均（全国）（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・国税庁の「令和3年民間給与実態統計調査」のデータ（4,433,000円）を使用した。

**(エ) 給与地域補正值（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・給与の地域差を表す指標。（株）JPSが毎年発行している「個人所得指標（2023年版）」から、あきる野市・檜原村・日の出町のデータを参照し、産業人口で加重平均した91%を使用した。

**(オ) 調査対象期間（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・年間調査のため、12か月とした。

**(カ) 域内人口（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・秋川溪谷の域内人口として、100,173人とした。
- ・あきる野市：令和5年3月1日 79,719人
- ・檜原村：令和5年3月1日 2,028人
- ・日の出町：令和5年3月1日 18,426人

## ウ 各業種の経費構造（対売上比率）の整理

観光産業に係るサービス 分野 8 業種の事業構造を把握し、売上高の内訳（構成比）を整理した。

### 5 各業種の経費構造（対売上比率）を入力してください。

<b>(1)宿泊サービス</b>		<b>(2)飲食サービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価	5%	①売上原価	31%
うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	7%	うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	5%
うち、製造業者から直接仕入れる割合	7%	うち、製造業から直接仕入れる割合	8%
うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	85%	うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	83%
うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	1%	うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	4%
合計	100%	合計	100%
②営業経費	22%	②営業経費	13%
③人件費	31%	③人件費	38%
④その他経費	15%	④その他経費	9%
⑤営業利益	27%	⑤営業利益	9%
<b>(3)旅客運送サービス</b>		<b>(4)運送設備レンタルサービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価		①売上原価	
②営業経費		②営業経費	
③人件費		③人件費	
④その他経費		④その他経費	
⑤営業利益		⑤営業利益	
<b>(5)旅行代理店その他の予約サービス</b>		<b>(6)文化サービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価		①売上原価	36%
②営業経費		②営業経費	27%
③人件費		③人件費	27%
④その他経費		④その他経費	0%
⑤営業利益		⑤営業利益	9%
<b>(7)スポーツ・娯楽サービス</b>		<b>(8)小売</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価	9%	①売上原価	34%
②営業経費	53%	うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	11%
③人件費	50%	うち、製造業から直接仕入れる割合	23%
④その他経費	10%	うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	63%
⑤営業利益	-22%	うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	3%
		合計	100%
		②営業経費	22%
		③人件費	30%
		④その他経費	7%
		⑤営業利益	8%
<b>★全産業</b>			
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)			
①売上原価	14%		
②営業経費	43%		
③人件費	46%		
④その他経費	10%		
⑤営業利益	-13%		

## エ 二次波及（仕入先）等の経費構造（対売上比率）

以下の事業構造を把握し、売上高の内訳（構成比）を整理した。なお、卸売業からの回答が無いことから無記入となっている。

### 6 二次波及（仕入先）等の経費構造（対売上比率）を入力してください。

#### (9) 農林漁業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	21%
②営業経費	26%
③人件費	28%
④その他経費	6%
⑤営業利益	19%

#### (10) 製造業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	56%
②営業経費	24%
③人件費	18%
④その他経費	5%
⑤営業利益	-3%

#### (11) 卸売業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	
④その他経費	
⑤営業利益	

## オ 各業種の域内調達率

上記で取りまとめた域内調達率を整理した。

### 7 各業種の域内調達率を入力してください。

#### (1)宿泊サービス

①売上原価	55%
②営業経費	50%
③人件費	98%

#### (2)飲食サービス

①売上原価	46%
②営業経費	50%
③人件費	89%

#### (3)旅客運送サービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (4)運送設備レンタルサービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (5)旅行代理店その他の予約サービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (6)文化サービス

①売上原価	26%
②営業経費	0%
③人件費	50%

#### (7)スポーツ・娯楽サービス

①売上原価	21%
②営業経費	10%
③人件費	87%

#### (8)小売

①売上原価	22%
②営業経費	45%
③人件費	85%

#### ★全産業

①売上原価	32%
②営業経費	13%
③人件費	88%

## カ 二次波及（仕入先）等の域内調達率

二次波及の域内調達率とは、仕入先が原材料等をどこから調達しているかを指す。

例えば、地域内のうどん屋が、原材料費（主に小麦粉などの食材）を100%地域内の問屋から仕入れていたとする。さらに追跡調査として、その問屋の仕入れ先を把握することで、より細かく域内に残る観光消費額を把握することができる。

二次波及の域内調達率の算出方法については、前述の事業者ヒアリングの際に、仕入れ先を聞き、仕入れ先の追跡調査する方法がある。

なお、卸売業からの回答が無いことから無記入となっている。

## 8 二次波及（仕入先）等の域内調達率を入力してください。

### (1) 宿泊サービスの仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

### (2) 飲食サービスの仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

### (3) 小売の仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### キ 本社比率（推計全般に利用）

その他経費（租税公課や支払利息など）や営業利益等は、基本的に本社（単独事業所を含む）に発生する。事業者アンケート調査・ヒアリング調査から、産業別の本社比率を推計し入力するのが望ましいが、それが難しい場合、「経済センサス」（総務省実施）における市町村別の「単独事業所」「本所・本社・本店」「支所・支社・支店」の事業所数の比率で代用する等の措置をとる。

ここでは、「平成 28 年経済センサスー活動調査事業所に関する集計ー産業横断的集計（売上（収入）金額等）」における秋川溪谷（あきる野市・檜原村・日の出町）の「単独事業所」「本所・本社・本店」「支所・支社・支店」の事業所数をもとに、本社比率を推計・入力した。

	分類	本社比率
全産業		74.3%
1	宿泊	67.4%
2	飲食	67.4%
3	旅客	62.5%
4	運送	88.3%
5	旅行代理店その他	77.3%
6	文化	69.3%
7	スポーツ・娯楽	78.0%
8	小売り	62.3%
9	農林漁業者	76.5%
10	製造業者	86.4%
11	卸売	62.3%



(3) 推計結果の考え方（経済波及効果分析手法調査報告書 P-22 参照）

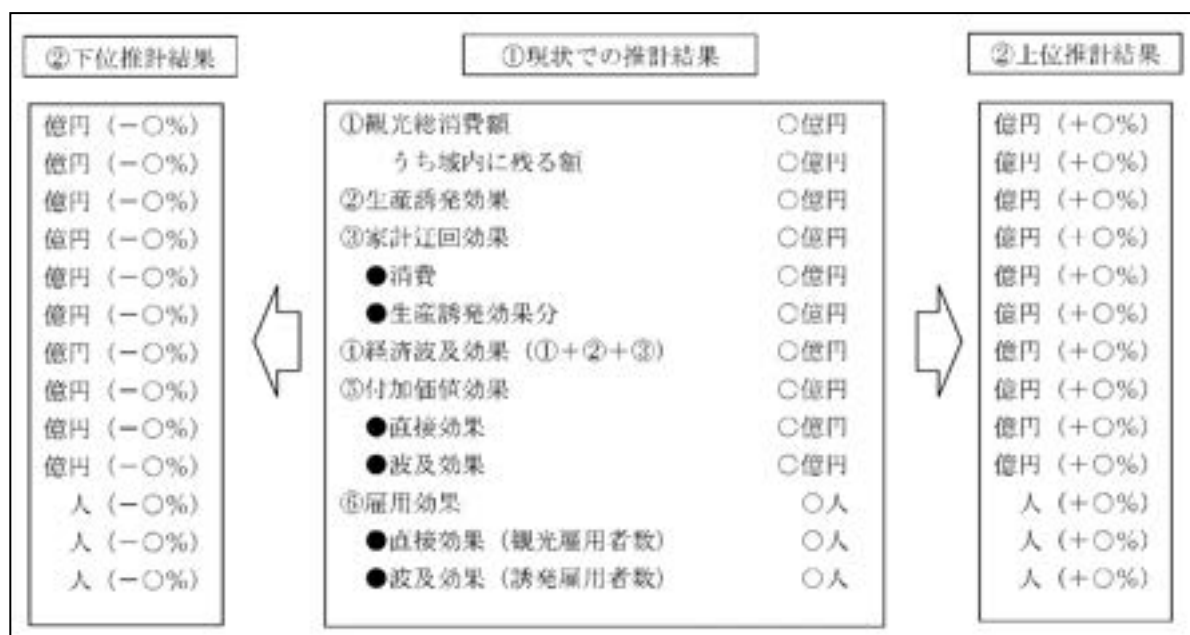
推計結果は、次の3種類の値を表示できる仕組みとなっている。

ア 現状（令和4年暦年）における推計

現状の数値を入力することにより、現在の波及効果を推計する。

イ 域内調達率が変動した場合の推計（上位・下位推計）

現状に対して、将来的に域内調達率（「宿泊サービス」「飲食サービス」「小売」）が上昇もしくは低下する場合を想定し、その変動幅を入力することにより、最大（プラス）となる場合（上位推計）及び最小（マイナス）となる場合（下位推計）の波及効果を推計する。



#### (4) 推計結果

##### ア 現状での波及効果

秋川溪谷における経済波及効果の推計結果（令和4年暦年）は、以下のとおりである。

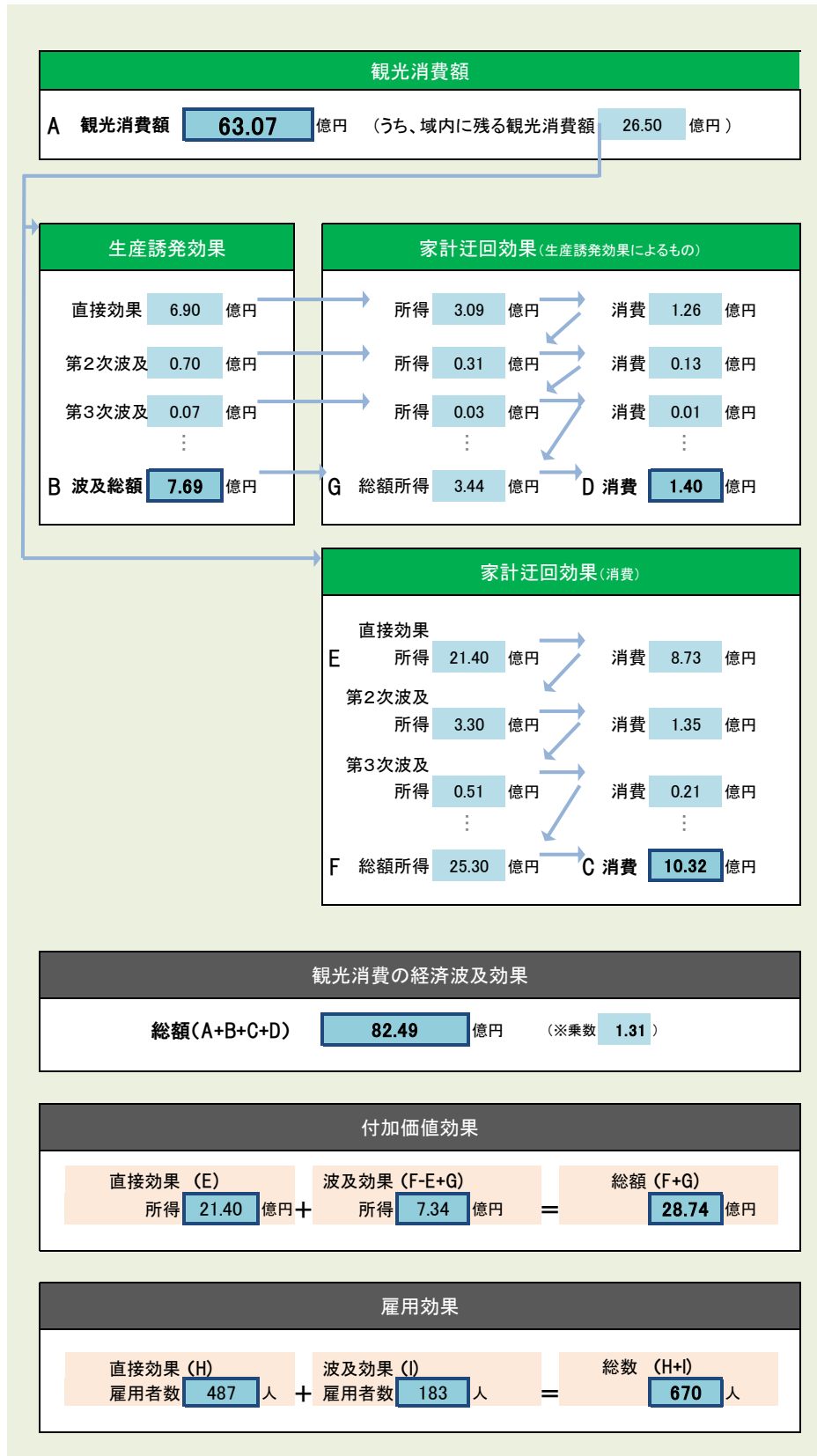
経済波及効果は約 82.5 億円（乗数 1.31）、付加価値効果（所得効果）は約 28.7 億円、雇用効果は 670 人となった。

項目※	推計結果
①観光消費額（A）	63.1 億円
うち域内に残る額	26.5 億円
<b>うち域外に出る額</b>	<b>36.6 億円</b>
②生産誘発効果（B）	7.7 億円
③家計迂回効果（C+D）	11.7 億円
●消費分（C）	10.3 億円
●生産誘発効果分（D）	1.4 億円
④経済波及効果（①+②+③）	82.5 億円
⑤付加価値効果（所得効果）（F+G）	28.7 億円
●直接波及（E）	21.4 億円
●波及効果（F-E+G）	7.3 億円
⑥雇用効果（H+I）	670 人
●直接効果（観光雇用者数）（H）	487 人
●波及効果（誘発雇用者数）（I）	183 人

#### ※項目ごとの用語の定義

用語	定義
①生産誘発効果	・観光客が購入する商品等の原材料が仕入れ先に波及し、またその仕入れ先からさらなる仕入れ先に波及していくという繰り返しのより得られる効果
②家計迂回効果（生産誘発効果によるもの）	・①の原材料が波及する過程（新たな生産が行われる過程）において発生する付加価値（人件費、租税公課、原価償却費、営業利益など）により得られる効果
③家計迂回効果（消費によるもの）	・②における人件費（＝従業員の給与）をもとに行われる消費から得られる効果
④経済波及効果	・観光消費額及び①～③により得られる効果
⑤付加価値効果	・人件費、租税公課、原価償却費、営業利益などの付加価値により得られる効果
⑥雇用効果	・観光により発生される雇用者数。観光消費額による直接的な雇用効果に加え、波及効果による間接的な雇用効果も推計される。

推計結果			
日帰り客観光消費単価が	2,175	円	観光客数が 2,395 千人 の推計結果
宿泊客観光消費単価が	10,987	円	



## イ 上位推計結果の算出

上位推計では、施策や事業者の取組等から、売上原価の域内調達率が向上した際の結果を推計し、現状（令和4年暦年の経済波及効果の推計結果（約82.5億円））の増加額を算出した。項目の対象は、「宿泊サービス」「飲食サービス」及び「小売（土産）」の域内調達率の増加を想定する。

ここでは、以下の2パターンを想定した。

### ■パターン1

「宿泊サービス」「飲食サービス」「小売」の域内調達率がそれぞれ5ポイント（%）上昇

### ■パターン2

「飲食サービス」「小売」の域内調達率がそれぞれ10ポイント（%）上昇、「宿泊サービス」の域内調達率がそれぞれ5ポイント（%）上昇

	現状	パターン1	パターン2
宿泊サービス	55%	60%	60%
飲食サービス	46%	51%	56%
小売（土産）	22%	27%	32%

(ア)パターン1

経済波及効果は 83.0 億円 (+0.6%、乗数 1.32)、付加価値効果 (所得効果) は 28.9 億円 (+0.6%)、雇用効果は 674 人 (+0.6%) となる。

項目	推計結果	増減比
①観光消費額 (A)	63.1 億円	±0.0%
うち域内に残る額	26.9 億円	+1.4%
<b>うち域外に出る額</b>	<b>36.2 億円</b>	<b>-1.0%</b>
②生産誘発効果 (B)	8.1 億円	+5.2%
③家計迂回効果 (C+D)	11.8 億円	+0.6%
●消費分 (C)	10.3 億円	±0.0%
●生産誘発効果分 (D)	1.5 億円	+5.2%
④経済波及効果 (①+②+③)	83.0 億円	+0.6%
⑤付加価値効果 (所得効果) (F+G)	28.9 億円	+0.6%
●直接波及 (E)	21.4 億円	±0.0%
●波及効果 (F-E+G)	7.5 億円	+2.4%
⑥雇用効果 (H+I)	674 人	+0.6%
●直接効果 (観光雇用者数) (H)	487 人	±0.0%
●波及効果 (誘発雇用者数) (I)	187 人	+2.3%

(イ)パターン2

経済波及効果は 83.4 億円 (+1.1%、乗数 1.32)、付加価値効果 (所得効果) は 29.1 億円 (+1.2%)、雇用効果は 678 人 (+1.2%) となる。

項目	推計結果	増減比
①観光消費額 (A)	63.1 億円	±0.0%
うち域内に残る額	27.2 億円	+2.7%
<b>うち域外に出る額</b>	<b>35.9 億円</b>	<b>-1.9%</b>
②生産誘発効果 (B)	8.5 億円	+10.2%
③家計迂回効果 (C+D)	11.9 億円	+1.2%
●消費分 (C)	10.3 億円	±0.0%
●生産誘発効果分 (D)	1.5 億円	+10.2%
④経済波及効果 (①+②+③)	83.4 億円	+1.1%
⑤付加価値効果 (所得効果) (F+G)	29.1 億円	+1.2%
●直接波及 (E)	21.4 億円	±0.0%
●波及効果 (F-E+G)	7.7 億円	+4.8%
⑥雇用効果 (H+I)	678 人	+1.2%
●直接効果 (観光雇用者数) (H)	487 人	±0.0%
●波及効果 (誘発雇用者数) (I)	191 人	+4.5%

パターン1の場合の推計結果

上位推計(※売上原価の域内調達率が向上)

宿泊サービスの域内調達率 **5ポイント** アップ  
 飲食サービスの域内調達率 **5ポイント** アップ  
 小売の域内調達率 **5ポイント** アップ の推計結果

※ポイントは%の差分(例:5ポイントアップとは、80%の域内調達率が85%に増加することを意味する)

観光消費額	
A 観光消費額	63.07 億円 (うち、域内に残る観光消費額 26.86 億円)
	0.0% 増加 (うち、域内に残る観光消費額 1.4% 増加)

生産誘発効果	家計迂回効果(生産誘発効果によるもの)
直接効果 7.26 億円	所得 3.25 億円 → 消費 1.32 億円
第2次波及 0.74 億円	所得 0.33 億円 → 消費 0.13 億円
第3次波及 0.08 億円	所得 0.03 億円 → 消費 0.01 億円
⋮	⋮
B 波及総額 8.09 億円	G 総額所得 3.61 億円 → D 消費 1.47 億円
5.2% 増加	5.2% 増加 (消費 5.2% 増加)

家計迂回効果(消費)	
直接効果	所得 21.40 億円 → 消費 8.73 億円
E 第2次波及	所得 3.30 億円 → 消費 1.35 億円
第3次波及	所得 0.51 億円 → 消費 0.21 億円
⋮	⋮
F 総額所得 25.30 億円	C 消費 10.32 億円
	0.0% 増加

観光消費の経済波及効果	
総額(A+B+C+D)	82.96 億円 (※乗数 1.32)
	0.6% 増加 (0.01ポイント 増加)

付加価値効果		
直接効果 (E) 所得 21.40 億円	波及効果 (F-E+G) 所得 7.52 億円	総額 (F+G) 28.92 億円
0.0% 増加	2.4% 増加	0.6% 増加

雇用効果		
直接効果 (H) 雇用者数 487 人	波及効果 (I) 雇用者数 187 人	総数 (H+I) 674 人
0.0% 増加	2.3% 増加	0.6% 増加

パターン2の場合の推計結果

上位推計(※売上原価の域内調達率が向上)

宿泊サービスの域内調達率 **5ポイント** アップ 小売の域内調達率 **10ポイント** アップ の推計結果  
 飲食サービスの域内調達率 **10ポイント** アップ

※ポイントは%の差分(例:5ポイントアップとは、80%の域内調達率が85%に増加することを意味する)

観光消費額	
A 観光消費額	63.07 億円 (うち、域内に残る観光消費額 27.20 億円)
	0.0% 増加 2.7% 増加

生産誘発効果		家計迂回効果(生産誘発効果によるもの)	
直接効果	7.61 億円	所得	3.40 億円
第2次波及	0.78 億円	所得	0.35 億円
第3次波及	0.08 億円	所得	0.04 億円
...	...	...	...
B 波及総額	8.47 億円	G 総額所得	3.79 億円
	10.2% 増加		10.2% 増加
			D 消費 1.54 億円
			10.2% 増加

家計迂回効果(消費)	
直接効果	
E 所得	21.40 億円
消費	8.73 億円
第2次波及	
所得	3.30 億円
消費	1.35 億円
第3次波及	
所得	0.51 億円
消費	0.21 億円
...	...
F 総額所得	25.30 億円
C 消費	10.32 億円
	0.0% 増加

観光消費の経済波及効果	
総額(A+B+C+D)	83.41 億円 (※乗数 1.32)
	1.1% 増加 .01ポイント 増加

付加価値効果		
直接効果(E)	波及効果(F-E+G)	総額(F+G)
所得 21.40 億円	所得 7.69 億円	29.09 億円
0.0% 増加	4.8% 増加	1.2% 増加

雇用効果		
直接効果(H)	波及効果(I)	総数(H+I)
雇用者数 487 人	雇用者数 191 人	678 人
0.0% 増加	4.5% 増加	1.2% 増加

#### 4 温泉施設における経済波及効果の推計

##### (1) 推計結果

秋川渓谷に位置する「秋川渓谷 瀬音の湯」「檜原温泉センター数馬の湯」「つるつる温泉」の3つの温泉施設の経済波及効果を推計した。

##### ア 秋川渓谷 瀬音の湯

「秋川渓谷 瀬音の湯」の来訪者による経済波及効果の推計結果（令和4年暦年）は、以下のとおりである。

経済波及効果は約7.38億円（乗数1.36）となり、これは秋川渓谷全体の経済波及効果約82.5億円のうち約8.9%を占める。また、付加価値効果（所得効果）は約2.68億円、雇用効果は63人となった。

項目	推計結果	秋川渓谷全体の経済波及効果に占める割合
①観光消費額 (A)	5.43 億円	8.6%
うち域内に残る額	2.32 億円	8.7%
うち域外に出る額	3.11 億円	8.5%
②生産誘発効果 (B)	0.86 億円	11.1%
③家計迂回効果 (C+D)	1.09 億円	9.3%
●消費分 (C)	0.94 億円	9.1%
●生産誘発効果分 (D)	0.16 億円	11.1%
④経済波及効果 (①+②+③)	7.38 億円	8.9%
⑤付加価値効果（所得効果）(F+G)	2.68 億円	9.3%
●直接波及 (E)	1.95 億円	9.1%
●波及効果 (F-E+G)	0.74 億円	10.0%
⑥雇用効果 (H+I)	63 人	9.3%
●直接効果（観光雇用者数）(H)	38 人	7.9%
●波及効果（誘発雇用者数）(I)	24 人	13.1%

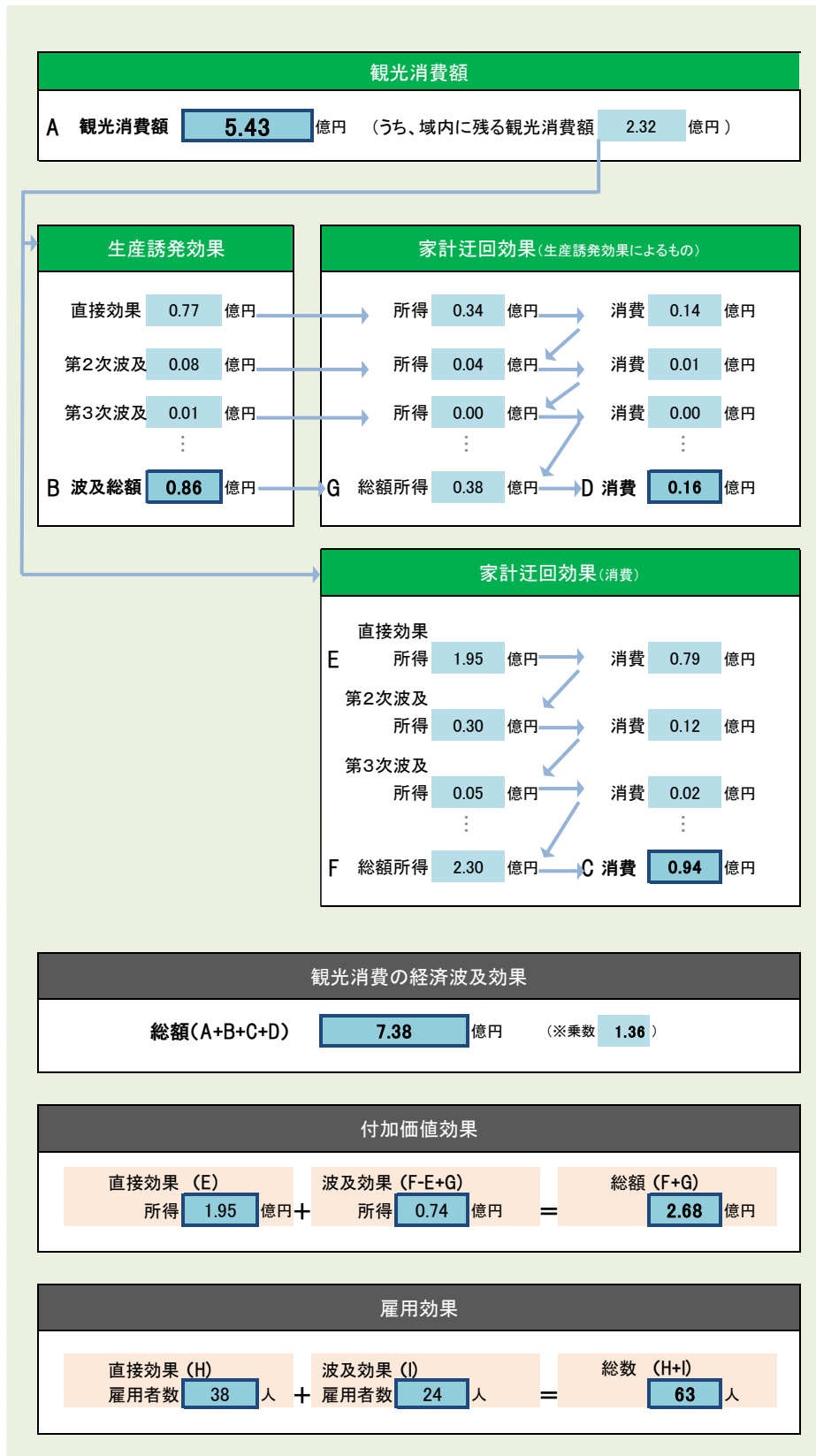
##### 【参考：秋川渓谷全体の経済波及効果 令和4年暦年】

項目※	推計結果
①観光消費額 (A)	63.1 億円
うち域内に残る額	26.5 億円
うち域外に出る額	<b>36.6 億円</b>
②生産誘発効果 (B)	7.7 億円
③家計迂回効果 (C+D)	11.7 億円
●消費分 (C)	10.3 億円
●生産誘発効果分 (D)	1.4 億円
④経済波及効果 (①+②+③)	82.5 億円
⑤付加価値効果（所得効果）(F+G)	28.7 億円
●直接波及 (E)	21.4 億円
●波及効果 (F-E+G)	7.3 億円
⑥雇用効果 (H+I)	670 人
●直接効果（観光雇用者数）(H)	487 人
●波及効果（誘発雇用者数）(I)	183 人

※「秋川渓谷 瀬音の湯」と秋川渓谷全体の経済波及効果算出とで一部、入力データの算出方法が異なるため、単純比較は出来ない点に注意（算出過程は後述）



推計結果		
日帰り客観光消費単価が	2,405 円	観光客数が 205 千人 の推計結果
宿泊客観光消費単価が	11,348 円	



## イ 檜原温泉センター数馬の湯

「檜原温泉センター数馬の湯」の来訪者による経済波及効果の推計結果（令和4年暦年）は、以下のとおりである。

経済波及効果は約0.8億円（乗数1.30）となり、これは秋川渓谷全体の経済波及効果約82.5億円のうち約1.0%を占める。また、付加価値効果（所得効果）は約0.27億円、雇用効果は6人となった。

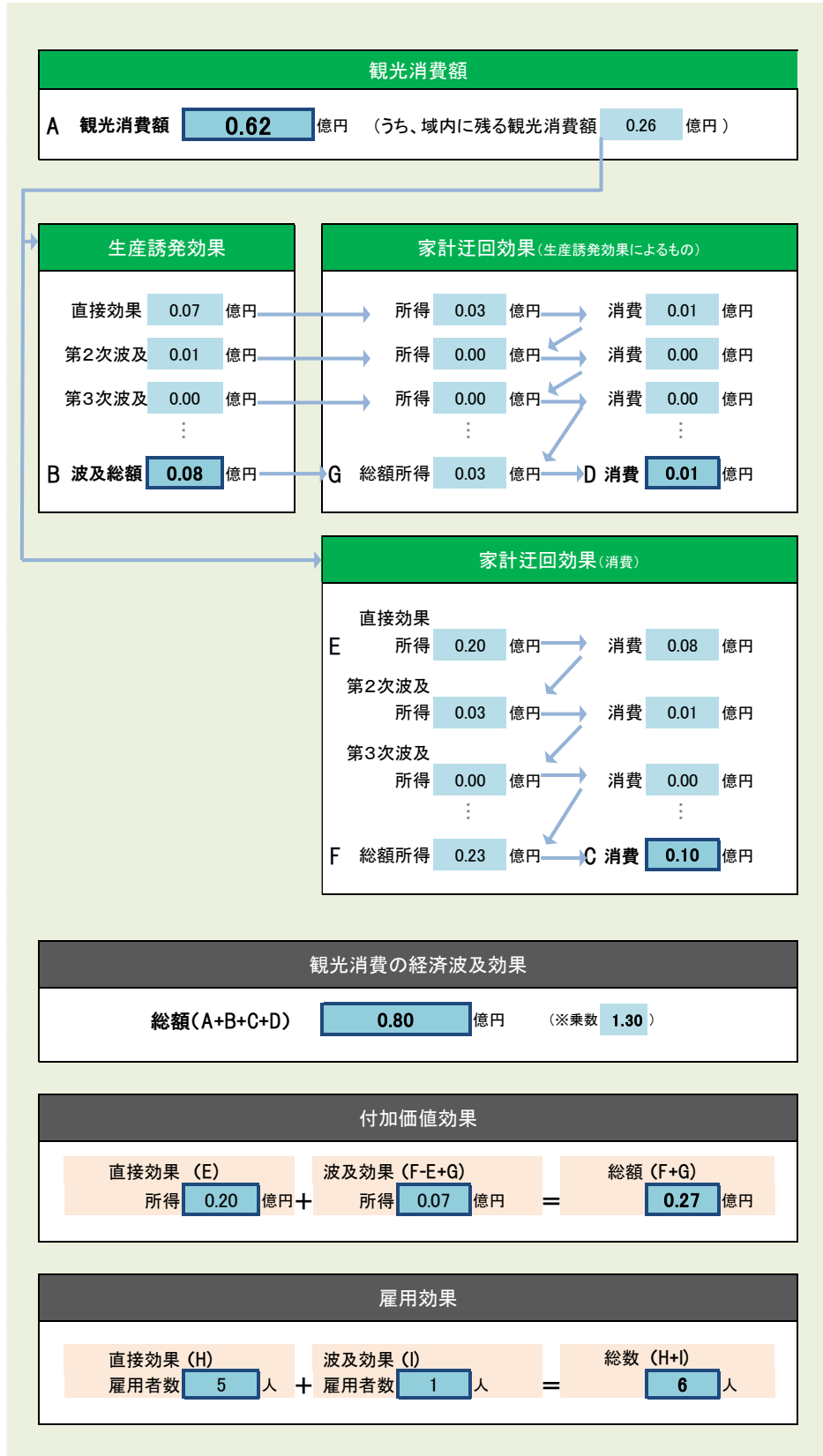
項目	推計結果	秋川渓谷全体の経済波及効果に占める割合
①観光消費額 (A)	0.62 億円	1.0%
うち域内に残る額	0.26 億円	1.0%
うち域外に出る額	0.35 億円	1.0%
②生産誘発効果 (B)	0.08 億円	1.0%
③家計迂回効果 (C+D)	0.11 億円	0.9%
●消費分 (C)	0.10 億円	0.9%
●生産誘発効果分 (D)	0.01 億円	1.0%
④経済波及効果 (①+②+③)	0.80 億円	1.0%
⑤付加価値効果 (所得効果) (F+G)	0.27 億円	0.9%
●直接波及 (E)	0.20 億円	0.9%
●波及効果 (F-E+G)	0.07 億円	1.0%
⑥雇用効果 (H+I)	6 人	0.9%
●直接効果 (観光雇用者数) (H)	5 人	1.0%
●波及効果 (誘発雇用者数) (I)	1 人	0.8%

### 【参考：秋川渓谷全体の経済波及効果 令和4年暦年】

項目※	推計結果
①観光消費額 (A)	63.1 億円
うち域内に残る額	26.5 億円
うち域外に出る額	<b>36.6 億円</b>
②生産誘発効果 (B)	7.7 億円
③家計迂回効果 (C+D)	11.7 億円
●消費分 (C)	10.3 億円
●生産誘発効果分 (D)	1.4 億円
④経済波及効果 (①+②+③)	82.5 億円
⑤付加価値効果 (所得効果) (F+G)	28.7 億円
●直接波及 (E)	21.4 億円
●波及効果 (F-E+G)	7.3 億円
⑥雇用効果 (H+I)	670 人
●直接効果 (観光雇用者数) (H)	487 人
●波及効果 (誘発雇用者数) (I)	183 人

※「檜原温泉センター数馬の湯」と秋川渓谷全体の経済波及効果算出とで一部、入力データの算出方法が異なるため、単純比較は出来ない点に注意（算出過程は後述）

推計結果		
日帰り客観光消費単価が	2,025	円
観光客数が	30	千人
宿泊客観光消費単価が	0	円
の推計結果		



## ウ つるつる温泉

「つるつる温泉」の来訪者による経済波及効果の推計結果（令和4年暦年）は、以下のとおりである。

経済波及効果は約4.01億円（乗数1.25）となり、これは秋川渓谷全体の経済波及効果約82.5億円のうち約4.9%を占める。また、付加価値効果（所得効果）は約1.14億円、雇用効果は27人となった。

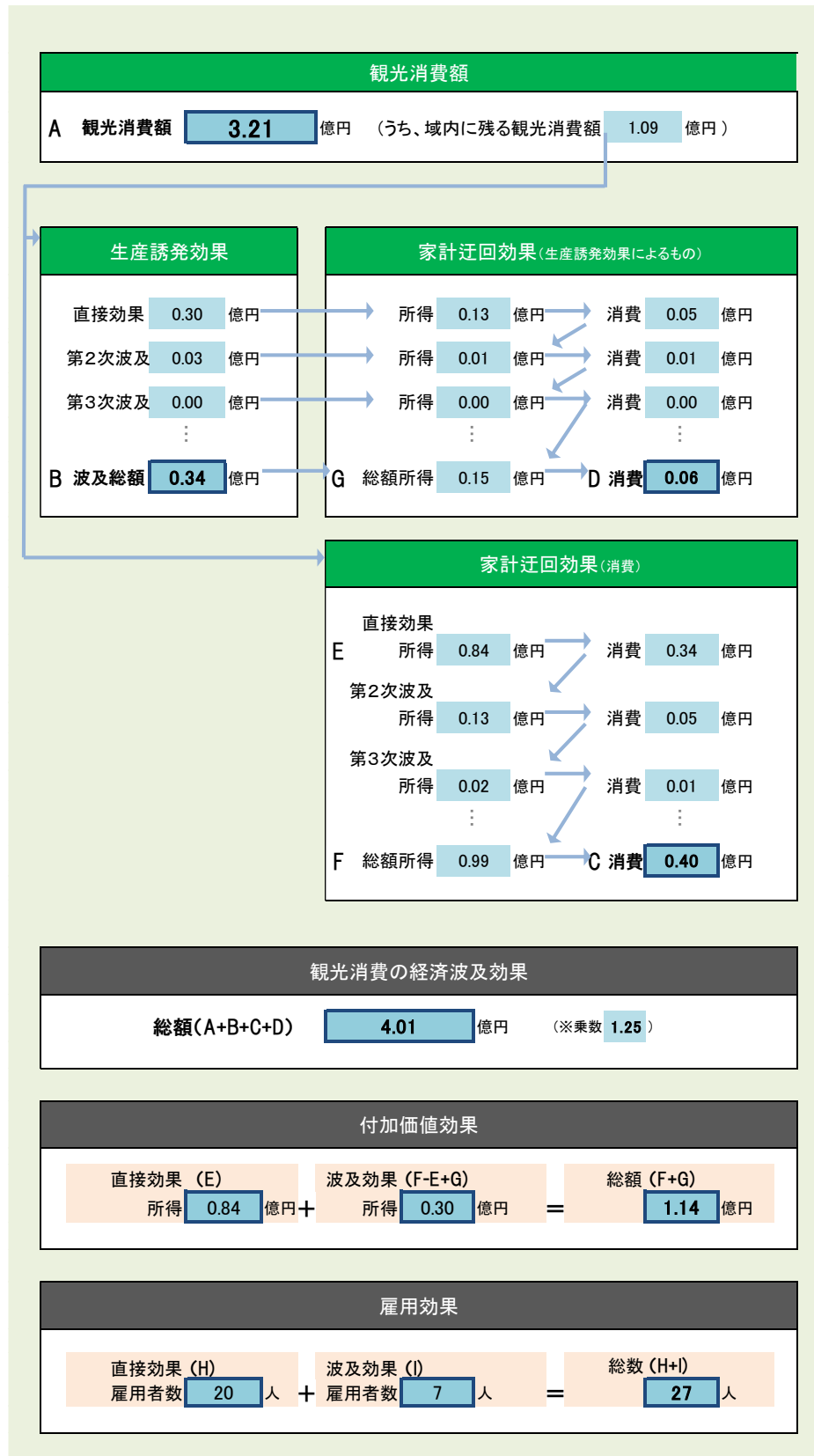
項目	推計結果	秋川渓谷全体の経済波及効果に占める割合
①観光消費額（A）	3.21億円	5.1%
うち域内に残る額	1.09億円	4.1%
うち域外に出る額	2.12億円	5.8%
②生産誘発効果（B）	0.34億円	4.4%
③家計迂回効果（C+D）	0.47億円	4.0%
●消費分（C）	0.40億円	3.9%
●生産誘発効果分（D）	0.06億円	4.4%
④経済波及効果（①+②+③）	4.01億円	4.9%
⑤付加価値効果（所得効果）（F+G）	1.14億円	4.0%
●直接波及（E）	0.84億円	3.9%
●波及効果（F-E+G）	0.30億円	4.1%
⑥雇用効果（H+I）	27人	4.0%
●直接効果（観光雇用者数）（H）	20人	4.0%
●波及効果（誘発雇用者数）（I）	7人	3.9%

### 【参考：秋川渓谷全体の経済波及効果 令和4年暦年】

項目※	推計結果
①観光消費額（A）	63.1億円
うち域内に残る額	26.5億円
うち域外に出る額	<b>36.6億円</b>
②生産誘発効果（B）	7.7億円
③家計迂回効果（C+D）	11.7億円
●消費分（C）	10.3億円
●生産誘発効果分（D）	1.4億円
④経済波及効果（①+②+③）	82.5億円
⑤付加価値効果（所得効果）（F+G）	28.7億円
●直接波及（E）	21.4億円
●波及効果（F-E+G）	7.3億円
⑥雇用効果（H+I）	670人
●直接効果（観光雇用者数）（H）	487人
●波及効果（誘発雇用者数）（I）	183人

※「つるつる温泉」と秋川渓谷全体の経済波及効果算出とで一部、入力データの算出方法が異なるため、単純比較は出来ない点に注意（算出過程は後述）

推計結果		
日帰り客観光消費単価が	2,772 円	観光客数が 116 千人 の推計結果
宿泊客観光消費単価が	0 円	



## (2) 温泉施設における経済波及効果の算出方法

本項目では、「秋川渓谷 瀬音の湯」「檜原温泉センター数馬の湯」「つるつる温泉」の3つの施設それぞれについて経済波及効果の推計方法を算出過程に沿って示す。

### ア 入込客数・観光消費額の推計

秋川渓谷全体の経済波及効果の算出と同様の方法で入込客数・観光消費額を推計した。

以下推計フローの項目①～⑨についての考え方を次頁以降に示す。

なお、推計に用いる対象データは、以下のとおりである。令和4年は、1-3月、10-12月のパラメータ調査を実施しなかったため、推計に際しては、令和3年および令和2年の同時期のパラメータ調査結果を用いて推計した（観光入込客数・宿泊者数は令和4年の調査結果を用いた）。

■対象年：令和4年（1-3月、4-6月、7-9月、10-12月）

■観光入込客数・宿泊者数：令和4年（1-3月、4-6月、7-9月、10-12月）

※宿泊者数は、本事業で宿泊施設調査を行った「秋川渓谷 瀬音の湯」のみ数値を使用

■推計に用いるパラメータ値

①秋川渓谷 瀬音の湯、数馬の湯：

令和4年度調査結果（令和4年4-6月、7-9月）、令和3年度調査結果（令和3年10-12月）、令和元年度調査結果（令和2年1-3月）

②つるつる温泉：

令和4年度調査結果（令和4年4-6月、7-9月）、令和3年度調査結果（令和3年10-12月）

※つるつる温泉は令和3年度からパラメータ調査の対象地点に追加しており、また、新型コロナウイルス感染症の影響で1-3月期に調査を行っていない。このため、1-3月期のデータは令和3年10-12月期のデータを代用した。

① 観光入込客数(延人数) (千人回地点)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

② 構成比 (%)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

③ 観光入込客数(延べ人数) × 構成比 (千人回地点)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

④ 訪問地点数 (地点/人回)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

⑤ 観光入込客数(延人数) ÷ 訪問地点数 (千人回)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

⑥ 宿泊者数 (千人回)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	0	0	-
都内	-	-	0	0	-
都外	-	-	0	0	-
合計	-	-	0	0	-

⑦ 観光入込客数(実人数) × 宿泊客: アンケート結果の活用 (千人回)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

⑧ 観光消費額単価 (円/人回)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

⑨ 観光入込客数(実人数) × 消費額単価 (百万円)					
	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	-	-	-
都内	-	-	-	-	-
都外	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

(ア) 観光入込客数の算出

秋川渓谷に訪れる観光客数のうち「秋川渓谷 瀬音の湯」「檜原温泉センター数馬の湯」「つるつる温泉」の入込客数を以下のとおり算出した。

表 4-6 対象地点の入込客数（人）

施設名	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
秋川渓谷 瀬音の湯	41,606	53,688	65,019	58,437
檜原温泉センター数馬の湯	5,773	7,869	10,284	8,650
つるつる温泉	25,973	29,399	31,581	32,727

(イ) 構成比

パラメータ調査結果をもとに、「秋川渓谷 瀬音の湯」「檜原温泉センター数馬の湯」「つるつる温泉」の来訪者の構成比を「秋川渓谷内」「都内」「都外」の3区分に分けて算出する。

ここでは、「秋川渓谷 瀬音の湯」の10-12月の算出方法を例として説明する（下表は「秋川渓谷 瀬音の湯」10-12月の算出結果）。

	日帰り客 92		宿泊客 8		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	5.22	0.00	0.00	0.00	5.22
都内(秋川渓谷を除く)	58.26	0.00	4.35	0.00	62.61
都外	28.70	0.00	3.48	0.00	32.17*
合計	92.17*	0.00	7.83	0.00	100.00

(ウ) 観光入込客数（延人数・属性別）

「(ア)観光客入込客数の算出 × (イ)構成比」により、観光入込客数（延人数・属性別）を算出した（下表は「秋川渓谷 瀬音の湯」10-12月の算出結果）。

	日帰り客 54		宿泊客 5		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	3.0	-	-	-	3.0
都内(秋川渓谷を除く)	34.0	-	2.5	-	36.6*
都外	16.8	-	2.0	-	18.8
合計	53.9*	0.0	4.6*	0.0	58.4*

(エ) 訪問地点数

今回経済波及効果を算出する対象施設は各温泉施設の1地点のみであり、入込客数を訪問地点数で按分する必要はないことから、全ての属性で訪問地点数を「1」とした。

	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.0	-	-	-	-
都内(秋川渓谷を除く)	1.0	-	1.0	-	-
都外	1.0	-	1.0	-	-
合計	-	-	-	-	-

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(オ) 観光入込客数 (実人数)

「(ウ)観光入込客数(延人数・属性別) ÷ (エ)訪問地点数」により、観光入込客数(実人数)を推計した(下表は「秋川溪谷 瀬音の湯」10-12月の算出結果)。

	観光入込客数(実人数)		(実人数(千人))		合計
	日帰り客	53.9	宿泊客	1.6	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川溪谷内	3.0	-	0.0	0.0	3.0
都内(秋川溪谷を除く)	34.0	-	0.9	0.0	34.9
都外	16.8	-	0.7	0.0	17.5
合計	53.9*	0.0	1.6	0.0	55.5*

(カ) 宿泊者数

本事業で行った入込客数宿泊施設調査結果をもとに、属性別実宿泊数を集計。これらの宿泊者数を、本アンケート調査で得られた宿泊者の構成比を用いて、区分別に宿泊者を按分した。

なお、「檜原温泉センター数馬の湯」「つつる温泉」には宿泊施設が無く宿泊者がいないことから、宿泊客の合計は0人となる。

【秋川溪谷 瀬音の湯 (10-12 月期)】

	宿泊者数		(実人数(千人))		合計
	宿泊客	2			
	観光等	ビジネス			
秋川溪谷内	0.0	0.0			0.0
都内(秋川溪谷を除く)	0.9	0.0			0.9
都外	0.7	0.0			0.7
合計	1.6	0.0			1.6

【檜原温泉センター数馬の湯 (10-12 月期)】

	宿泊者数		(実人数(千人))		合計
	宿泊客	0			
	観光等	ビジネス			
秋川溪谷内	0.0	0.0			0.0
都内(秋川溪谷を除く)	0.0	0.0			0.0
都外	0.0	0.0			0.0
合計	0.0	0.0			0.0

【つつる温泉 (10-12 月期)】

	宿泊者数		(実人数(千人))		合計
	宿泊客	0			
	観光等	ビジネス			
秋川溪谷内	0.0	0.0			0.0
都内(秋川溪谷を除く)	0.0	0.0			0.0
都外	0.0	0.0			0.0
合計	0.0	0.0			0.0

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。



(キ) 観光入込客数 (実人数・宿泊数差替)

(オ)で求めた観光入込客数(実人数)から、宿泊者を差替えて算出した。差替データはパラメータ調査にて実家への宿泊者数を補正して追加している。

【秋川渓谷 瀬音の湯】

<1-3月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))

	日帰り客 39.0		宿泊客 1.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	3.4	-	0.0	0.0	3.4
都内(秋川渓谷を除く)	26.1	-	0.3	0.0	26.4
都外	9.5	-	0.7	0.0	10.2
合計	39.0	0.0	1.0	0.0	39.9*

<4-6月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))

	日帰り客 47.2		宿泊客 1.3		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	3.6	-	0.2	0.0	3.8
都内(秋川渓谷を除く)	30.2	-	0.7	0.0	30.9
都外	13.4	-	0.4	0.0	13.8
合計	47.2	0.0	1.3	0.0	48.5

<7-9月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))

	日帰り客 59.1		宿泊客 1.8		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.6	-	0.0	0.0	1.6
都内(秋川渓谷を除く)	46.4	-	1.1	0.0	47.5
都外	11.1	-	0.7	0.0	11.8
合計	59.1	0.0	1.8	0.0	60.9

<10-12月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替) (実人数(千人))

	日帰り客 53.9		宿泊客 1.6		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	3.0	-	0.0	0.0	3.0
都内(秋川渓谷を除く)	34.0	-	0.9	0.0	34.9
都外	16.8	-	0.7	0.0	17.5
合計	53.9*	0.0	1.6	0.0	55.5*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【檜原温泉センター数馬の湯】

<1-3月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 5.8		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	0.6	-	0.0	0.0	0.6
都内(秋川渓谷を除く)	3.9	-	0.0	0.0	3.9
都外	1.3	-	0.0	0.0	1.3
合計	5.8	0.0	0.0	0.0	5.8

<4-6月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 7.7		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	0.4	-	0.0	0.0	0.4
都内(秋川渓谷を除く)	5.0	-	-	0.0	5.0
都外	2.3	-	0.0	0.0	2.3
合計	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7

<7-9月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 9.2		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	-	-	0.0	0.0	0.0
都内(秋川渓谷を除く)	5.4	-	0.0	0.0	5.4
都外	3.8	-	0.0	0.0	3.8
合計	9.2	0.0	0.0	0.0	9.2

<10-12月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 7.8		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	0.4	-	0.0	0.0	0.4
都内(秋川渓谷を除く)	4.5	0.1	0.0	0.0	4.6
都外	2.8	-	0.0	0.0	2.8
合計	7.6*	0.1	0.0	0.0	7.8*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【つるつる温泉】

<1-3月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 26.0		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.1	-	0.0	0.0	1.1
都内(秋川渓谷を除く)	11.4	-	0.0	0.0	11.4
都外	13.3	0.2	0.0	0.0	13.5
合計	25.8	0.2	0.0	0.0	26.0

<4-6月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 29.0		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.8	-	0.0	0.0	1.8
都内(秋川渓谷を除く)	16.4	-	0.0	0.0	16.4
都外	10.8	-	0.0	0.0	10.8
合計	29.0	0.0	0.0	0.0	29.0

<7-9月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 28.0		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.3	-	0.0	0.0	1.3
都内(秋川渓谷を除く)	18.6	-	0.0	0.0	18.6
都外	8.1	-	0.0	0.0	8.1
合計	28.0	0.0	0.0	0.0	28.0

<10-12月>

観光入込客数(実人数・宿泊数差替)

(実人数(千人))

	日帰り客 32.7		宿泊客 0.0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1.4	-	0.0	0.0	1.4
都内(秋川渓谷を除く)	14.4	-	0.0	0.0	14.4
都外	16.7	0.2	0.0	0.0	17.0*
合計	32.5	0.2	0.0	0.0	32.7*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(ク)観光消費額単価（基本的な考え方）

パラメータ調査で得られた目的・観光形態別の消費額単価（合計）を経済波及効果の算出に用いる。

消費額単価は、アンケートで得られた1人当たりの消費額に対する総人数の加重平均として算出した。

【秋川溪谷 瀬音の湯】

<1-3月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	500	0	378	14	892
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	9,000	2,000	0	0	0	11,000
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を除く)	観光・日帰り	0	626	48	530	275	1,479
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	3,571	3,347	0	212	527	7,656*
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	2,129	0	650	446	3,225
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	8,800	5,000	0	0	1,900	15,700
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

<4-6月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	1,129	243	257	411	2,039*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	9,000	3,000	0	667	167	12,833*
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を除く)	観光・日帰り	0	1,222	285	368	491	2,366
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	893	2,000	957	2,300	400	6,550
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	1,208	167	211	696	2,282
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	1,129	243	257	411	2,039*
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

<7-9月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	400	0	0	400	800
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を除く)	観光・日帰り	0	1,217	171	353	642	2,382*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	8,545	1,091	182	722	273	10,813
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	829	19	281	747	1,876
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	8,286	2,214	0	443	429	11,371*
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

<10-12月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	1,267	100	0	500	1,867
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	1,713	394	534	482	3,123
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	10,000	0	0	100	10,100
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	1,468	264	698	717	3,148*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	10,909	2,291	427	491	455	14,573
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【檜原温泉センター数馬の湯】

<1-3月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	1,256	0	119	86	1,461
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を 除く)	観光・日帰り	0	505	124	368	335	1,332
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	585	326	490	376	1,777
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

<4-6月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	1,000	0	880	100	1,980
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を 除く)	観光・日帰り	0	528	169	891	268	1,856
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	2,000	0	880	2,000	4,880
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	473	143	880	278	1,773*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

<7-9月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川溪谷内	観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川溪谷を 除く)	観光・日帰り	0	649	181	1,383	203	2,415*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	659	84	1,291	141	2,175
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	2,125	750	0	1,220	0	4,095
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

<10-12月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	2,583	167	733	167	3,650
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	663	537	768	482	2,450
	ビジネス観光・日帰り	0	200	0	880	500	1,580
	観光・宿泊	0	3,750	0	3,570	5,500	12,820
	ビジネス観光・宿泊	0	2,500	0	0	1,500	4,000
東京都外	観光・日帰り	0	310	258	468	862	1,898
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	2,333	2,000	0	827	2,933	8,093
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

【つつる温泉】

<1-3月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	70	68	430	0	568
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	1,110	973	722	570	3,375
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	899	1,428	739	36	3,101※
	ビジネス観光・日帰り	0	0	1,110	860	0	1,970
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

※つつる温泉は令和3年度からパラメータ調査の対象地点に追加しており、また、新型コロナウイルス感染症の影響で1-3月期に調査を行っていない。このため、1-3月期のデータは令和3年10-12月期のデータを代用した。

<4-6月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	1,133	800	769	0	2,702
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	697	763	896	102	2,459※
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	6,500	4,000	2,000	1,390	0	13,890
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	1,356	268	868	352	2,844
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

<7-9月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	22	500	537	0	1,058※
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	798	204	846	86	1,935※
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	500	750	333	860	0	2,443
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	1,373	591	915	250	3,129
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	1,125	0	12,110	375	13,610
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

※端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。



<10-12月>

(円/人)

居住地	観光分類	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
秋川渓谷内	観光・日帰り	0	70	68	430	0	568
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都内 (秋川渓谷を 除く)	観光・日帰り	0	1,110	973	722	570	3,375
	ビジネス観光・日帰り	0	0	0	0	0	0
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
東京都外	観光・日帰り	0	899	1,428	739	36	3,101*
	ビジネス観光・日帰り	0	0	1,110	860	0	1,970
	観光・宿泊	0	0	0	0	0	0
	ビジネス観光・宿泊	0	0	0	0	0	0

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(ケ)観光消費額

「(キ)観光入込客数(実人数・宿泊数差替)×(ク)観光消費額単価」により算出する。

【秋川渓谷 瀬音の湯】

<1-3月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 72,126		宿泊客 13,201		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	3,035	0	0	0	3,035
都内(秋川渓谷を除く)	38,596	0	2,155	0	40,751
都外	30,494	0	11,046	0	41,540
合計	72,126*	0	13,201	0	85,327*

<4-6月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 109,451		宿泊客 11,590		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	7,369	0	1,931	0	9,300
都内(秋川渓谷を除く)	71,456	0	4,600	0	76,056
都外	30,625	0	5,060	0	35,685
合計	109,451*	0	11,590*	0	121,041

<7-9月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 132,668		宿泊客 19,567		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1,307	0	0	0	1,307
都内(秋川渓谷を除く)	110,516	0	11,722	0	122,238
都外	20,845	0	7,845	0	28,690
合計	132,668	0	19,567	0	152,235

<10-12月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 164,809		宿泊客 19,316		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	5,691	0	0	0	5,691
都内(秋川渓谷を除く)	106,326	0	8,967	0	115,293
都外	52,792	0	10,350	0	63,141*
合計	164,809	0	19,316*	0	184,126*

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【檜原温泉センター数馬の湯】

<1-3月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 8,347		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	850	0	0	0	850
都内(秋川渓谷を除く)	5,169	0	0	0	5,169
都外	2,328	0	0	0	2,328
合計	8,347	0	0	0	8,347

<4-6月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 14,114		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	748	0	0	0	748
都内(秋川渓谷を除く)	9,347	0	0	0	9,347
都外	4,019	0	0	0	4,019
合計	14,114	0	0	0	14,114

<7-9月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 21,249		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	0	0	0	0	0
都内(秋川渓谷を除く)	13,088	0	0	0	13,088
都外	8,160	0	0	0	8,160
合計	21,249*	0	0	0	21,249*

<10-12月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 17,841		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1,383	0	0	0	1,383
都内(秋川渓谷を除く)	10,985	200	0	0	11,184*
都外	5,273	0	0	0	5,273
合計	17,641	200	0	0	17,841

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【つるつる温泉】

<1-3月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 80,611		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	637	0	0	0	637
都内(秋川渓谷を除く)	38,465	0	0	0	38,465
都外	41,140	368	0	0	41,508
合計	80,243*	368	0	0	80,611*

<4-6月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 75,892		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	4,864	0	0	0	4,864
都内(秋川渓谷を除く)	40,319	0	0	0	40,319
都外	30,709	0	0	0	30,709
合計	75,892	0	0	0	75,892

<7-9月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 62,613		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	1,422	0	0	0	1,422
都内(秋川渓谷を除く)	35,964	0	0	0	35,964
都外	25,227	0	0	0	25,227
合計	62,613	0	0	0	62,613

<10-12月>

観光消費額 (千円)

	日帰り客 101,573		宿泊客 0		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
秋川渓谷内	803	0	0	0	803
都内(秋川渓谷を除く)	48,468	0	0	0	48,468
都外	51,838	464	0	0	52,302
合計	101,109	464	0	0	101,573

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(コ) 経済波及効果簡易推計システムへの反映

経済波及効果簡易推計システムへ反映させる指標を整理した。

【秋川渓谷 瀬音の湯】

＜観光客数＞ (実人数(千人))

	日帰り客	宿泊客	合計
1-3 月	39	1	40
4-6 月	47	1	48
7-9 月	59	2	61
10-12 月	54	2	55*
合計	199	6	205*

＜観光消費額単価 令和4年＞

(円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り(N=199,000)	0	1,247	197	429	531	2,405*
宿泊(N=6,000)	6,165	3,664	257	631	632	11,348*
平均(N=205,000)	169	1,314	199	435	534	2,650*

【檜原温泉センター数馬の湯】

＜観光客数＞ (実人数(千人))

	日帰り客	宿泊客	合計
1-3 月	6	0	6
4-6 月	8	0	8
7-9 月	9	0	9
10-12 月	8	0	8
合計	30*	0	30*

＜観光消費額単価 令和4年＞

(円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り(N=30,000)	0	605	216	869	335	2,025
宿泊(N=0)	0	0	0	0	0	0
平均(N=30,000)	0	605	216	869	335	2,025

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【つるつる温泉】

＜観光客数＞ (実人数(千人))

	日帰り客	宿泊客	合計
1-3 月	26	0	26
4-6 月	29	0	29
7-9 月	28	0	28
10-12 月	33	0	33
合計	116	0	116

＜観光消費額単価 令和4年＞ (円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り(N=116,000)	0	949	818	791	215	2,772*
宿泊(N=0)	0	0	0	0	0	0
平均(N=116,000)	0	949	818	791	215	2,772*

【参考：秋川渓谷全体】

＜観光客数＞ (実人数(千人))

	日帰り客	宿泊客	合計
1-3 月	374	20	394
4-6 月	658	27	685
7-9 月	782	50	832
10-12 月	456	28	484
合計	2,270	125	2,395

＜観光消費額単価 令和4年＞ (円)

合計	宿泊費	飲食費	交通費	体験費用	買物費	合算
日帰り(N=2,270,000)	0	726	303	935	210	2,175*
宿泊(N=125,000)	4,579	2,566	649	2,685	507	10,987*
平均(N=2,395,000)	239	822	321	1,027	225	2,634

\*端数を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

## イ 観光産業における経済波及効果の推計

### (ア) 推計に必要なデータの取得

「観光経済波及効果簡易推計システム」に必要なデータの算出及び取得を行った。

#### ① 観光客数及び観光消費額

前述した算出結果を踏まえ、以下のとおり整理した。

### 1 調査エリア名を入力してください。

調査エリア名	秋川渓谷 瀬音の湯
--------	-----------

### 2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	199 千人	6 千人	205 千人

### 3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	0 円	6,165 円	169 円
(2)飲食サービス	1,247 円	3,664 円	1,314 円
(3)旅客運送サービス	197 円	257 円	199 円
(4)運送設備レンタルサービス	0 円	0 円	0 円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	0 円	0 円	0 円
(6)文化サービス	0 円	0 円	0 円
(7)スポーツ・娯楽サービス	429 円	631 円	435 円
(8)小売	531 円	632 円	534 円
合計	2,405 円	11,348 円	2,650 円

\*平均は日帰り客と宿泊客の人数で加重平均を算出

## 1 調査エリア名を入力してください。

調査エリア名	檜原温泉センター数馬の湯
--------	--------------

## 2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	30 千人	0 千人	30 千人

## 3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	0 円	0 円	0 円
(2)飲食サービス	605 円	0 円	605 円
(3)旅客運送サービス	216 円	0 円	216 円
(4)運送設備レンタルサービス	0 円	0 円	0 円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	0 円	0 円	0 円
(6)文化サービス	0 円	0 円	0 円
(7)スポーツ・娯楽サービス	869 円	0 円	869 円
(8)小売	335 円	0 円	335 円
合計	2,025 円	0 円	2,025 円

\*平均は日帰り客と宿泊客の人数で加重平均を算出



## 1 調査エリア名を入力してください。

調査エリア名	つるつる温泉
--------	--------

## 2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	116 千人	0 千人	116 千人

## 3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	0 円	0 円	0 円
(2)飲食サービス	949 円	0 円	949 円
(3)旅客運送サービス	818 円	0 円	818 円
(4)運送設備レンタルサービス	0 円	0 円	0 円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	0 円	0 円	0 円
(6)文化サービス	0 円	0 円	0 円
(7)スポーツ・娯楽サービス	791 円	0 円	791 円
(8)小売	215 円	0 円	215 円
合計	2,772 円	0 円	2,772 円

\*平均は日帰り客と宿泊客の人数で加重平均を算出

### ② その他のデータの取得

以下の手法にて数値を取得した。

## 4 その他の指標を入力してください

(1)限界消費性向	51% 総務省「家計調査」から算出
(2)域内消費率	80% 自地域の「購買動向調査」等から推計
(3)年間給与所得平均(全国)	¥4,433,000 国税庁「民間給与実態統計調査」から入力
(4)給与地域補正值	91% JPS「個人所得指標」から自地域の値を入力
(5)調査対象期間	12 ヶ月
(6)域内人口	100,173 人

**(ア) 限界消費性向（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・所得の増加分に対する消費の増加分の割合。所得が1万円増加し、そのうち7千円を消費に回す場合、限界消費性向は0.7（7千円／1万円）となる。
- ・総務省の「家計調査年報家計収支編」から算出する（「総世帯のうち勤労者世帯」における実収入に対する消費支出の比率）。同調査の令和4年平均は実収入「535,177円」、消費支出「273,417円」であることから、限界消費性向は「0.51」と設定した。

**(イ) 域内消費率（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・消費を行う際に、地域内で使う割合。地域において「購買動向調査」を行っていただければそこから推計するが、行っていない地域の場合、近年は概ね「80～90%」前後となる傾向がみられるため、これをもとに地域特性や地理的条件を考慮した上で設定する。
- ・ここでは、秋川溪谷内で買い物を十分に行うことは難しく、近隣の八王子市や立川市までの距離は短いため、「80%」とした。

**(ウ) 年間給与所得平均（全国）（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・国税庁の「令和3年民間給与実態統計調査」のデータ（4,433,000円）を使用した。

**(エ) 給与地域補正值（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・給与の地域差を表す指標。（株）JPSが毎年発行している「個人所得指標（2023年版）」から、あきる野市・檜原村・日の出町のデータを参照し、産業人口で加重平均した91%を使用した。

**(オ) 調査対象期間（雇用効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・年間調査のため、12か月とした。

**(カ) 域内人口（所得効果の推計に利用）－入力フォーム 4**

- ・秋川溪谷の域内人口として、100,173人とした。
- ・あきる野市：令和5年3月1日 79,719人
- ・檜原村：令和5年3月1日 2,028人
- ・日の出町：令和5年3月1日 18,426人

### ③ 各業種の経費構造（対売上比率）の整理

観光産業に係るサービス 分野 8 業種の事業構造を把握し、売上高の内訳（構成比）を整理した。

#### 5 各業種の経費構造（対売上比率）を入力してください。

<b>(1) 宿泊サービス</b>		<b>(2) 飲食サービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価	5%	①売上原価	31%
うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	7%	うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	5%
うち、製造業者から直接仕入れる割合	7%	うち、製造業から直接仕入れる割合	8%
うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	85%	うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	83%
うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	1%	うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	4%
合計	100%	合計	100%
②営業経費	22%	②営業経費	13%
③人件費	31%	③人件費	38%
④その他経費	15%	④その他経費	9%
⑤営業利益	27%	⑤営業利益	9%
<b>(3) 旅客運送サービス</b>		<b>(4) 運送設備レンタルサービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価		①売上原価	
②営業経費		②営業経費	
③人件費		③人件費	
④その他経費		④その他経費	
⑤営業利益		⑤営業利益	
<b>(5) 旅行代理店その他の予約サービス</b>		<b>(6) 文化サービス</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価		①売上原価	36%
②営業経費		②営業経費	27%
③人件費		③人件費	27%
④その他経費		④その他経費	0%
⑤営業利益		⑤営業利益	9%
<b>(7) スポーツ・娯楽サービス</b>		<b>(8) 小売</b>	
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)		(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)	
①売上原価	9%	①売上原価	34%
②営業経費	53%	うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	11%
③人件費	50%	うち、製造業から直接仕入れる割合	23%
④その他経費	10%	うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	63%
⑤営業利益	-22%	うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	3%
		合計	100%
		②営業経費	22%
		③人件費	30%
		④その他経費	7%
		⑤営業利益	8%
<b>★全産業</b>			
(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)			
①売上原価	14%		
②営業経費	43%		
③人件費	46%		
④その他経費	10%		
⑤営業利益	-13%		

#### ④ 二次波及（仕入先）等の経費構造（対売上比率）

以下の事業構造を把握し、売上高の内訳（構成比）を整理した。なお、卸売業からの回答が無いことから無記入となっている。

### 6 二次波及（仕入先）等の経費構造（対売上比率）を入力してください。

#### (9) 農林漁業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	21%
②営業経費	26%
③人件費	28%
④その他経費	6%
⑤営業利益	19%

#### (10) 製造業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	56%
②営業経費	24%
③人件費	18%
④その他経費	5%
⑤営業利益	-3%

#### (11) 卸売業

(対売上比率:①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	
④その他経費	
⑤営業利益	

## ⑤ 各業種の域内調達率

上記で取りまとめた域内調達率を整理した。

### 7 各業種の域内調達率を入力してください。

#### (1) 宿泊サービス

①売上原価	55%
②営業経費	50%
③人件費	98%

#### (2) 飲食サービス

①売上原価	46%
②営業経費	50%
③人件費	89%

#### (3) 旅客運送サービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (4) 運送設備レンタルサービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (5) 旅行代理店その他の予約サービス

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

#### (6) 文化サービス

①売上原価	26%
②営業経費	0%
③人件費	50%

#### (7) スポーツ・娯楽サービス

①売上原価	21%
②営業経費	10%
③人件費	87%

#### (8) 小売

①売上原価	22%
②営業経費	45%
③人件費	85%

#### ★全産業

①売上原価	32%
②営業経費	13%
③人件費	88%

## ⑥ 二次波及（仕入先）等の域内調達率

二次波及の域内調達率とは、仕入先が原材料等をどこから調達しているかを指す。

例えば、地域内のうどん屋が、原材料費（主に小麦粉などの食材）を100%地域内の問屋から仕入れていたとする。さらに追跡調査として、その問屋の仕入れ先を把握することで、より細かく域内に残る観光消費額を把握することができる。

二次波及の域内調達率の算出方法については、前述の事業者ヒアリングの際に、仕入れ先を聞き、仕入れ先の追跡調査する方法がある。

なお、卸売業からの回答が無いことから無記入となっている。

## 8 二次波及（仕入先）等の域内調達率を入力してください。

### (1) 宿泊サービスの仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

### (2) 飲食サービスの仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

### (3) 小売の仕入れ先

#### 農林漁業者

①売上原価	38%
②営業経費	20%
③人件費	84%

#### 製造業者

①売上原価	7%
②営業経費	23%
③人件費	76%

#### 卸売業(問屋)

①売上原価	
②営業経費	
③人件費	

### ⑦ 本社比率（推計全般に利用）

その他経費（租税公課や支払利息など）や営業利益等は、基本的に本社（単独事業所を含む）に発生する。事業者アンケート調査・ヒアリング調査から、産業別の本社比率を推計し入力するのが望ましいが、それが難しい場合、「経済センサス」（総務省実施）における市町村別の「単独事業所」「本所・本社・本店」「支所・支社・支店」の事業所数の比率で代用する等の措置をとる。

ここでは、「平成 28 年経済センサスー活動調査事業所に関する集計ー産業横断的集計（売上（収入）金額等）」における秋川溪谷（あきる野市・檜原村・日の出町）の「単独事業所」「本所・本社・本店」「支所・支社・支店」の事業所数をもとに、本社比率を推計・入力した。

	分類	本社比率
全産業		74.3%
1	宿泊	67.4%
2	飲食	67.4%
3	旅客	62.5%
4	運送	88.3%
5	旅行代理店その他	77.3%
6	文化	69.3%
7	スポーツ・娯楽	78.0%
8	小売り	62.3%
9	農林漁業者	76.5%
10	製造業者	86.4%
11	卸売	62.3%





## 第5章

### 調査結果に基づく分析及び提案



## 第5章 調査結果に基づく分析及び提案

ここでは、調査結果の取りまとめとして、令和4年度調査結果のまとめを行った上で、今年度が平成30年度から令和4年度まで継続的に実施した調査の最終年度になるため、5か年の調査結果の推移から観光動態の変化を分析し、地域経済の活性化に向けた施策の検討を実施した。

### 1 令和4年度調査結果のまとめ

令和4年度に実施した入込客数調査とパラメータ調査から、入込客数の推移と来訪者及び受入れ先の観光に対する意識の現状について整理した。

#### (1) 入込客数（主要観光施設、行祭事・イベント、宿泊客数）

##### ア 主要観光施設、行祭事・イベント

- ◆ 令和4年は、秋川渓谷内の多くの観光施設で平成30年の入込客数と同程度かやや上回る結果となった。
- ◆ 8月、9月、11月の入込客数は、平成30年ほどの入込客数には及ばないものの、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復していることが分かる（次ページ参照）。令和4年1月21日～3月21日にかけて発令されたまん延防止等重点措置により、2月の入込客数は減少した。
- ◆ 秋川国際マス釣り場の入込客がすべての月で平成30年を上回っており、あきる野市全体の入込客数の回復にも影響している。令和2年から継続して屋外の観光施設を選択する傾向が確認できた。
- ◆ 令和4年の行祭事・イベントは、平成30年と比較すると、開催状況は半数程度に留まるが、イベントによっては、新型コロナウイルス感染症が流行する前以上の入込客数となっているものもあり、入込客数については、回復の兆しが見られた。



表 5-1 観光施設の入込客数の経年推移（令和4年度と過年度との比較）

地点名称	1月				2月				3月				4月				5月				6月			
	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/平成31年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/平成31年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/平成31年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/平成31年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年
秋川ふれあいランド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7%	116.7%	125.0%	-	10.0%	10.7%	-	-	39.4%	34.9%	1050.0%	123.5%	42.5%	19.7%	
リバーサイドパークーの谷	-	-	-	-	-	0.0%	-	-	-	-	280.0%	-	-	20.9%	20.7%	-	-	25.4%	37.6%	-	-	25.7%	34.3%	
秋川橋河川公園バーベキューランド	100.0%	-	233.3%	700.0%	44.4%	-	160.0%	400.0%	106.2%	-	127.8%	143.8%	226.0%	-	54.3%	42.1%	-	-	63.1%	76.6%	1654.5%	-	77.9%	64.2%
秋川渓谷 瀬音の湯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋川国際マス釣場	97.6%	111.0%	389.0%	547.2%	56.9%	84.7%	532.9%	545.8%	95.2%	68.3%	292.8%	322.6%	99.6%	1348.9%	143.6%	129.6%	180.0%	2565.6%	164.2%	189.0%	178.8%	148.4%	220.2%	202.6%
都立小峰公園	80.7%	82.5%	87.1%	116.0%	42.0%	47.9%	79.5%	94.7%	54.0%	37.4%	55.2%	55.5%	100.0%	132.2%	60.7%	89.0%	100.0%	163.9%	90.1%	104.0%	-	100.0%	191.6%	206.4%
立川国際カントリー倶楽部	115.4%	115.6%	111.5%	150.1%	89.4%	84.3%	107.4%	125.1%	108.1%	120.3%	102.0%	108.0%	100.8%	522.3%	108.2%	105.9%	98.8%	203.3%	99.7%	100.9%	111.7%	123.7%	114.9%	117.9%
東京五日市カントリー倶楽部	116.0%	125.5%	106.1%	148.5%	89.7%	98.0%	112.2%	131.8%	117.9%	128.7%	104.3%	108.1%	103.5%	203.5%	106.2%	95.1%	105.3%	166.7%	107.9%	101.1%	109.3%	131.1%	117.2%	99.2%
東京サマーランド	169.4%	126.1%	107.7%	110.1%	105.4%	58.0%	84.0%	90.8%	137.2%	238.6%	72.3%	82.0%	141.9%	1240.2%	122.0%	126.9%	220.4%	638.3%	114.0%	128.0%	145.3%	423.3%	95.9%	108.6%
秋川ファーマーズセンター	98.4%	102.6%	92.5%	83.7%	95.0%	85.8%	94.8%	87.4%	96.5%	84.0%	83.7%	79.7%	98.9%	107.9%	88.9%	81.4%	102.1%	124.6%	90.1%	85.9%	110.9%	133.9%	113.3%	108.8%
秋川キラホール	293.2%	79.7%	89.6%	57.5%	-	5.1%	5.0%	5.1%	80.8%	-	49.7%	45.3%	121.8%	-	57.6%	42.7%	-	-	32.0%	31.0%	398.2%	1329.6%	47.3%	46.6%
五日市ファーマーズセンター	95.4%	97.1%	96.9%	90.2%	90.8%	90.5%	88.8%	88.6%	99.5%	95.5%	92.8%	86.1%	93.2%	100.6%	93.2%	86.1%	94.4%	98.5%	92.4%	91.4%	90.6%	93.3%	89.5%	89.5%
秋川渓谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)	609.8%	116.0%	259.2%	278.3%	-	62.4%	136.7%	122.0%	130.2%	1873.0%	148.4%	193.5%	180.5%	-	135.3%	171.3%	-	-	181.9%	175.3%	322.6%	314.4%	197.2%	251.8%
あきる野ふるさと工房	497.0%	31.8%	-	-	182.6%	56.6%	-	-	174.7%	1321.7%	-	-	35.3%	3250.0%	-	-	-	-	-	-	1157.1%	188.4%	-	-
檜原温泉センター数馬の湯	116.0%	101.1%	83.5%	87.7%	80.1%	78.2%	96.0%	96.0%	111.3%	129.5%	85.9%	104.4%	109.5%	482.8%	78.3%	70.4%	176.9%	-	75.8%	77.4%	102.9%	97.0%	93.7%	98.9%
檜原都民の森	110.6%	161.8%	90.8%	123.3%	57.3%	77.2%	124.2%	143.7%	95.8%	98.4%	91.9%	105.6%	111.5%	367.4%	90.0%	77.1%	223.9%	711.8%	99.1%	97.7%	107.7%	108.9%	120.8%	110.4%
特産物直売所 やまぶき屋	-	-	-	-	-	-	-	-	103.8%	160.3%	120.9%	229.8%	116.7%	408.6%	101.3%	96.0%	-	433.5%	103.5%	113.7%	120.2%	112.3%	139.7%	155.4%
神戸国際マス釣場	79.6%	205.6%	66.7%	-	55.6%	76.2%	94.0%	-	120.4%	78.3%	191.1%	-	99.3%	484.9%	84.6%	-	124.5%	485.3%	98.8%	-	122.5%	101.1%	157.8%	-
檜原森のおもちゃ美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
つるつる温泉	123.1%	-	-	-	78.2%	-	-	-	106.7%	-	-	-	135.5%	-	-	-	-	-	-	-	166.2%	-	-	-
自然休養村さかな園	3028.6%	-	-	-	-	-	-	-	479.7%	-	-	-	108.5%	-	-	-	-	-	-	-	555.3%	-	-	-
ひので肝要の里	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日の出山荘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふれあい農産物直売所	93.0%	-	-	-	87.1%	-	-	-	94.8%	-	-	-	93.2%	-	-	-	95.5%	-	-	-	92.0%	-	-	-
鹿野大佛	54.6%	-	-	-	50.4%	-	-	-	68.2%	-	-	-	129.6%	-	-	-	142.1%	-	-	-	107.0%	-	-	-
日の出太陽の家/武家屋敷	0.0%	-	-	-	210.5%	-	-	-	200.0%	-	-	-	15.0%	-	-	-	48.6%	-	-	-	0.0%	-	-	-
あきる野市	126.0%	102.2%	97.8%	98.9%	89.6%	67.0%	83.9%	85.4%	108.1%	137.4%	79.8%	83.8%	119.8%	304.8%	97.2%	99.0%	183.3%	323.5%	98.3%	105.0%	153.1%	228.0%	101.5%	105.3%
檜原村	133.4%	170.4%	106.3%	136.0%	72.2%	92.9%	141.6%	161.2%	112.2%	116.8%	106.6%	126.5%	125.7%	430.3%	100.7%	89.5%	248.5%	848.2%	108.7%	112.7%	120.7%	120.1%	132.5%	126.6%
日の出町	103.1%	-	-	-	83.0%	-	-	-	99.3%	-	-	-	110.0%	-	-	-	199.5%	-	-	-	120.0%	-	-	-
合計	121.8%	130.4%	120.2%	124.3%	85.9%	84.6%	108.2%	111.1%	107.2%	157.2%	98.0%	104.5%	119.2%	368.2%	112.4%	111.9%	193.3%	418.9%	115.1%	122.4%	143.7%	227.7%	118.3%	121.6%
地点名称	7月				8月				9月				10月				11月				12月			
	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年	令和4年/令和3年	令和4年/令和2年	令和4年/令和元年	令和4年/平成30年
秋川ふれあいランド	157.7%	83.7%	45.3%	21.2%	152.6%	32.7%	44.0%	22.8%	52.8%	42.2%	30.7%	20.0%	350.0%	147.4%	466.7%	-	116.7%	100.0%	-	188.5%	400.0%	-	-	-
リバーサイドパークーの谷	68.8%	-	55.0%	15.5%	78.4%	-	41.6%	25.3%	145.5%	-	94.9%	48.7%	50.0%	-	280.0%	8.2%	83.3%	-	-	74.5%	200.0%	-	-	-
秋川橋河川公園バーベキューランド	190.9%	534.3%	158.0%	91.0%	146.6%	59.3%	68.4%	68.5%	139.1%	95.5%	47.2%	47.7%	121.5%	117.6%	228.1%	59.1%	84.4%	86.0%	-	81.8%	55.6%	37.7%	-	105.3%
秋川渓谷 瀬音の湯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋川国際マス釣場	78.2%	300.0%	180.5%	135.8%	119.0%	233.4%	199.4%	195.5%	142.8%	445.0%	235.2%	268.3%	77.0%	200.0%	530.6%	150.1%	108.8%	200.0%	364.5%	340.4%	110.0%	300.0%	307.9%	461.0%
都立小峰公園	136.1%	50.7%	71.3%	47.7%	115.6%	23.5%	58.2%	49.1%	96.7%	48.4%	49.0%	33.4%	105.2%	45.1%	65.5%	38.3%	83.2%	34.5%	41.9%	45.2%	101.1%	33.0%	38.5%	38.5%
立川国際カントリー倶楽部	110.2%	121.7%	114.8%	110.5%	109.6%	94.1%	104.0%	119.5%	99.5%	113.2%	101.7%	117.0%	106.0%	119.4%	122.9%	112.8%	95.7%	94.1%	102.6%	104.8%	102.3%	104.0%	107.7%	108.1%
東京五日市カントリー倶楽部	112.2%	117.4%	115.8%	106.4%	110.4%	100.0%	110.1%	126.4%	101.8%	116.9%	108.5%	107.2%	112.3%	118.1%	133.8%	108.6%	100.5%	105.2%	110.4%	97.2%	101.0%	106.9%	116.2%	101.9%
東京サマーランド	131.1%	401.3%	151.2%	87.4%	146.8%	155.4%	71.4%	76.7%	149.8%	100.7%	59.5%	73.0%	189.1%	70.0%	121.2%	70.0%	85.3%	61.7%	58.2%	56.0%	98.4%	116.0%	81.3%	100.2%
秋川ファーマーズセンター	102.5%	105.2%	98.7%	92.8%	96.5%	88.8%	89.1%	87.0%	92.4%	94.2%	85.7%	82.3%	101.7%	100.3%	104.4%	88.7%	102.6%	99.6%	91.0%	89.3%	100.0%	98.1%	86.9%	86.2%
秋川キラホール	254.7%	587.1%	52.5%	69.7%	324.0%	387.4%	37.2%	62.0%	252.9%	355.9%	52.5%	41.1%	155.1%	574.1%	66.2%	53.1%	232.2%	349.0%	71.2%	72.2%	139.3%	1162.0%	100.2%	104.6%
五日市ファーマーズセンター	101.0%	89.7%	99.3%	89.0%	97.0%	78.7%	96.0%	87.1%	95.8%	88.2%	94.4%	84.5%	100.3%	93.5%	104.4%	86.1%	91.2%	83.2%	91.5%	87.2%	105.4%	97.3%	103.1%	92.9%
秋川渓谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)	115.0%	288.2%	99.1%	147.4%	119.7%	143.8%	59.0%	91.7%	145.0%	208.4%	113.0%	144.0%	125.2%	209.3%	155.4%	165.3%	81.7%	99.2%	81.6%	152.8%	86.5%	130.5%	76.0%	203.2%
あきる野ふるさと工房	70.6%	149.6%	-	-	74.6%	62.4%	-	-	137.6%	168.8%	-	-	99.2%	115.3%	-	-	130.4%	224.3%	-	-	45.1%	366.2%	-	-
檜原温泉センター数馬の湯	135.8%	115.9%	135.5%	93.3%	186.2%	92.6%	126.9%	141.5%	98.9%	98.6%	45.0%	82.2%	111.9%	134.8%	221.4%	101.3%	92.0%	94.4%	92.2%	74.8%	104.9%	108.8%	122.7%	104.3%
檜原都民の森	112.7%	145.1%	154.0%	105.5%	99.2%	56.6%	92.3%	83.4%	92.2%	97.1%	93.7%	105.4%	104.0%	116.6%	224.0%	105.3%	88.8%	81.6%	115.9%	90.2%	87.9%	87.5%	100.3%	87.9%
特産物直売所 やまぶき屋	144.4%	100.4%	165.9%	150.7%	94.6%	47.0%	118.6%	108.1%	102.8%	79.8%	128.9%	117.0%	96.5%	79.6%	202.3%	122.1%	94.2%	74.5%	98.9%	97.3%	126.3%	126.7%	156.5%	155.1%
神戸国際マス釣場	95.8%	166.7%	165.7%	731.3%	116.4%	43.9%	97.1%	94.5%	95.6%	69.5%	92.4%	109.2%	120.9%	125.9%	416.1%	160.6%	88.0%	80.2%	196.7%	135.8%	112.5%	134.0%	282.1%	126.0%
檜原森のおもちゃ美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
つるつる温泉	119.9%	-	-	-	124.9%	-	-	-	166.1%	-	-	-	101.1%	-	-	-	85.1%	-	-	-	108.8%	-	-	-
自然休養村さかな園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161.4%	-	-	-	87.3%	-	-	-	155.5%	-	-	-
ひので肝要の里	209.9%	-	-	-	217.4%	-	-	-	232.5%	-	-	-	301.7%	-	-	-	177.9%	-	-	-	322.2%	-	-	-
日の出山荘	301.1%	-	-	-	168.8%	-	-	-	105.9%	-	-	-	167.2%	-	-	-	76.1%	-	-	-	49.7%	-	-	-
ふれあい農産物直売所	96.6%	-	-	-	94.1%	-	-	-	96.0%	-	-	-	97.1%	-	-	-	99.0%	-	-	-	99.0%	-	-	-
鹿野大佛	111.7%	-	-	-	108.7%	-	-	-	78.7%	-	-	-	94.9%	-	-	-	90.6%	-	-	-	98.3%	-	-	-
日の出太陽の家/武家屋敷	566.7%	-	-	-	166.7%	-	-																	



## イ 宿泊客数

- ◆ 入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことから回復傾向にあり、平成30年比で100%を上回っている。
- ◆ 旅館・ホテルに加え、バンガロー・キャンプ場の割合が増加していることから、新型コロナウイルス感染症の拡大により屋外需要が高まったことが読み取れる。
- ◆ アフターコロナの新たな観光動態を踏まえた集客等が求められ、特に団体利用客の減少、家族旅行の増加なども踏まえた施策を検討する必要がある。

表 5-2 宿泊施設の入込客数の経年推移（令和4年度と過年度との比較）

分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あきる野市	合計	4,291	4,194	6,632	6,331	7,863	6,047	8,810	12,609	7,681	8,227	8,579	7,360	88,625
	比率	4.8%	4.7%	7.5%	7.1%	8.9%	6.8%	9.9%	14.2%	8.7%	9.3%	9.7%	8.3%	100.0%
	A旅館・ホテル	3,150	3,531	4,254	3,632	4,139	3,578	4,194	5,433	3,474	4,337	4,797	4,847	49,365
	B民宿・コテージ	337	229	419	422	435	397	591	678	527	561	561	476	5,633
	C簡易宿所	185	0	386	473	108	340	1,655	1,934	1,647	1,603	1,802	1,433	11,564
檜原村	Dバンガロー・キャンプ場	619	434	1,574	1,805	3,181	1,733	2,371	4,565	2,033	1,726	1,419	605	22,062
	合計	255	105	717	1,646	1,741	1,328	2,246	4,234	1,709	1,427	1,358	761	17,528
	比率	1.5%	0.6%	4.1%	9.4%	9.9%	7.6%	12.8%	24.2%	9.7%	8.1%	7.7%	4.3%	100.0%
	A旅館・ホテル	240	97	208	274	464	237	410	963	325	282	559	426	4,485
	B民宿・コテージ	0	0	63	61	136	45	141	144	89	79	79	52	889
日の出町	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Dバンガロー・キャンプ場	15	8	446	1,311	1,141	1,045	1,695	3,127	1,295	1,066	720	283	12,153
	合計	6	8	162	189	242	127	92	149	74	65	90	76	1,280
	比率	0.5%	0.6%	12.7%	14.8%	18.9%	9.9%	7.2%	11.6%	5.8%	5.1%	7.0%	5.9%	100.0%
	A旅館・ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	B民宿・コテージ	0	4	2	8	31	5	13	21	0	15	43	25	167
	C簡易宿所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Dバンガロー・キャンプ場	6	4	160	181	211	122	79	128	74	50	47	50	1,113
	合計	4,552	4,307	7,512	8,166	9,846	7,502	11,149	16,993	9,464	9,719	10,026	8,197	107,433
	比率	4.2%	4.0%	7.0%	7.6%	9.2%	7.0%	10.4%	15.8%	8.8%	9.0%	9.3%	7.6%	100.0%
令和4年/ 平成30年	A旅館・ホテル	3,390	3,628	4,463	3,906	4,603	3,815	4,603	6,396	3,799	4,619	5,356	5,273	53,850
	B民宿・コテージ	337	233	484	491	602	447	745	843	616	655	683	553	6,689
	C簡易宿所	185	0	386	473	108	340	1,655	1,934	1,647	1,603	1,802	1,433	11,564
	Dバンガロー・キャンプ場	640	446	2,180	3,297	4,534	2,900	4,145	7,820	3,402	2,842	2,186	938	35,329
	合計	286.3%	212.0%	198.8%	184.7%	124.8%	123.8%	103.0%	101.7%	102.7%	204.5%	217.9%	241.4%	142.7%
A旅館・ホテル	496.4%	410.4%	458.2%	396.9%	413.2%	520.5%	183.2%	221.5%	284.8%	375.2%	470.2%	528.3%	348.1%	
B民宿・コテージ	60.2%	43.6%	65.9%	58.7%	74.7%	33.1%	66.0%	77.2%	62.6%	81.5%	72.6%	80.6%	64.0%	
C簡易宿所	74.8%	0.0%	75.3%	92.1%	12.4%	55.5%	59.8%	67.1%	129.8%	280.2%	338.7%	215.8%	99.0%	
Dバンガロー・キャンプ場	639.8%	116.9%	139.9%	158.0%	88.9%	86.2%	93.9%	79.4%	60.5%	132.4%	109.8%	89.6%	93.8%	

※赤字：平成30年比100%以上、青字：平成30年比10%以下に減少

※令和4年度と過年度との比較については日の出町を除いた比較

※平成30年のみに含まれる施設：落合キャンプ場(D)、戸倉キャンプ場(D)、古民家の宿山城(やましろ)(A)、蛇の湯温泉たから荘(A)、こむかい山荘(B)、民宿数馬の里(分類不明)、沸沢園(分類不明)、人里休暇村(D)、ひのはら緑の休暇村フォレストイングコテージ(D)、田舎っぼう柚子の木(D)

※令和4年のみに含まれる施設：東横イン東京秋川駅北口(A)、たなごころビレッジ(D)、東京里山シェアリング(C)

## (2) パラメータ調査 ※5月・7月調査

- ◆ 避けたい観光地としては、「屋内レジャー施設」(40.6%)が最も高く、次いで「街並み観光地」(30.9%)と続き、密な状態が生じやすい施設や空間を避ける傾向が令和3年に引き続き確認できた。
- ◆ 行きたい観光地としては、「登山・ハイキング」(25.1%)が最も高く、次いで「自然風景地・農山漁村」(24.4%)と続き、3密になりづらい屋外空間での活動が多く挙げられた。
- ◆ 「変化なし」は、避けたい観光地で36.9%、行きたい観光地で36.6%と約4割の回答者は特に気にしていないことがわかる。
- ◆ 来訪前行動として、「3密を避けるため、屋外の観光地を選んだ」が20.7%と高く、次いで「旅行先を自宅から近い場所に変更した」が12.6%と続く。また、旅行の後押しとなったことは、「秋川渓谷の自然」が35.6%、「自然風景地・屋外なら安心だと思った」が29.6%であった。

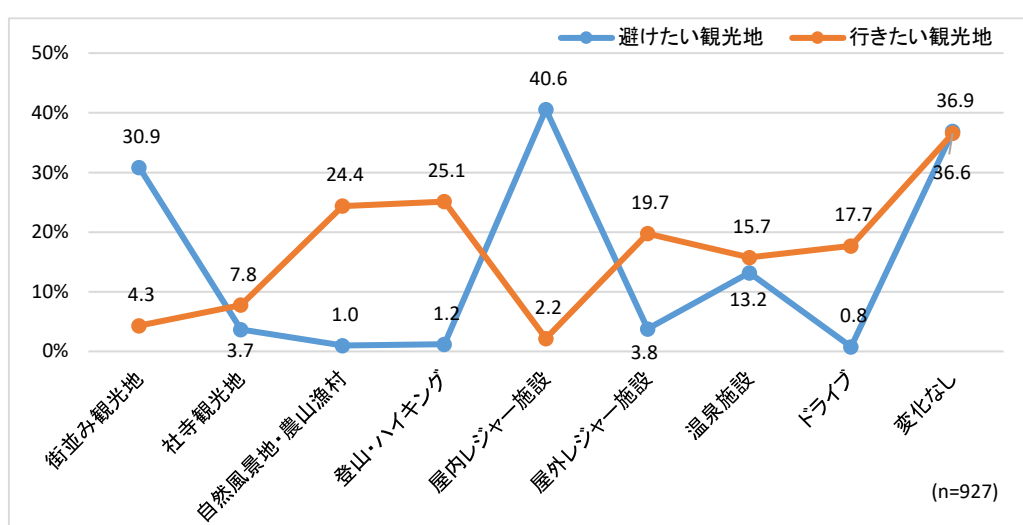


図 5-1 コロナ禍における観光の意識（避けたい観光地、行きたい観光地）

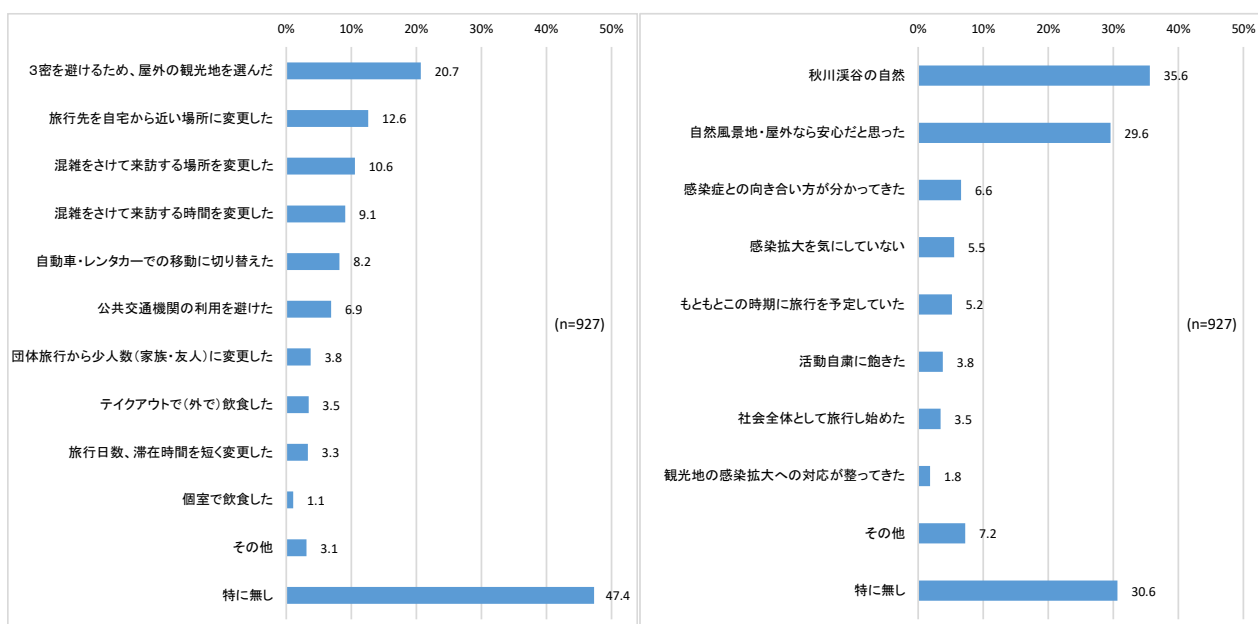


図 5-2 コロナ禍における秋川渓谷への来訪前の行動・旅行の後押しとなったこと



## 2 5か年の調査結果からみた観光動態の変化と観光特性の分析

ここでは、観光による地域経済活性化の検討方針を整理し、経済波及効果の現状を確認した上で、これを今後増加させていくための指標となる観光客数、観光消費額単価、域内調達率の3つの要素について、5か年の調査から観光動態の変化や特性を把握した。

### (1) 観光による地域経済活性化の検討方針

秋川渓谷は都心からわずか60分で豊かな自然を体感できる行楽地として親しまれてきたが、観光客数や消費額、観光による経済効果等の実態は明らかになっていない。

そこで、平成30年度から令和4年度まで継続的に実施した四半期ごとの調査結果をもとに観光の現状を「見える化」することで、秋川渓谷の現状・課題を把握し、今後の観光振興の方向性の検討と効果的な施策を検討する。

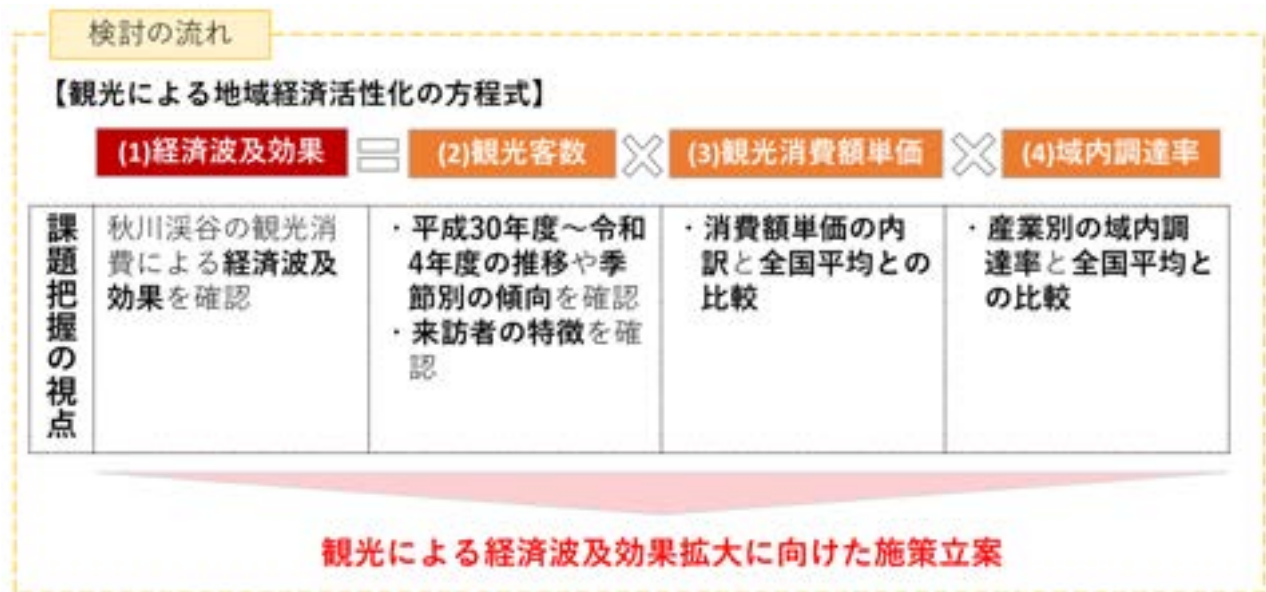


図 5-3 検討方針

次ページから、上記の観光による地域経済活性化の方程式の各指標について、5か年の推移から、現状や特性を分析した。

(2) 経済波及効果（令和3年度推計）の現状

秋川渓谷における令和3年暦年の経済波及効果（推計結果）は約59.9億円、付加価値効果（所得効果）は約20.2億円、雇用効果は472人である。

観光消費額45億円のうち域外に出る額\*が26.3億円と6割近く（58.4%）を占めていることから、「観光消費額」を高めるとともに、観光消費の域外への流出を低減する必要がある。

**■秋川渓谷の観光消費による経済波及効果（令和3年暦年）**

- ・経済波及効果・・・・・・・・約**59.9億円**  
（内訳：観光消費額45億円、生産誘発効果5.2億円、家計迂回効果9.7億円）
- ・付加価値効果（所得効果）・・約**20.2億円**
- ・雇用効果・・・・・・・・・・**472人**

（「観光経済波及効果簡易推計システム（日本交通公社）」にて乗数理論を用いて推計）



※域内に残る額は、売上高のうち外部へ流出する可能性がある売上原価、営業経費、人件費にそれぞれの域内調達率を掛け合わせて算出される金額を示す。

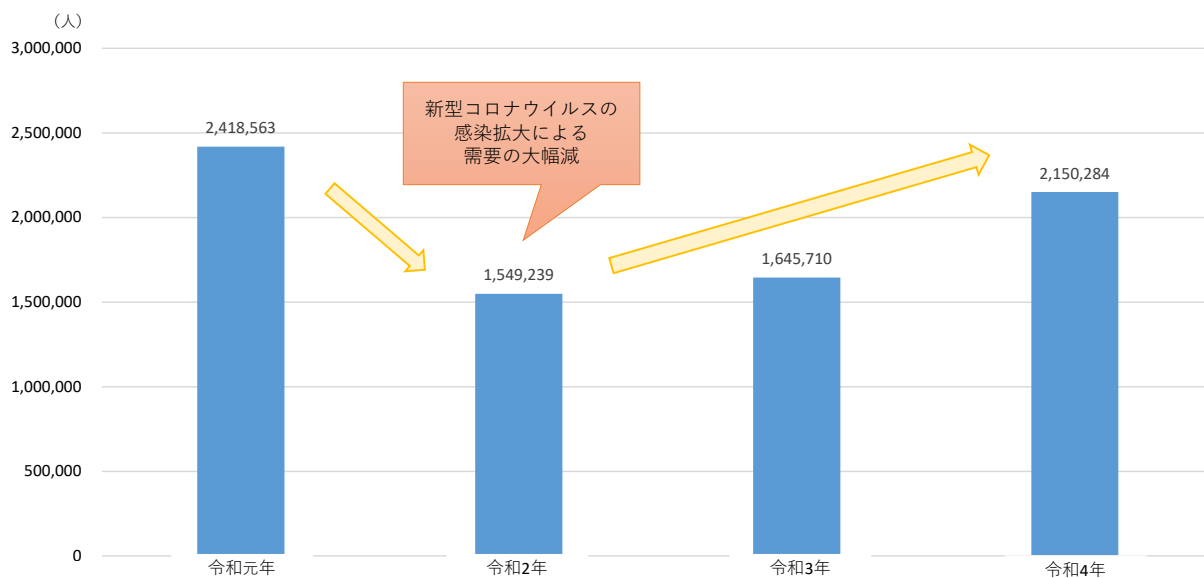
図 5-4 秋川渓谷エリア内における経済波及効果 模式図

### (3) 観光客数の推移と傾向

#### ア 延べ人数の推移

秋川渓谷の年間観光客数は、令和元年 約 240 万人、令和 2 年 約 150 万人、令和 3 年 約 160 万人、令和 4 年 約 215 万人と推移しており、新型コロナウイルスの感染拡大前の令和元年をピークに一時減少したが、令和 4 年からは回復傾向にある。

引き続き新型コロナウイルスに対応した観光施策を実施することで、観光客数の回復につなげる必要がある。



※観光施設・イベントは延べ人数、宿泊者数は実宿泊人数

※あきる野市・檜原村の観光客数を集計した結果。本資料では観光客数の推移を確認するため、令和 3 年から調査を開始した日の出町を除いて集計（参考：日の出町の観光入込客数 令和 3 年 257,193 人、令和 4 年 293,133 人）

図 5-5 観光入込客数の推移（観光施設・イベント・宿泊者数合計値）

## イ 季節別の傾向

月別の観光客数は、夏休み期間にあたる8月が毎年ピークとなっている一方で、冬季(12~2月)の入込客数は少ない傾向にある。

また、令和4年8月の入込客数をみても、新型コロナウイルスの感染拡大前の令和元年水準までは回復しておらず、夏の観光客数の回復と、次に観光客数の多い春・秋の集客強化による“安定した集客”が求められる。



※あきる野市・檜原村の観光客数を集計した結果。本資料では観光客数の推移を確認するため、令和3年から調査を開始した日の出町を除いて集計

※観光施設・イベントは延べ人数、宿泊者数は実宿泊人数

図 5-6 観光入込客数の推移（観光施設・イベント・宿泊者数合計値）

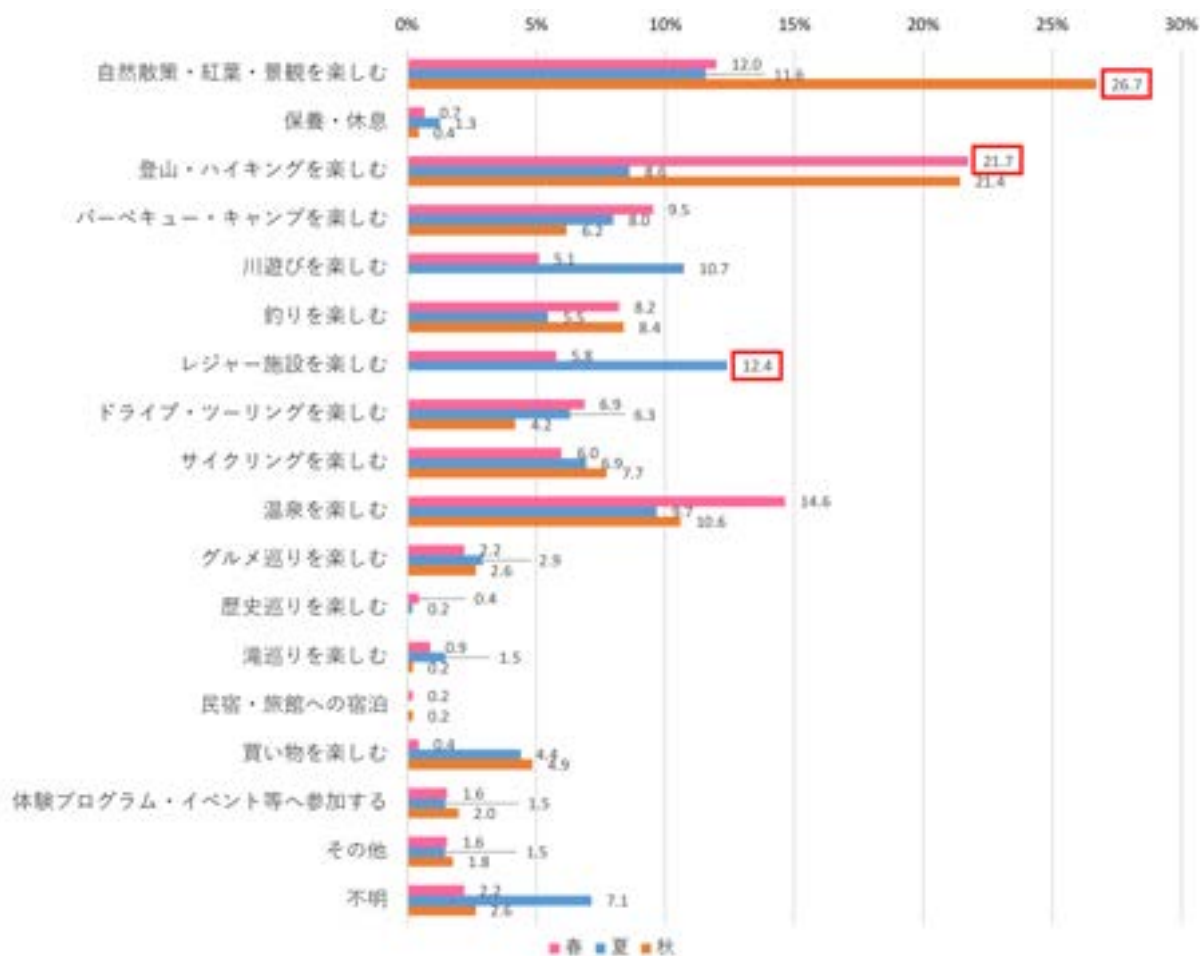
#### (4) 来訪の特性

##### ア 来訪目的と資源の認知状況

来訪目的をみると、夏は「レジャー施設（東京サマーランド等）」、春は「登山・ハイキング」「温泉」、秋は「自然散策・紅葉・景観」「登山・ハイキング」が多い。

観光資源の認知度は、東京サマーランドが約 9 割と高いが、その他の資源は 50%以下にとどまる。一方で、「秋川渓谷 瀬音の湯」「払沢の滝」「つつる温泉」など魅力度が 6 割～7 割と高い施設もある。

上記から、観光資源の認知度が低いために集客や周遊が限定的になっている可能性があり、特に魅力度が高い施設を PR し周遊につなげることが有効である。



※新型コロナウイルス感染症の影響で一部季節の調査を中止したことから、春・夏は令和 4 年度調査結果、秋は令和 3 年度調査結果を用いて作成

図 5-7 春・夏・秋の来訪の主目的（観光地点パラメータ調査結果）

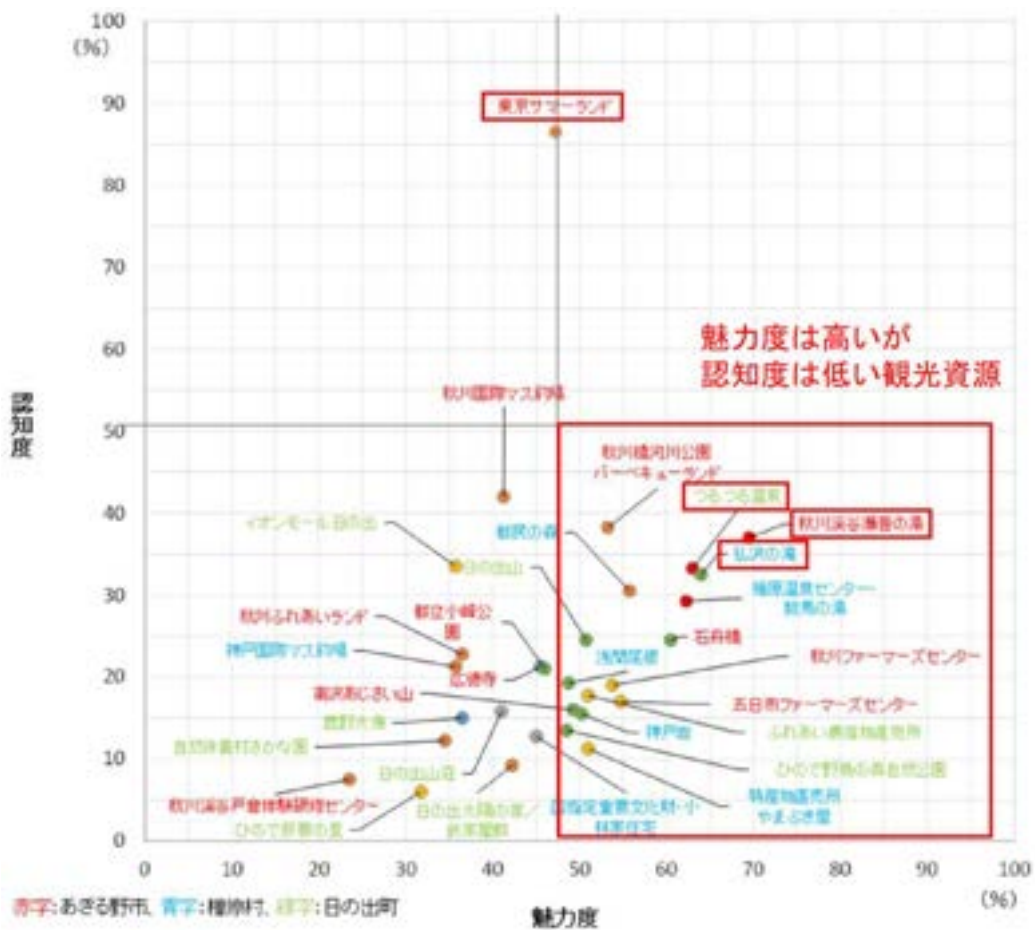


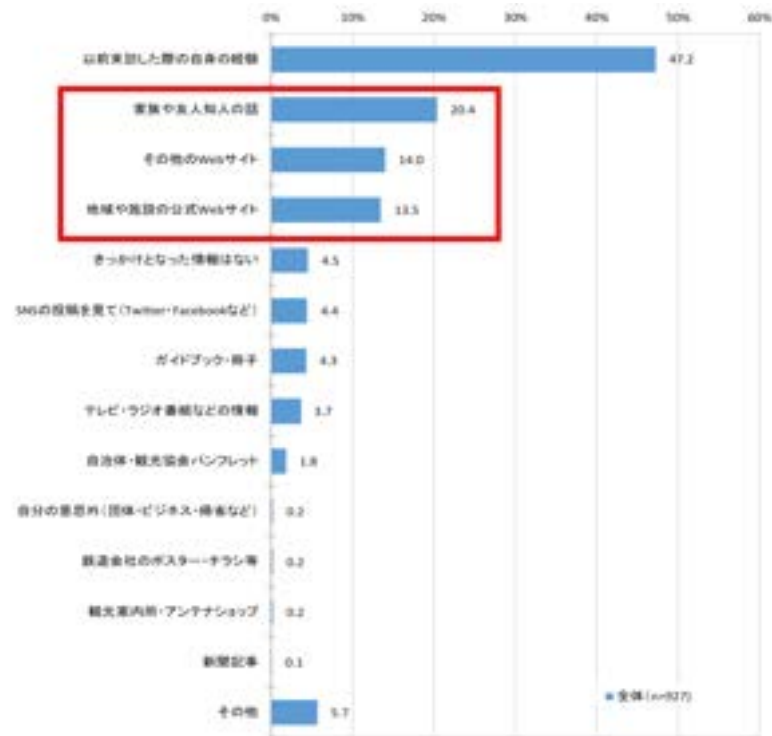
図 5-8 観光資源の認知度と魅力 (令和 3 年度 WEB アンケート調査結果)

## イ 来訪者の特性

来訪者の情報源は「以前に来訪した際の自身の経験」に加え、「家族や知人の話」「Web サイト」が多い。

項目別の旅行満足度は「土産品」が5割を切っており、次いで「交通アクセスの利便性」「地図・案内の分かりやすさ」「食事」も6割以下である。

「土産品」「交通アクセス」「地図・案内表示」「食事」を改善することで満足度を高め、リピーターの獲得や口コミの拡大につなげることが有効である。



※ 「その他の Web サイト」は、Google マップ (5 人)、山と溪谷、YAMAP、サウナイキタイ等

図 5-9 来訪するきっかけとなった情報源 (令和 4 年度観光地点パラメータ調査結果)



図 5-10 各項目の旅行満足度 (令和 4 年度観光地点パラメータ調査結果)

## (5) 観光消費額単価

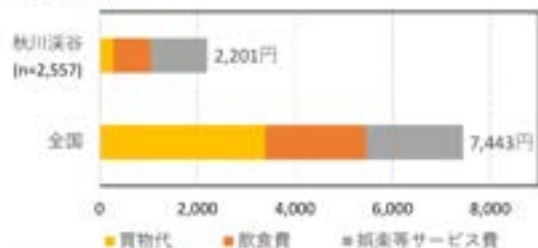
### ア 内訳と全国平均との比較

秋川渓谷における観光消費額単価は、日帰り・宿泊ともに全国平均よりも大幅に低い。

内訳のうち全国平均との差が大きいのは、日帰り客では「買物代」、宿泊客では「宿泊費」「買物代」「飲食費」となっており、「宿泊費」「買物代」「飲食費」などの消費を引き上げる施策が必要である。

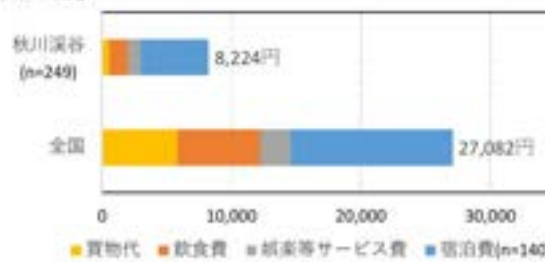
※「秋川渓谷」は秋川渓谷内で使用した費用のみを集計、「全国」は使用場所を問わずかかった費用を集計しているため、費用の差が大きくなっている。

#### 《日帰り客》



日帰り	全国	秋川渓谷 (n=2,557)	全国との費用差
買物代	3,388	270	-3,118
飲食費	2,060	769	-1,291
娯楽等サービス費	1,995	1,163	-832
宿泊費	-	-	-
合計	7,443	2,202	-5,241

#### 《宿泊客》



宿泊	全国	秋川渓谷 (n=249)	全国との費用差
買物代	5,787	552	-5,235
飲食費	6,413	1,382	-5,031
娯楽等サービス費	2,386	1,051	-1,335
宿泊費 (n=140)	12,496	5,239	-7,257
合計	27,082	8,224	-18,858

※全国平均は、「2021 旅行消費動向調査結果（観光庁）」、秋川渓谷の単価は、令和3年度観光地点パラメータ調査結果から作成

※秋川渓谷の交通費は、秋川渓谷内で使用した交通費のみを集計しており、全国平均との差が大きいことから費目から除外

※秋川渓谷の宿泊費は、秋川渓谷外で宿泊したサンプルを除き、渓谷内の宿泊者のみを母数として平均金額を算出。観光資源の特性上、キャンプなどの宿泊費の安い宿泊形態が占める割合が大きいため、宿泊単価が安い傾向にある。

図 5-11 観光消費額単価の内訳と全国平均との比較（左：日帰り客、右：宿泊客）



## イ 高単価客の特性分析

### (ア) 高単価客のタイプ分け

消費額単価の高い来訪者の属性・消費額等を分析したところ、大きく3つのタイプに類型化することが出来た。

高単価客の属性や観光動態の特性を捉えた、効果的な取り組みが望ましい。

表 5-3 観光消費額単価

	全サンプル 【935票】	タイプA： 自然と温泉に癒しを求める 来訪者【114票】	タイプB：レジャー施設で 1日楽しむ首都圏在住 若者・子育て世代【101票】	タイプC： 自然の中でゆったり宿泊 エリア内周遊層【18票】
来訪目的 (複数回答、 上位3位)	①自然散策・紅葉・景観 (42.8%) ②温泉(31.9%) ③登山・ハイキング(22.0%)	①自然散策・紅葉・景観 (56.1%) ②温泉(52.6%) ③登山・ハイキング(29.8%)	①レジャー施設(50.5%) ②釣り(33.7%) ③バーベキュー・キャンプ (21.8%)	①自然散策・紅葉・景観 (50.0%) ②レジャー施設/温泉/ 民宿・旅館(共に27.8%)
消費額の内訳 (平均)				
男女比 (%) <small>(※平明の比率は対象)</small>	男性 57.8% / 女性 41.1%	男性 56.1% / 女性 43.0%	男性 47.5% / 女性 51.5%	男性 55.6% / 女性 44.4%
年代				
平均旅行人数	3.36人	3.22人	3.99人	4.31人
来訪経験				

#### <分析概要>


- ・使用データ：令和3年度観光地点パラメータ調査結果（夏・秋調査のみ実施）のうち消費額単価の高いサンプルを抽出  
※消費額単価の高い上位25%にあたるサンプル（消費額単価が3,488円より高いサンプル）を抽出
- ・分析方法：クラスター分析（説明因子として年代、主目的、飲食費、買い物費、娯楽サービス費、宿泊費の6つを使用。  
回答内容の不備により一部サンプルを除外し類型化した。）

(イ) タイプ別の来訪特性

調査データからA) で類型化した3つのタイプに該当する回答者を選び、属性や観光動態の一例と、さらに消費を増やす工夫を整理した。

■タイプA

**タイプA：自然と温泉に癒しを求める来訪客**



**秋川渓谷での旅行内容 (一例)**

■旅程

- 8:30 御岳山駅に到着し、登山開始
- 10:00 御岳山山頂を経て日の出山山頂に到着
- 11:30 「生涯青春の湯 つるつる温泉」に到着  
温泉に入り登山の疲れを癒す。
- 13:00 つるつる温泉で昼食をとる。  
その後館内でゆったりと過ごす。
- 16:00 JR武蔵五日市駅までバスで移動し秋川渓谷エリアを出る。その後電車に乗り換え自宅へ。

■購入内容 (1人当たり)

昼食1,300円/軽食(おしるこ)1,000円/  
つるつる温泉入館料860円/交通費(電車・バス)1,710円

※調査データから実際の旅行内容をもとに作成

**属性 (一例)**


- 1都3県在住の40代男性。夫婦2人で来訪
- 秋川渓谷への来訪経験は初めて
- 登山の場所として昔から知っており来訪
- 事前に目的地を決めて来訪

**<消費を増やすポイント!>**  
立ち寄り館所で、16時以降の楽しみ方に関する情報やプログラムを提供することで、滞在時間の延長や宿泊につながる可能性あり

■タイプB

**タイプB：レジャー施設で1日楽しむ首都圏在住 若者・子育て世代**

**パターン1**



**秋川渓谷での旅行内容 (一例)**

■旅程

- 7:30 電車でJR武蔵五日市駅まで移動  
タクシーで「秋川国際マス釣り場」へ。
- 8:00 到着。友人と釣りを楽しむ。
- 12:00 昼食はニジマスを焚火で焼いて食べる。
- 15:00 秋川渓谷 瀬音の湯で入浴。疲れを癒す。
- 18:00 JR武蔵五日市駅まで移動し解散

■購入内容 (1人当たり)


入漁券3,300円/瀬音の湯入館料1,000円/交通費(電車・タクシー)1,200円

**属性 (一例)**

- 1都3県在住の20代男性。友人と5人で来訪
- 秋川渓谷への来訪は初めて
- インターネットでマス釣り場を見つけて来訪
- 事前に目的地を決めて来訪

**<消費を増やすポイント!>**  
ランチ・軽食の情報提供やお土産の開発・PRにより消費額アップにつながる可能性あり

**パターン2**



**秋川渓谷での旅行内容 (一例)**

■旅程

- 10:30 車で移動し、秋川渓谷エリアに入る。
- 11:00 「東京サマーランド」到着。プールで遊ぶ。
- 12:00 館内で昼食。カレーライスを食べる。

■購入内容 (1人当たり)

昼食・飲み物2,000円/東京サマーランド入場料4,200円(子ども2,000円)/駐車場2,000円

※調査データから実際の旅行内容をもとに作成

## ■タイプC

### タイプC：自然の中でゆったり宿泊 エリア内周遊層



#### 属性

- ・1都3県在住の30代男性。友人と2人で来訪
- ・秋川溪谷への来訪経験は2回
- ・以前の来訪経験をもとに訪れた。
- ・事前に目的地を決めて来訪

#### <さらに消費を増やす工夫>

秋川溪谷ならではの食の情報提供を強化することで消費額アップにつながる可能性あり

#### 秋川溪谷での旅行内容（一例）

##### ■旅程

##### (1日目)

- 10:30 電車でJR武蔵五日市駅まで移動
- 11:30 「檜原村郷土資料館」までバス移動  
9,000年の村の歴史を知る（入館料無料）。
- 12:00 「数馬の湯」に到着。昼食後に入浴
- 16:00 宿泊先の「かんづくり荘」にチェックイン  
夕食は山菜と魚の塩焼きを食べる。

##### (2日目)

- 9:00 起床。宿で朝食をいただく。
- 11:00 宿泊先をチェックアウト
- 12:00 JR武蔵五日市駅周辺で昼食
- 13:00 駅周辺でお土産を購入。帰宅

##### ■購入内容（1人当たり）

- 宿泊費11,000円／昼食1,000円／数馬の湯入館料820円／お土産3,000円

※調査データから実際の旅行内容をもとに作成

## (6) 産業別の域内調達率

秋川溪谷全産業と全国平均の域内調達率を比べると、秋川溪谷では溪谷内の調達率が 31.6%、全国平均では 19.4%となっており、全国平均と比べて高い。

一方で観光客が立ち寄る小売店（土産品小売業、その他小売業）の原材料費の域内調達率は、全国平均と比べて低い傾向にある。

域内調達率の高い製品の販売強化と、地元食材・木材の仕入れ増等による域内調達率の向上が求められる。



- ・全国：全国の観光産業事業所における域内調達率の平均を示す（平成 24 年観光地域経済調査 主な仕入・材料費、外注費の支払先地域（法人））。
- ・秋川溪谷：令和 3 年度域内調達率調査結果

図 5-12 産業別の域内調達率（原材料費）

### 3 現状課題の整理と地域経済の活性化に向けた取組メニューの検討

#### (1) 現状課題と地域経済の活性化に向けた対応方針の検討

調査結果から明らかとなった現状課題を抽出し、これに対して観光による地域経済を活性化するための対応方針を以下のとおり検討した。



図 5-13 地域経済の活性化に向けた現状課題と対応方針

## (2) 対応方針に基づく取組メニューの検討

(1)の対応方針に基づき、取組メニューを検討した。

なお、取組メニューの実施にあたっては、今後のインバウンド回復を見込んだ動きが必要であり、あきる野市、檜原村、日の出町の3市町村で連携し、秋川溪谷として取り組むことが重要である。

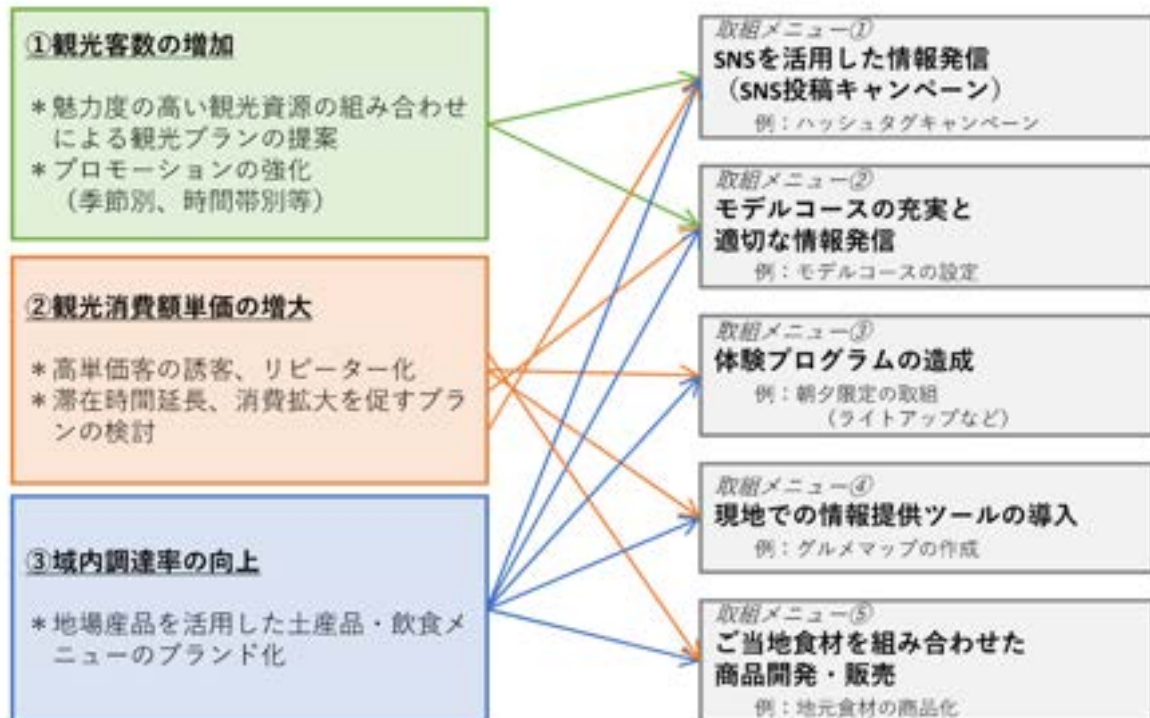


図 5-14 対応方針に基づく取組メニュー

次ページ以降に、他地域での事例を収集した上で検討した各取組メニューの詳細を示す。

## ア 取組メニュー①：SNS を活用した情報発信（SNS 投稿キャンペーン）

- SNS を活用した観光資源の魅力、楽しみ方の発信に取り組むことで、これまで訪れたことがない客層や若年層に対して幅広く情報を訴求していく。
- 季節ごとの魅力や楽しみ方を提案していくことで、観光客のリピーター化、冬から春にかけての閑散期の需要拡大につながることを期待できる。
- SNS へ写真や来訪時の感想などを投稿するキャンペーンを実施することで、若年層への情報を口コミ的に広げていく。また、投稿者には、地元特産品などの特典を付けることで、参加意欲の向上を図る。

### 【実例：宮崎県ハッシュタグキャンペーン】

- 宮崎県では「神ってる瞬間&風景ハッシュタグキャンペーン」と題してInstagramでのフォトコンテストを実施している。
- 景品として宮崎牛やホテル宿泊券を用意し、宮崎をPRする投稿を増やしている。



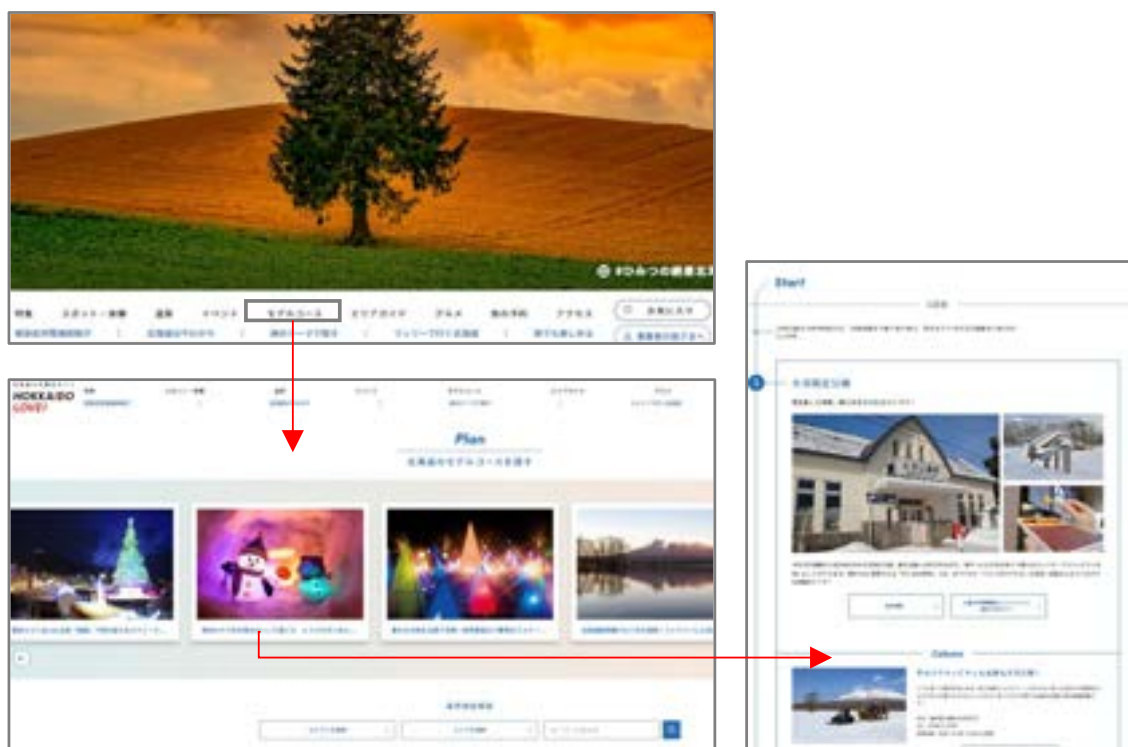
(出典：宮崎県東京事務所 HP)

## イ 取組メニュー②：モデルコースの充実・適切な情報発信

- ・本地区における観光資源間の交通アクセスは、バスを使えば周遊できるものの、バスの本数が少なく、時間の調整が難しい。
- ・そのため、バスの乗り継ぎ時刻を含めたモデルコースに改編し、初来訪者にもイメージしやすい情報（移動手段・所要時間・休憩場所など）の提供を行う。
- ・それらの情報を JR 武蔵五日市駅や各観光資源のオフィシャル HP で広く情報を発信する。その際、HP のトップ画面に表示するなど、目につきやすいところを意識した周知を行う。

### 【実例：北海道公式観光サイト】

- ・HP トップの「モデルコース」タブをクリックすると、43 件のモデルコースをカテゴリやエリア別に関連できる。
- ・モデルコースでは移動時間・手段、スポットの見所が紹介されている。



(出典：北海道観光振興機構 HP)



### ウ 取組メニュー③：体験プログラムの造成

- ・本地区は、首都圏から来訪する観光客が多く、そのほとんどが日帰りで帰宅してしまう。
- ・そのため、宿泊者限定の体験プログラムや朝夕ならではの体験プログラムを造成することで、観光客の引き留めが期待できる。

例えば…

- ・地元で醸造しているお酒を提供し、自然の中で味わってもらい、お土産として買って帰ってもらう。
- ・紅葉時期には、紅葉のライトアップを行うことで、観光客に日没までの滞在を促し、秋川溪谷内で夕食をとってもらうなど、立ち寄り箇所が増えることが期待できる。

#### 【実例：長瀨紅葉まつり】

- ・埼玉県秩父市では毎年紅葉の時期に、長瀨の紅葉スポット3つのライトアップを実施している。
- ・また、紅葉祭りの時期には、「宝登山」の朝焼け・夕焼けを観賞できるようロープウェイの運航時間を延長している。



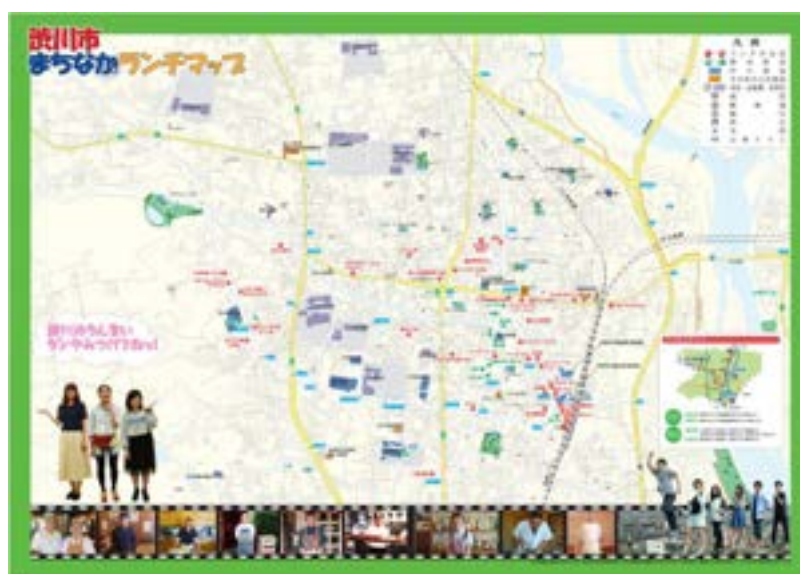
(出典：長瀨観光協会 HP)

## エ 取組メニュー④：現地での情報提供ツールの導入

- ・本地域を訪問している際に、地域の飲食店や土産店などがまとめられた情報ツールを活用することで、想定していた訪問ルートに合わせ、プラスして立ち寄ってもらうことが考えられる。
- ・秋川渓谷へ来訪する観光客は、JR 武蔵五日市駅での乗降者が多いため、JR 武蔵五日市駅周辺のグルメマップを作成する。
- ・特に、秋川牛や地元で採れた野菜などを使用している店舗は、その旨をPRすることで、消費拡大を狙う。

### 【事例：渋川まちなかランチマップ】

- ・群馬県渋川市では、中心市街地の活性化を目的に、まちなかのランチ情報を掲載した地図を作成した。
  - ・渋川市と事業連携している高崎経済大学の学生が実際にまちなかを食べ歩き、調査・取材した。
- ※その後、渋川まちなかランチマップは、市が開催した養成講座の修了生を中心に立ち上げた中心市街地の活性化を目的とした市民団体「渋川市中心市街地まちづくり市民サポーター」が内容を更新している。



(出典：渋川市 HP)

### オ 取組メニュー⑤：既存のご当地食材を組み合わせた商品開発・販売

- ・既存のご当地食材に対して観光客への販売促進を図るとともに、各事業者が連携した商品の共有化を図り、秋川溪谷の土産品としてのPRを強化し、ブランディングを推進する。
- ・特に、あきる野市で醸造している日本酒や檜原村のじゃがいも焼酎を飲み比べできるセットなどの商品開発を行い、地域内の事業者で連携して販売を促していく。
- ・その際、宿泊施設や飲食店とも連携し、夕食時に地元のお酒を提供することで、観光客の滞在時間延長にもつなげる。

#### 【事例：神奈川の地酒セット】

- ・神奈川県酒造組合が、県内 8 酒蔵の銘柄をテーマごとに組み合わせた「神奈川の地酒セット」を作成し、オンラインショップにて販売している。
- ・「神奈川の地酒セット」は、ふるさと納税の返礼品にも追加されている。



(出典：神奈川県 HP、オンラインショップ「地元物語」)



# 第6章

## KPI の設定



## 第6章 KPI の設定

KPI 値は、令和元年に行った調査結果から「推奨 KPI とその設定の狙い」を整理した。また、令和2年、3年度は各年度の調査結果を踏まえ基準値の見直しを行ってきた。

本章では、令和元年から令和4年までの調査結果を整理するとともに、令和5年度以降も継続してモニタリングすることが可能な指標を検討した。

### (1) KPI 設定の意義及び算出方法

「日本版 DM0」形成・確立に係る手引きを踏まえ、令和元年に推奨 KPI とその意義、算出方法を下表のとおり整理した。これらの指標について、令和元年～令和4年の調査結果をもとに各年の現状値を算出した。算出結果は次頁のとおりである。

表 6-1 推奨 KPI 一覧とその設定の狙い

指標	意義	算出方法
①観光入込客数(延べ人数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地の経年的な入込客数の推移を把握でき、観光地の基礎データとしての整理が可能</li> <li>今後人口が減少するにつれて、経年的に増加させていくことは難しく、主たる目標値としての設定は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客入込客数調査から算出</li> </ul>
②延べ宿泊者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の宿泊地点の宿泊客数。今後、宿泊観光客の人数を増加させる施策について把握する指標</li> <li>①と同様の方法で把握することが可能であるが、全ての回答が得られておらず実数の把握が難しい。</li> <li>算出(推計)方法を定義することで、経年での把握は可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光庁集計の宿泊旅行統計調査、または、②観光地点パラメータ調査から算出</li> </ul>
③旅行消費額	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は観光客の入込の増加が難しいことから、消費額単価を上げ、観光消費額の見える化を図るための指標</li> <li>来訪者の滞在時間増加、食事・買い物等の機会を増やすことで増加が見込め、経済面の視点からの効果の把握が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②の入込客数×観光地点パラメータ調査結果を組み合わせる算出</li> </ul>
④来訪者満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋川溪谷全体、観光地、及び項目の満足度を把握することで、来訪者の満足度の推移、課題となる点の把握が可能</li> <li>来訪者の属性を分けてクロス集計等を実施することで課題等の把握も可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地点パラメータ調査(問12)から算出</li> </ul>
⑤リピーター率	<ul style="list-style-type: none"> <li>満足度を高めることで、よりリピーターの方が増えることを把握する指標</li> <li>リピーター率が高まる指標は、反面、新規の来訪者が少なくなることも意味する。</li> <li>観光地点により傾向が異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地点パラメータ調査(問7)から算出</li> </ul>
⑥再来訪意欲	<ul style="list-style-type: none"> <li>満足度を高めることで、より再来訪意欲が増えることを把握する指標</li> <li>再来訪は居住地によりその意欲は変化することが想定されるため、対象のマーケットを想定して把握することが好ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地点パラメータ調査(問14)から算出</li> </ul>
⑦域内調達率	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が地域内から原材料や雇用者等を調達する割合。事業者へのアンケートから推計する。域内調達率が高まることで、消費額に対する波及効果が算出される。</li> <li>回答される事業者によって、域内調達率の数値も変化することから、達成率よりも把握事業者割合の方が好ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>域内調達率調査から算出</li> </ul>
⑧経済波及効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光消費額が様々な経済に対する波及効果を算出。経済波及効果に加え、付加価値効果、雇用効果などを把握でき、観光経済のとりまとめの結果を把握可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗数理論を用いて、①②⑦の調査結果、観光地点パラメータ調査結果から算出</li> </ul>





4 年間の調査結果から、各指標について令和元年から令和 4 年までの増減を確認した。

観光入込客数は 22,714 人増加、旅行消費額は 692,300 千円増加、来訪者満足度（大変満足）は 1.5 ポイント増加した一方で、経済波及効果は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和元年に比べて 4.9 億円減少する結果となった。

表 6-2 4 年間の調査結果

指標	調査結果				令和元年と比較した 令和 4 年調査結果の増減
	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	
①観光入込客数 (延べ人数)	<b>■観光施設</b> ・あきる野市：1,860,085 人 ・檜原村：245,245 人 ・秋川溪谷計：2,105,330 人  <b>■行祭事・イベント</b> ・秋川溪谷計：228,089 人 ・『観光施設+行祭事・イベント』 : 2,333,419 人	<b>■観光施設</b> ・あきる野市：1,252,333 人 ・檜原村：243,200 人 ・秋川溪谷計：1,495,533 人  <b>■行祭事・イベント</b> ・秋川溪谷計：2,400 人 ・『観光施設+行祭事・イベント』 : 1,497,933 人	<b>■観光施設</b> ・あきる野市：1,345,590 人 ・檜原村：254,411 人 ・日の出町：256,121 人 ・秋川溪谷計：1,856,122 人  <b>■行祭事・イベント</b> ・秋川溪谷計：4,210 人 ・『観光施設+行祭事・イベント』 : 1,860,332 人	<b>■観光施設</b> ・あきる野市：1,675,767 人 ・檜原村：308,393 人 ・日の出町：291,853 人 ・秋川溪谷計：2,276,013 人  <b>■行祭事・イベント</b> ・秋川溪谷計：80,120 人 ・『観光施設+行祭事・イベント』 : 2,356,133 人	<b>■観光施設</b> ・あきる野市：▼184,318 人 ・檜原村：△63,148 人 ・日の出町：- 人 ・秋川溪谷計：△170,683 人  <b>■行祭事・イベント</b> ・秋川溪谷計：▼147,969 人 ・『観光施設+行祭事・イベント』 : △22,714 人
②延べ宿泊者数	・あきる野市：58,746 人泊 ・檜原村：26,398 人泊  ・秋川溪谷計：85,144 人泊	・あきる野市：32,886 人泊 ・檜原村：18,420 人泊  ・秋川溪谷計：51,306 人泊	・あきる野市：22,167 人泊 ・檜原村：19,332 人泊 ・日の出町：1,072 人泊 ・秋川溪谷計：42,572 人泊	・あきる野市：88,625 人泊 ・檜原村：17,528 人泊 ・日の出町：1,280 人泊 ・秋川溪谷計：107,433 人泊	・あきる野市：△29,879 人泊 ・檜原村：▼8,870 人泊 ・日の出町：- 人泊 ・秋川溪谷計：△22,289 人泊
③旅行消費額	秋川溪谷計：5,615,135 千円 (1-3 月：664,524 千円 4-6 月：1,535,762 千円 7-9 月：2,732,615 千円 10-12 月：682,234 千円)	秋川溪谷計：3,303,073 千円 (1-3 月：357,735 千円 4-6 月：503,000 千円 7-9 月：1,885,542 千円 10-12 月：556,796 千円)	秋川溪谷計：4,501,642 千円 (1-3 月：376,752 千円 4-6 月：1,058,131 千円 7-9 月：1,824,817 千円 10-12 月：1,241,942 千円)	秋川溪谷計：6,307,435 千円 (1-3 月：523,781 千円 4-6 月：1,584,332 千円 7-9 月：2,874,465 千円 10-12 月：1,324,857 千円)	秋川溪谷計：△692,300 千円 (1-3 月：▼140,743 千円 4-6 月：△48,570 千円 7-9 月：△141,850 千円 10-12 月：△642,623 千円)
④来訪者満足度	秋川溪谷の総合満足度 ・大変満足：27.3 ・満足：57.4 ・やや満足：10.4 ・『大変満足+満足』：84.7 ・『やや満足以上』：95.1	秋川溪谷の総合満足度 ・大変満足：27.3 ・満足：57.4 ・やや満足：10.4 ・『大変満足+満足』：84.7 ・『やや満足以上』：95.1	秋川溪谷の総合満足度 ・大変満足：27.8 ・満足：55.8 ・やや満足：11.7 ・『大変満足+満足』：83.6 ・『やや満足以上』：95.2	秋川溪谷の総合満足度 ・大変満足：28.8 ・満足：55.9 ・やや満足：11.6 ・『大変満足+満足』：84.7 ・『やや満足以上』：96.3	秋川溪谷の総合満足度 ・大変満足：△1.5 ・満足：▼1.5 ・やや満足：△1.2 ・『大変満足+満足』：0.0 ・『やや満足以上』：△1.2 ⇒大変満足+満足は 80%以上を維持
⑤リピーター率	2 回目以上のリピーター率：71.4% ・1-3 月：79.6% ・4-6 月：70.3% ・7-9 月：74.7% ・10-12 月：69.3%	2 回目以上のリピーター率：71.4% ・1-3 月：79.6% ・4-6 月：70.3% ・7-9 月：74.7% ・10-12 月：69.3%	2 回目以上のリピーター率：64.5% ・1-3 月：79.6% ・4-6 月：70.3% ・7-9 月：66.1% ・10-12 月：55.6%	2 回目以上のリピーター率：57.7% ・1-3 月：79.6% ・4-6 月：51.3% ・7-9 月：63.4% ・10-12 月：55.6% (令和 3 年値)	2 回目以上のリピーター率：▼13.7% ・1-3 月：- % ・4-6 月：▼19.0% ・7-9 月：▼11.3% ・10-12 月：▼13.7% ⇒令和 3 年以降はリピーター率が減少し、新規来訪者が増加。
⑥再来訪意欲	秋川溪谷の再来訪意欲 ・大変そう思う：40.1 ・そう思う：41.5 ・ややそう思う：11.3 ・『大変そう思う+そう思う』：81.6 ・『ややそう思う以上』：92.9	秋川溪谷の再来訪意欲 ・大変そう思う：40.1 ・そう思う：41.5 ・ややそう思う：11.3 ・『大変そう思う+そう思う』：81.6 ・『ややそう思う以上』：92.9	秋川溪谷の再来訪意欲 ・大変そう思う：43.1 ・そう思う：36.6 ・ややそう思う：10.1 ・『大変そう思う+そう思う』：79.7 ・『ややそう思う以上』：89.7	秋川溪谷の再来訪意欲 ・大変そう思う：40.6 ・そう思う：38.7 ・ややそう思う：10.5 ・『大変そう思う+そう思う』：79.3 ・『ややそう思う以上』：89.8	秋川溪谷の再来訪意欲 ・大変そう思う：△0.5 ・そう思う：▼2.8 ・ややそう思う：▼0.8 ・『大変そう思う+そう思う』：▼2.3 ・『ややそう思う以上』：▼3.1 ⇒再来訪意欲は 80%前後を維持
⑦域内調達率	<b>■全産業</b> ・売上原価：25% ・営業経費：40% ・人件費：88% <b>■各産業（売上原価のみ）</b> ・宿泊サービス：78% ・飲食サービス：39% ・小売：58%	<b>■全産業</b> ・売上原価：46% ・営業経費：39% ・人件費：57% <b>■各産業（売上原価のみ）</b> ・宿泊サービス：65% ・飲食サービス：38% ・小売：56%	<b>■全産業</b> ・売上原価：32% ・営業経費：13% ・人件費：88% <b>■各産業（売上原価のみ）</b> ・宿泊サービス：55% ・飲食サービス：46% ・小売：22%	(左同) ※令和 4 年は域内調達率調査を実施しなかったため、令和 3 年の基準値を採用。	<b>■全産業</b> ・売上原価：△7% ・営業経費：▼27% ・人件費：0% <b>■各産業（売上原価のみ）</b> ・宿泊サービス：▼23% ・飲食サービス：△7% ・小売：▼36% ⇒売上原価の調達率は 25~46%の間を推移。宿泊サービスと小売業は、売上原価の調達率が 20%以上減少。
⑧経済波及効果	<b>■経済波及効果</b> ：87.4 億円 <b>■付加価値効果</b> ：28.8 億円 <b>■雇用効果</b> ：443 人	<b>■経済波及効果</b> ：47.4 億円 <b>■付加価値効果</b> ：15.8 億円 <b>■雇用効果</b> ：150 人	<b>■経済波及効果</b> ：59.9 億円 <b>■付加価値効果</b> ：20.2 億円 <b>■雇用効果</b> ：472 人	<b>■経済波及効果</b> ：82.5 億円 <b>■付加価値効果</b> ：28.7 億円 <b>■雇用効果</b> ：670 人	<b>■経済波及効果</b> ：▼4.9 億円 <b>■付加価値効果</b> ：▼0.1 億円 <b>■雇用効果</b> ：△227 人

※網掛けは、新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施のため、令和元年と同数値を採用



## (2) モニタリング指標の設定

本事業では調査を実施することで観光入込客数、観光消費額単価、域内調達率等の数値を把握し、今まで不明確であった観光消費による経済波及効果を「見える化」することが出来た。

令和5年度以降は、継続的な調査が実施されないため、オープンデータ等を活用して推奨 KPI の推移をモニタリングしていくことが望ましい。そこで、オープンデータ等のデータの取得可能性を踏まえモニタリング指標を再設定し、算出方法と合わせて提案を行う。再設定したモニタリング指標とその基準値および算出方法を以下に示す。

表 6-3 モニタリング指標と算出方法の提案

指標	基準値 (令和4年値)	算出方法
①観光 入込客数 (延べ人数)	2,356,133 人	・A案：調査を実施する方法 観光客入込客数調査を実施し算出
	あきる野市：192,227 人 檜原村：268,028 人 日の出町：1,046,457 人 (令和3年値)	・B案：オープンデータを活用する方法 RESAS のまちづくりマップ「From-to 分析（滞在人口）」で市町村外からの来訪人口を確認 (データ出典：NTT ドコモ モバイル空間統計)
②延べ 宿泊者数	あきる野市：3,515 人 (令和3年値) ※檜原村、日の出町はデータ無し	・RESAS の観光マップ「From-to 分析（宿泊者）」で年間の延べ宿泊者数を確認 (データ出典：観光予報プラットフォーム)
③旅行 消費額	6,307,435 千円	・①②の入込客数×観光地点パラメータ調査結果を組み合わせて算出 ※パラメータ調査は秋川渓谷内の代表施設に限定して実施
④来訪者 満足度	秋川渓谷の総合満足度 ・大変満足：28.8 ・満足：55.9 ・やや満足：11.6 ・『大変満足＋満足』：84.7 ・『やや満足以上』：96.3	・観光地点パラメータ調査（問12）から算出 ※パラメータ調査は秋川渓谷内の代表施設に限定して実施
⑤経済 波及効果	82.5 億円	・地域経済波及効果分析ツール（環境省）を用いて算出 ※観光客数は指標①②から、観光消費額は指標③から、域内調達率割合は分析ツールの標準設定（当該地域の産業工場に基づく平均値）を使用
⑥観光に関する 公式 SNS の フォロワー 数	<Twitter> 檜原村観光協会：561 人 日の出町観光協会：371 人 ※あきる野市はアカウント無し  <Facebook> あきる野市観光情報：3,308 人 檜原村観光協会：297 人 日の出町観光協会：379 人 (令和5年3月値)	・各アカウントのフォロワー数を確認

表 6-4 参考：市町村別滞在人口（令和 3 年値）

あきる野市	檜原村	日の出町
令和 3 年値：192,227 人	令和 3 年値：268,028 人	令和 3 年値：1,046,457 人
<内訳>	<内訳>	<内訳>
1 月：8,680 人	1 月：11,256 人	1 月：88,592 人
2 月：-27,384 人	2 月：16,352 人	2 月：89,600 人
3 月：-13,981 人	3 月：16,089 人	3 月：118,978 人
4 月：-11,190 人	4 月：23,700 人	4 月：75,570 人
5 月：31,124 人	5 月：29,481 人	5 月：42,315 人
6 月：25,920 人	6 月：22,470 人	6 月：94,020 人
7 月：93,558 人	7 月：31,062 人	7 月：104,067 人
8 月：168,454 人	8 月：26,443 人	8 月：94,023 人
9 月：57,690 人	9 月：22,530 人	9 月：96,780 人
10 月：-40,176 人	10 月：27,001 人	10 月：106,237 人
11 月：-20,550 人	11 月：35,850 人	11 月：113,670 人
12 月：-71,238 人	12 月：17,050 人	12 月：111,197 人

（出典：NTTドコモモバイル空間統計／休日 14 時、15 歳以上 90 歳未満の市町村外からの来訪人口）

※市町村別滞在人口＝{（休日 14 時の滞在人口）－（国勢調査人口）}×各月の日数 の計算式で参考値として算出している

## **第7章**

### **事業連絡会・説明会の実施**



## 第7章 事業連絡会・説明会の実施

### 1 事業連絡会

#### (1) 概要

秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会（構成団体：あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、一般社団法人あきる野市観光協会、一般社団法人檜原村観光協会、一般社団法人日の出町観光協会、秋川溪谷旅館組合）を1回開催し、調査報告を行うとともに、構成団体の意見・提案等について取りまとめた。

開催に当たり、運営支援として①メンバーへの開催案内の連絡、②会議準備、③会議の司会・進行、④会議資料の印刷・準備、⑤資料説明、⑥会議録の取りまとめを行った。

事業連絡会の概要、構成員及び規約を以下に示す。

表 8-1 秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会 開催概要

令和4年度 秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会	
日時	令和5年3月17日（金）13時～14時
場所	あきる野市役所五日市出張所2階 第4, 5, 6会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 挨拶</li><li>3. 説明・協議<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 本事業の概要</li><li>(2) 令和4年度の調査・分析結果報告</li><li>(3) 5か年の調査・検討結果の報告</li></ol></li><li>4. その他</li><li>5. 閉会</li></ol>

## 秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会 委員名簿

令和5年3月現在

職名	氏名	所属・役職等	備考
委員	山口 純	あきる野商工会 事務局長	
委員	川島 敏彦	日の出町商工会 事務局長	
委員	田中 明宏	(一社) あきる野市観光協会 事務局長	
委員	芦川 雅一	(一社) 檜原村観光協会 事務局長	
委員	岸田 学	(一社) 日の出町観光協会 事務局長	
委員	師岡 宏文	秋川溪谷旅館組合 組合長	
委員	岡部 晃子	檜原村産業環境課 観光商工係 課長補佐	
委員	平井 康太	日の出町産業観光課 商工観光係長	
委員	鈴木 将裕	あきる野市環境経済部 商工観光担当部長	
委員	一瀬 秀和	あきる野市環境経済部 観光まちづくり推進課長	

事務局員	藤原 雅也	中央開発株式会社 東京支社 営業部	
事務局員	佐藤 真理子	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 地域活性化推進部	
事務局員	段里 可子	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 地域活性化推進部	
事務局員	三石 真由	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 地域活性化推進部	
事務局員	渡辺 譲二	あきる野市環境経済部観光まちづくり推進課 観光まちづくり推進係長	
事務局員	小野 智史	あきる野市環境経済部観光まちづくり推進課 観光まちづくり推進係 主任	
事務局員	宮川 哲哉	あきる野市環境経済部観光まちづくり推進課 観光まちづくり推進係 主事	



## 秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会規約

(名称)

第1条 この連絡会は、秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会（以下「連絡会」）という。

(目的)

第2条 秋川溪谷を核とする秋川流域一帯（あきる野市・檜原村・日の出町）の観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域への経済波及効果を「見える化」することにより、経済団体や地域住民との連携促進、データに基づく効果的・効率的な観光施策の提案及び観光産業を地域における自立した産業として発展させることで、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

（令3規約・一部改正）

(所掌事項)

第3条 連絡会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 秋川溪谷観光経済統計調査事業の内容について
- (2) 調査結果に基づく分析及び提案に対する検討について
- (3) 前2号に掲げるもののほか、連絡会の目的を達成するために必要なことについて

(構成機関及び代表機関)

第4条 連絡会は、あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、(一社)あきる野市観光協会、(一社)檜原村観光協会、(一社)日の出町観光協会、秋川溪谷旅館組合（以下「構成機関」という。）により構成し、代表機関はあきる野市とする。

（令3規約・一部改正）

(組織)

第5条 連絡会は、委員となる構成機関の構成員をもって組織する。

(事務局)

第6条 連絡会の庶務はあきる野市、会計は檜原村において処理する。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、連絡会の運営に関して必要な事項は連絡会に諮り定める。

附則

- 1 この規約は、平成30年8月6日から施行する。
- 2 この規約は、令和3年4月1日から施行する。

## (2) 実施結果

### ア 開催状況



図 8-1 秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会 開催状況

### イ 議事内容

#### (鈴木委員)

- ・観光客の消費単価が低い点が課題であるとあらためて認識した。地域内には、土産品を大量生産し販売できるような施設が無い現状があるものの、商工会においてお土産の開発支援などの取組はされているのか。

#### (山口委員)

- ・秋川溪谷エリアの事業者は、事業者単体では生産力や商品の訴求力が弱い現状があるため、連携して商品開発を行うことが望ましいと考えている。あきる野商工会では、一定の基準をクリアした商品を「秋川溪谷物語」としてブランド化しているが、改めてPRの底上げと併せて時代に合わせた新たな商品開発が求められていると感じた。

#### (鈴木委員)

- ・秋川溪谷エリア内の土産品を1つにまとめ、パッケージした土産品として販売することは考えられるか。

#### (山口委員)

- ・そのような構想はあったが、事業者からの支持が得られず実施に至っていない。まずは、事業者間の意識の共通化が必要である。

#### (鈴木委員)

- ・消費単価を上げるために、秋川溪谷の土産品について他地域の取組で参考にできる点はあるか。

#### (事務局)

- ・地場産品を必ずしも使用していないという印象を受ける。今だけ、ここだけ、あなただけのプレミアム感が必要ではないか。

**(鈴木委員)**

- ・地域内の酒造の中には、都内には卸さずに地域内だけで提供している事業者もいる。

**(一瀬委員)**

- ・リピート率と満足度が高い点は強みと感じている。一方で消費単価が弱みであることが明らかになったため、その要因を把握する必要がある。要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響による立ち寄り箇所の減少とそれに伴う消費の減少が考えられる。また、立ち寄りが少ない要因としては、商店街に駐車場が無い、立ち寄りしたい時間にお店が空いていない、電車移動のため立ち寄ることができない等が考えられる。

**(事務局)**

- ・ご指摘のとおりで、電車待ちの時間に買い物や立ち寄りが出来る箇所や商品が少ないことも要因として考えられる。
- ・また、観光資源も自然環境が主であり消費を生みづらいため、地元食材を使用した行動食の開発や、ハイキング後の立ち寄りが多い温泉施設での消費を高めることが考えられる。

**(鈴木委員)**

- ・資料3に観光客数は令和3年から回復傾向とあるが、令和4年から回復傾向と言うのが正しいのではないか。

**(田中委員)**

- ・観光客の行動の中で、感染対策を行っている観光地を選ぶなどの傾向はみられたか。

**(事務局)**

- ・パラメータ調査では、直接的な設問を設けていないため実態は分からないが、秋川溪谷は屋外で楽しめる自然資源が多いことから、コロナ禍でも目的地として選ばれていたのではないかと考える。

**(芦川委員)**

- ・檜原村では、サイクリング客が増加しているが、サイクリング客は消費単価が低い傾向にある。また、檜原村は交通アクセスの面でも不利な状況にあるが、今回の調査結果を今後の取組に活かしていきたい。

## 2 事業説明会

### (1) 概要

本事業5か年の調査結果を地域関係者と共有するための説明会を1回実施した。説明会では、学識経験者による講演を行い、業務委託期間終了後の取組につなげるものとした。

説明会の概要及び案内チラシを以下に示す。

表 8-2 秋川渓谷観光経済統計調査事業説明会 開催概要

令和4年度 秋川渓谷観光経済統計調査事業説明会	
日 時	令和5年3月17日（金）15時～16時30分
場 所	あきる野市役所五日市出張所3階 まほろばホール
次 第	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 挨拶</li><li>3. 説明<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 5か年の調査・検討結果からみた秋川渓谷の観光特性 調査結果を踏まえた今後の秋川渓谷における観光振興の方向性 (株式会社オリエンタルコンサルタンツ 佐藤真理子氏)</li><li>(2) 学識者による講演 ～これからの秋川渓谷の観光のあり方～ (東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 古屋秀樹氏)</li><li>(3) フロアとの質疑応答</li></ol></li><li>4. まとめ・総評</li><li>5. 閉会</li></ol>

# 秋川渓谷観光経済統計調査に関する説明会を開催します

～秋川渓谷の観光特性を知り、これからの取組に活用しませんか～

秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会<sup>※</sup>では、秋川渓谷(あきる野市・檜原村・日の出町)における観光産業の経済規模や観光消費がもたらす地域への経済波及効果を見える化するため、平成30年度から5か年にわたって観光地点等に関する入込客数調査や観光消費額等の調査を行ってまいりました。

今年度がその最終年となるため、これまでの調査及び分析結果の報告や、それらを踏まえた観光振興による地域活性化の方向性や取組アイデアについて、説明会を開催いたします。効果的な集客や消費拡大等に向けた取組のポイント、地域内の連携の可能性などについて考えてみませんか。

※構成団体:あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、一般社団法人あきる野市観光協会、一般社団法人檜原村観光協会、一般社団法人日の出町観光協会、秋川渓谷旅館組合

【開催日時】 令和5年3月17日(金) 15:00～16:30 (開場 14:30)

【会場】 五日市地域交流センター 3F まほろばホール

(東京都あきる野市五日市411番地)

アクセス 公共交通機関でお越しの方:JR五日市線 武蔵五日市駅下車 徒歩15分

【参加費】 無料

【プログラム】

15:00～15:05	開会
15:05～15:25	5か年の調査・検討結果からみた秋川渓谷の観光特性 調査結果を踏まえた今後の秋川渓谷における観光振興の方向性
15:25～16:15	学識経験者による講演 ～これからの秋川渓谷の観光のあり方～ (東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 古屋 秀樹 氏)
16:15～16:25	フロアとの質疑応答
16:25～16:30	まとめ・総評
16:30	閉会 ※参加者アンケート

## 【講演者プロフィール】



### 古屋 秀樹 氏

1968年埼玉県生まれ。1993年東京工業大学大学院理工学研究科修了。博士(工学)。筑波大学講師などを経て、2008年より東洋大学国際観光学部教授。専門は観光地計画、観光行動分析。ICTを活用した訪日外国人動態調査検討会委員、持続可能な観光指標に関する検討会委員(観光庁)等を歴任。本年は、持続可能な観光推進モデル事業選定委員(担当:新潟県佐渡市、埼玉県秩父市、岩手県遠野市)を務めるほか、日本観光研究学会・日本観光振興協会連携事業で神奈川県鎌倉市を対象に研究を行っている。

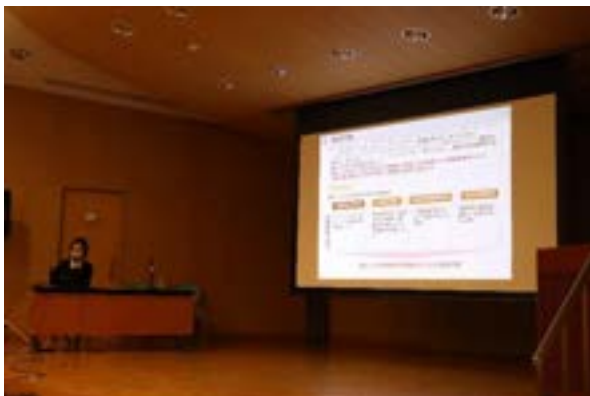
## 【お問合せ先】

- 委託先調査機関:中央開発株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
担当:株式会社オリエンタルコンサルタンツ 段・三石  
TEL:03-6311-7867 FAX:03-6311-8032 E-mail:r3akikawa.toukei@oriconsul.com
- 発注機関:あきる野市観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係 担当:小野・宮川  
TEL:042-595-1135 FAX:042-595-1141 E-mail:041001@akiruno-info.tokyo.jp

図 8-2 秋川渓谷観光経済統計調査事業説明会 案内チラシ

## (2) 実施結果

### ア 開催状況



#### ▲説明

(5か年の調査・検討結果からみた秋川渓谷の観光特性・調査結果を踏まえた今後の秋川渓谷における観光振興の方向性)



#### ▲講演

(学識者による講演 ～これからの秋川渓谷の観光のあり方～)



#### ▲会場写真①



#### ▲会場写真②

図 8-3 秋川渓谷観光経済統計調査事業説明会 開催状況

### イ 議事内容

#### (あきる野市観光協会：田中氏)

- ・観光案内の窓口で勤務する中で、多方面から観光客が来訪している感覚があったが、今回の説明会を聴講し観光客の居住地を具体的に知ることが出来た。
- ・秋川渓谷は、交通手段が脆弱で、公共交通の本数が少ないため周遊が少ない状況にある。他地域における周遊促進の取組があれば教えていただきたい。

#### (古屋教授)

- ・那須塩原市では、市民と観光客が使用する路線を組み合わせた乗り合い交通を運行し、二次交通を担保している。一方で、秋川渓谷では取組の持続性も留意し、現在の周遊行動を踏まえ、まずは自家用車を前提とした周遊を考えるべきである。その中で、公共交通を利用する観光客は狭い周遊範囲の中で消費を高める方法を、自家用車の利用者には周遊を促進する方法を検討することが望ましい。

**(山ごはんカフェヒノハラテラス：嶋崎氏)**

- ・カフェを経営する中で、消費額が低い点は実感としてあった。消費額が低い要因は、秋川溪谷の魅力が低いことや土産の売り場が少ないことにあるのか。

**(古屋教授)**

- ・群馬県のある地域では、消費単価が300円の町と2,000円の町が隣接している。このような差は、昼ご飯を食べる場所があるかどうかで生まれると考えている。食事をする場所があれば滞在時間が増え、さらなる購入機会の創出にもつながるはずである。

**(オリエンタルコンサルタンツ：佐藤)**

- ・本事業の調査の中で、観光施設での聞き取り調査を行ったが、この後のおすすめの立ち寄り箇所や土産品の販売場所について尋ねる方がみられた。このように、消費につながる情報が来訪者に十分には届いていない可能性があるのではないか。

**(東京サマーランド：田村氏)**

- ・東京サマーランドは、認知率が高い観光施設として、秋川溪谷エリアに対して果たすべき役割があると考えている。古屋教授の講演の中で、より良い顧客体験の価値創出について説明があったが、既存の来訪客のパターンに価値を付加することと、新たに独自のターゲット設定をして価値を創出することのどちらの方針が望ましいか。

**(古屋教授)**

- ・まずは、既存のマーケット、顧客を継続的に獲得することが優先で、これには来訪者のニーズを適切にくみ取り、リピーターを増やすことが重要である。
- ・サマーランドは、商品開発のストーリーや地域の歴史ストーリー等、顧客体験の2~4 (feel、think、act) に価値創出の糸口を見出すことが出来るのではないか。

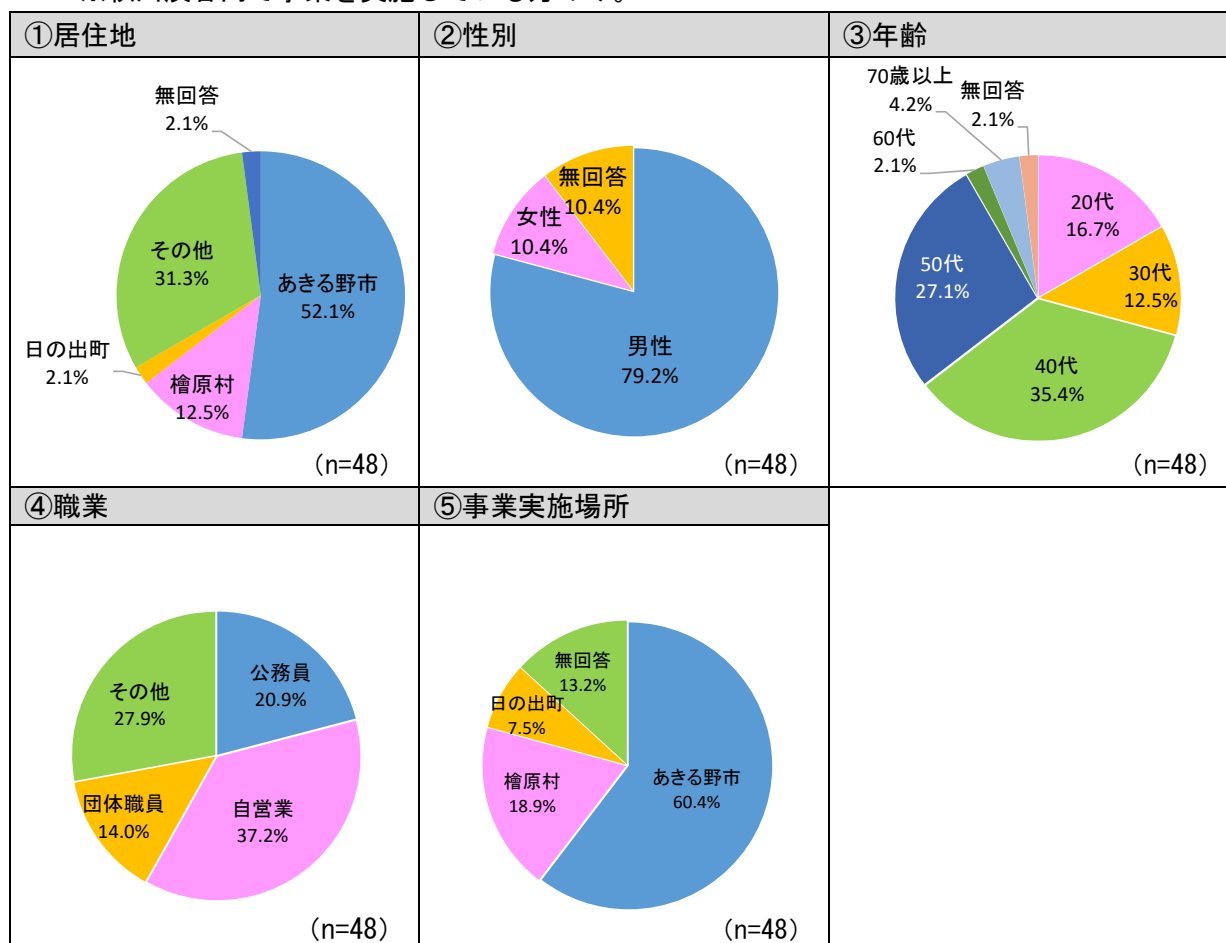
**(オリエンタルコンサルタンツ：佐藤)**

- ・東京サマーランドは認知度が高く、地域を知る入り口となる観光施設として期待している。まずは、自施設内で地域の土産品の購入機会を増やすことや、再来訪に向けたエリア内の他の施設やスポットに関する情報発信等を行うことで、地域全体の来訪者数の増加や周遊が広がっていくのではないか。

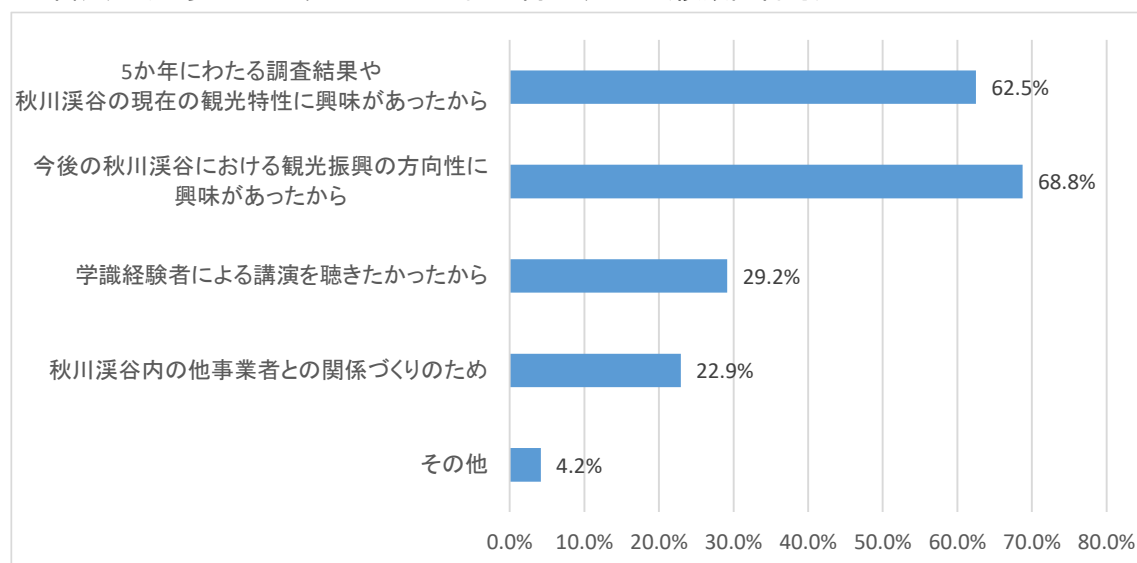
ウ 説明会アンケート結果

問1 あなたのお住まい、性別、年齢、職業、事業実施場所※についてお答えください。

※秋川渓谷内で事業を実施している方のみ。



問2 本説明会へ参加しようと思った理由は何ですか？（複数回答可）

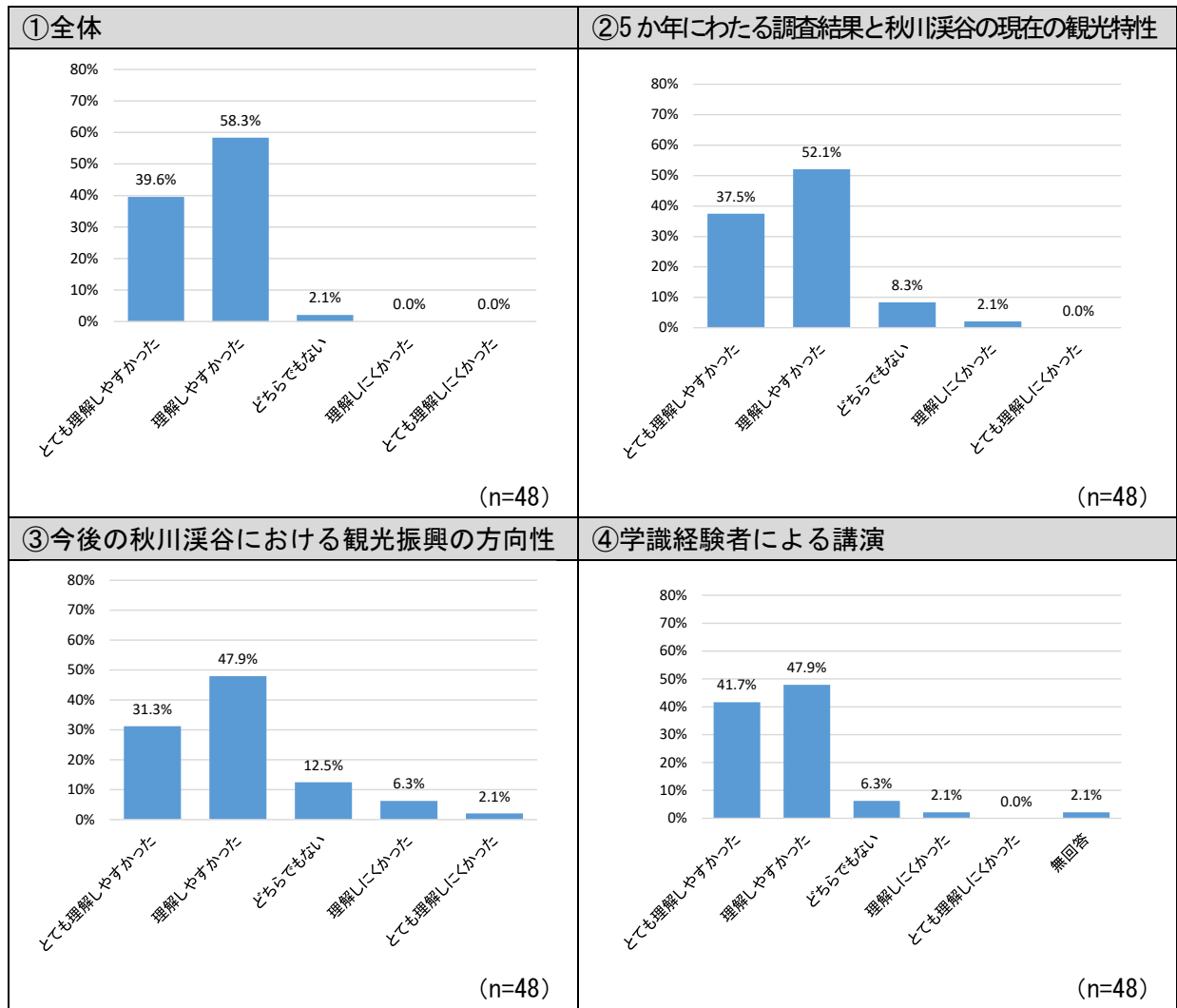


(n=48)



問3 本説明会の内容は理解しやすかったですか。理由についてもお答えください。

(1つに○印を記入)



問4 その他、意見やご提案など（自由記述）

- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・5年間の調査ありがとうございました。これからの方向性、課題が見えてきました。
- ・素敵な発表ありがとうございました。
- ・貴重な機会を頂きありがとうございました。
- ・秋川渓谷の観光事業に関わる事業者との交流機会を増やしてほしいです。
- ・調査を受けてあきる野市としての方針が聞けるとよかったです。
- ・冬12月～2月の集客に悩んでいます。皆様と協力し集客したい。
- ・長期の分析結果として大変興味深い発表内容でした。商品造成、認知度向上ではぜひお役に立てればと感じております。本説明会参加者さまも様々な事業者様にご参加されていて、貴エリアをより盛り上げていきたいという思いを感じ、手を取り合ってチームで活動、連携できるとより魅力が伝わるのではと思います、わくわくしました。
- ・取組メニュー案は一般論の例示となっていたので、データを掘り下げて課題を明らかにしてほしかった。域内調達率を高めるには何が必要かなど、コロナ前後で何が変化したかも知りたい。
- ・秋川流域3自治体で上手に連携して欲しいと思います。
- ・2次交通がとても大事だと感じました。
- ・今後このデータをもとに、域内でのコミュニティが作られることを希望します。
- ・顧客体験が提供する体験価値はとても参考になりました。

